(様式第 10)

広大病医事第 15-2 号
平成 27 年 10 月[redacted]

厚生労働大臣　　殿

開設者名　広島大学病院長[redacted]
平川　勝[redacted]

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒739-8511　東広島市鏡山一丁目３番２号
氏　　名	国立大学法人　広島大学　広島大学長　越智　光夫

(注)　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

広島大学病院

3　所在の場所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目２番３号　　電話（　082　）　257　－　5555

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注)　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有　・　無
内科と組み合わせた診療科名等 1 脳神経内科　2 呼吸器内科　3 循環器内科　4 消化器・代謝内科　5 内分泌・糖尿病内科 6 リウマチ科　7 血液内科　8 腎臓内科　9 感染症内科	
診療実績	

(注) 1　「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2　「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3　「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 呼吸器外科 2 心臓血管外科 3 消化器外科 4 乳腺外科 5 小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 矯正歯科 2 小児歯科 3 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科 2 腫瘍内科 3 病理診断科 4 形成外科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
20床	2床	床	床	724床	746床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

（平成 27 年 6 月 1 日現在）

職　種	常　勤	非常勤	合　計	職　種	員　数	職　種		員　数
医　師	132人	592人	552.3人	看護補助者	47人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	76人	182人	216.3人	理学療法士	24人	臨床検査	臨床検査技師	66人
薬剤師	38人	19人	57.0人	作業療法士	7人		衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人		その他	0人
助産師	7人	0人	0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師		0人
看護師	786人	8人	792.2人	臨床工学技師	13人	医療社会事業従事者		6人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	8人	その他の技術員		4人
歯科衛生士	8人	14人	22人	歯科技工士	7人	事務職員		368人
管理栄養士	3人	6人	9人	診療放射線技師	50人	その他の職員		144人

（注）1　申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。

2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

（平成 27 年 6 月 1 日現在）

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	34 人	眼科専門医	16 人
外科専門医	50 人	耳鼻咽喉科専門医	17 人
精神科専門医	8 人	放射線科専門医	18 人
小児科専門医	22 人	脳神経外科専門医	16 人
皮膚科専門医	12 人	整形外科専門医	23 人
泌尿器科専門医	12 人	麻酔科専門医	17 人
産婦人科専門医	11 人	救急科専門医	16 人
		合　計	272 人

（注）　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合　計
1 日当たり平均入院患者数	598.7人	17.3人	616人
1 日当たり平均外来患者数	1848.6人	540人	2388.6人
1 日当たり平均調剤数			975.5 剤
必要医師数			167.26人
必要歯科医師数			29.16人
必要薬剤師数			20.53人
必要（准）看護師数			387.62人

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

9　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	689.5m^2	鉄筋コンクリート	病床数	33床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	［固定式の場合］　床面積　166.5　m^2　病床数　10　床 ［移動式の場合］　台数　台					
医薬品情報管理室	［専用室の場合］　床積　114.9　m^2 ［共用室の場合］　共用する室名　治験資料室・薬務室・副部長室					
化学検査室	540.0m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）CO2ｲﾝｷｭﾍﾞｰﾀｰ，FFP解凍器，ｸﾘｰﾝﾍﾞﾝﾁ，ﾙﾐﾈｯｸｽ，遠心機，分光光度計，位相差顕微鏡，ﾘｱﾙﾀｲﾑPCR			
細菌検査室	68.0m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）MIC測定装置，ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ，ﾊﾟｽﾎﾞｯｸｽ，安全ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ，遺伝子分析装置，恒温器，顕微鏡，冷蔵庫			
病理検査室	211.0m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）ｸﾘｵｽﾀｯﾄ，顕微鏡，保冷庫，細胞診標本作成装置，ﾊﾞｲｵｸﾘｰﾝﾍﾞﾝﾁ，自動免疫染色装置，超純水製造装置			
病理解剖室	122.5m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）臓器写真台，解剖台，ﾎﾙﾑｲﾚｲｻｰ脱臭装置，酸素ｸﾗｽﾀｰ除菌脱臭装置，光触媒空気清浄器，ﾎﾙﾏﾘﾝﾘｻｲｸﾙ装置			
研究室	0m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備） ※隣接する医歯薬保健学研究科に多数あり。			
講義室	1442.1m^2	鉄筋コンクリート	室数　22　室		収容定員　659　人	
図書室	42.8m^2	鉄筋コンクリート	室数　1　室		蔵書数　10,000　冊程度	

(注) 1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	80.3%	逆紹介率	57.8%
算出根拠	A：紹介患者の数		19,459人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,985人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,355人
	D：初診の患者の数		25,902人

(注) 1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
悪性高熱症診断法（スキンドファイバー法）	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	1人
前眼部三次元画像解析	0人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法（これらを三週間に一回投与するものに限る。）並びにベバシズマブ静脈内投与（三週間に一回投与するものに限る。）による維持療法	0人
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法	0人
術後のホルモン療法及びS－1内服投与の併用療法　原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）	2人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	3人
蛍光膀胱鏡を用いた5－アミノレブリン酸溶解液の経口投与又は経尿道投与による膀胱がんの光力学的診断筋層非浸潤性膀胱がん	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術　腎がん（長径が七センチメートル以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移していないものに限る。）	12人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 実績なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾　患　名	取扱患者数	疾　患　名	取扱患者数
・ベーチェット病	71人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	86人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	58人	・原発性胆汁性肝硬変	78人
・全身性エリテマトーデス	288人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	124人
・再生不良性貧血	79人	・混合性結合組織病	25人
・サルコイドーシス	63人	・原発性免疫不全症候群	32人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・特発性間質性肺炎	30人
・強皮症，皮膚筋炎及び多発性筋炎	212人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	155人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	34人	・肺動脈性肺高血圧症	24人
・潰瘍性大腸炎	440人	・神経線維腫症	32人
・大動脈炎症候群	22人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	44人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	3人
・天疱瘡	43人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	14人
・脊髄小脳変性症	76人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	279人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1人
・悪性関節リウマチ	16人	・脊髄性筋委縮症	12人
・パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	131人	・球脊髄性筋委縮症	0人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21人
・アミロイドーシス	23人	・肥大型心筋症	2人
・後縦靱帯骨化症	50人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	0人	・ミトコンドリア病	13人
・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	61人	・リンパ脈管筋腫症（LAM）	9人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・重症多形滲出性紅斑（急性期）	0人
・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	48人	・黄色靱帯骨化症	7人
・多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）	18人	・間脳下垂体機能障害（PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症）	317人
・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	2人		

（注）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・歯科外来診療環境体制加算	・呼吸ケアチーム加算
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・救急医療管理加算	・救命救急入院料3
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料3
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料4
・診療録管理体制加算1	・ハイケアユニット入院医療管理料2
・急性期看護補助体制加算	・新生児特定集中治療室管理料2
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・新生児特定集中治療室退院調整加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・歯科技工加算
・植込型除細動器移行加算	・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
・高度難聴指導管理料	・組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
・糖尿病合併症管理料	・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
・がん性疼痛緩和指導管理料	・腫瘍脊椎骨全摘術
・がん患者指導管理料1	・・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・がん患者指導管理料2	・頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）
・がん患者指導管理料3	・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
・外来緩和ケア管理料	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・糖尿病透析予防指導管理料	・羊膜移植術
・外来リハビリテーション診療料	・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）
・外来放射線照射診療料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）
・地域連携診療計画管理料	・網膜再建術
・ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・がん治療連携計画策定料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型（拡大副鼻腔手術）
・がん治療連携管理料	・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療以外の診療に係るものに限る。）
・肝炎インターフェロン治療計画料	・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
・薬剤管理指導料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1
・医療機器安全管理料1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・医療機器安全管理料2	・経皮的冠動脈形成術
・医療機器安全管理料（歯科）	・経皮的冠動脈形成術（特殊ｶﾃｰﾃﾙによるもの）
・歯科治療総合医療管理料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・持続血糖測定器加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術及びﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・HPV核酸検出 HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	・植込型心電図記録計移植術及び植型心電図記録計摘出術
・検体検査管理加算（Ⅳ）	・両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術及び両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術
・遺伝カウンセリング加算	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ機能付き植込型除細動器移植術及び両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ機能付き植込型除細動器交換術
・植込型心電図検査	・大動脈ﾊﾞﾙｰﾝﾊﾟﾝﾋﾟﾝｸﾞ法（IABP法）
・胎児心エコー法	・補助人工心臓
・時間内歩行試験	・経皮的大動脈遮断術
・ヘッドアップティルト試験	・ダメージコントロール手術
・皮下連続式グルコース測定	・体外衝撃波胆石破砕術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下肝切除術
・脳磁図	・生体部分肝移植術
・神経学的検査	・同種死体肝移植術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ロービジョン検査判断料	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・小児食物アレルギー負荷検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内服・点滴誘発試験	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る）併用法	・同種死体腎移植術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・生体腎移植術
・画像診断管理加算2	・膀胱水圧拡張術
・歯科画像診断管理加算1	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・歯科画像診断管理加算2	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ポジトロン断層撮影	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術
・CT撮影及びMRI撮影	・医科点数表第2章第10部の手術の通則の16に掲げる手術
・冠動脈CT撮影加算	・輸血管理料Ⅰ
・外傷全身CT加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・大腸CT撮影加算	・内視鏡手術用支援機器加算

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓MRI撮影加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・歯周組織再生誘導手術
・外来化学療法加算1	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・無菌製剤処理料	・麻酔管理料（Ⅰ）
・心大血管疾患ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	・麻酔管理料（Ⅱ）
・脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	・放射線治療専任加算
・運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	・外来放射線治療加算
・呼吸器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	・高ｴﾈﾙｷﾞｰ放射線治療
・がん患者ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	・1回線量増加加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・強度変調放射線治療（IMRT）
・認知療法・認知行動療法1	・画像誘導放射線治療加算　（IGRT）
・医療保護入院等診療料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・ｴﾀﾉｰﾙの局所注入（甲状腺）	・　直線加速器による放射線治療（定位放射線治療）
・ｴﾀﾉｰﾙの局所注入（副甲状腺）	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・透析液水質確保加算2	・病理診断管理加算1
・磁気による膀胱等刺激法	・口腔病理診断管理加算　1
・一酸化窒素吸入療法	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・歯科矯正診断料
・CAD／CAM冠	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・手術時歯根面レーザー応用加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・超音波骨折治療法	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・インプラント義歯	・
・歯科用CAD・CAMを用いたハイブリッドレジンによる歯科補綴	・
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	・
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（平成六年厚生省告示第五十四号）に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1～2回程度、1ヶ月に7回程度。
剖検の状況	剖検症例数 54 例 ／ 剖検率 10.30%

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又は委託元
産休・育休中の女性医師によるITを用いた僻地・在宅診療支援	横林 賢一	総合内科・総合診療科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	田妻 進	総合内科・総合診療科	1,000,000	補 委	厚生労働省
悪性脳腫瘍に対するVEGF阻害剤投与時の画像診断法の確立	栗栖 薫	脳神経外科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第三相臨床研究	栗栖 薫	脳神経外科	1,000,000	補 委	厚生労働省
未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発 安全性と医療効率の向上を両立するスマート治療室の開発	栗栖 薫	脳神経外科	1,467,000	補 委	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
微小重力環境を用いた下垂体幹細胞の培養技術の開発－人工下垂体への応用を目指して	栗栖 薫	脳神経外科	3,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
中性子捕捉療法のホウ素担体としての標的アデノウイルスベクターの確立	栗栖 薫	脳神経外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Noda epileptic ratを用いた迷走神経刺激療法作用機序解明	香川 幸太	脳神経外科	3,005,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳磁図データ統一化ツールの開発	香川 幸太	脳神経外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明	越智 一秀	脳神経内科	700,000	補 委	厚生労働省
視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を検証する第2／3相 多施設共同プラセボ対照無作為化試験	越智 一秀	脳神経内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
遺伝学的アプローチによる小脳機能障害の解明	丸山 博文	脳神経内科	16,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
オプチニューリン変異マウスによる筋萎縮性側索硬化症の病態解明・治療法の開発	丸山 博文	脳神経内科	6,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Optineurinによる筋萎縮性側索硬化症発症機序の解明	高橋 哲也	脳神経内科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ミトコンドリア脳筋症MELASの脳卒中様発作に対するタウリン療法の開発	高橋 哲也	脳神経内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
医歯薬学分野に関する学術研究動向に関する調査研究及び学術振興方策に関する調査研究	松本 昌泰	脳神経内科	6,500,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
GPR3の神経分化メカニズム解析と脳虚血に対する新規神経前駆細胞移植療法への応用	松本 昌泰	脳神経内科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
MUC1によるオートファジー経路の調節を介したGNE-myopathyの病態解明	倉重 毅志	脳神経内科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
うつ病のバイオマーカーの確立とニューロフィードバックへの応用	岡本 泰昌	精神科	10,000,000	補 委	文部科学省
気分障害の病態解明と診断治療法の開発に関する研究	岡本 泰昌	精神科	1,800,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
大規模脳画像解析とヒトー霊長類トランスレータブル脳・行動指標開発にもとづく精神・神経疾患の病態神経回路解明	岡本 泰昌	精神科	10,400,000	補 委	文部科学省
分子から社会までの総合的アプローチによる自己制御の形成・修復支援	岡本 泰昌	精神科	9,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
情動制御の脳内機構とその障害の修復機序に関する研究	岡本 泰昌	精神科	5,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
認知行動療法の神経科学的基盤の解明	岡本 泰昌	精神科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻　進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
認知行動療法等の精神療法の科学的エビデンスに基づいた標準治療の開発と普及に関する研究	岡本　泰昌	精神科	1,000,000	補 委	厚生労働省
脳血管性うつ病の神経回路網の異常と抑うつ気分、アパシーとの関連	山下　英尚	精神科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
臨床評価指標を踏まえた睡眠障害の治療ガイドライン作成および難治性の睡眠障害の治療法開発に関する研究	山下　英尚	精神科	800,000	補 委	厚生労働省
うつ病の神経回路－分子病態解明とそれに基づく診断・治療法の開発	山脇　成人	精神科	117,410,000	補 委	文部科学省
平成26年度広島県自殺未遂者地域支援介入事業	山脇　成人	精神科	8,579,000	補 委	内閣府
老年期うつ病の神経回路異常とその分子病態に関する研究	山脇　成人	精神科	16,610,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
うつ病における血中バイオマーカーの探索	瀬川　昌弘	精神科	600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新たなPTSD治療薬の開発基盤の構築	藤田　洋輔	精神科	400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
PTSDにおける脳由来神経栄養因子の治療効果およびエピジェネティクス解析	淵上　学	精神科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
3次元ゲル培養法を応用した角膜神経誘導法の開発	高　知愛	眼科	800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
眼球の剛性は緑内障の危険因子か	竹中　丈二	眼科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
被曝放射線量の血管径への影響と緑内障、加齢黄斑変性症との関係	竹中　丈二	眼科	600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児・若年者の視覚障害の早期発見・診断・治療・訓練・リハビリ等の自立支援に資する技術開発等に関する研究	木内　良明	眼科	900,000	補 委	厚生労働省
各種老化因子の制御による加齢性内耳障害の予防・治療法開発の分子生物学的研究	工田　昌也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
鼻副鼻腔における一酸化窒素のバイオモニタリングによる好酸球性炎症の解析	竹野　幸夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略	平川　勝洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	700,000	補 委	厚生労働省
びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究	河野　修興	呼吸器内科	500,000	補 委	厚生労働省
国際共同研究による間質性肺炎の新規バイオマーカーの開発と創薬の試み	河野　修興	呼吸器内科	7,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
びまん性肺疾患に関する調査研究	河野　修興	呼吸器内科	500,000	補 委	厚生労働省
I型肺胞上皮由来の新規特発性肺線維症バイオマーカーRAGEの開発と創薬の試み	岩本　博志	呼吸器内科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
肺線維症において骨髄に保存される傷害記憶システムの解明	中島　拓	呼吸器内科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験	服部　登	呼吸器内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	岡田　守人	呼吸器外科	600,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する標準的機能温存手術の確立に関する研究	岡田　守人	呼吸器外科	700,000	補 委	厚生労働省
肺胞上皮癌における浸潤性肺線癌への悪性化進展メカニズムの解明	岡田　守人	呼吸器外科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新規Wnt5a関連細胞接着因子ALCAMを標的とした新しい乳癌治療法の開発	岡田 守人	呼吸器外科	1,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
心膜脂肪組織における細胞性免疫異常と冠動脈粥状硬化	山本 秀也	循環器内科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
放射線誘発性動脈硬化性疾患の発症メカニズムにおけるDNA損傷応答の役割	石田 隆史	循環器内科	2,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
CTにおける放射線被ばくのDNA損傷に対する影響の検討	中野 由紀子	循環器内科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成に関する研究	中野 由紀子	循環器内科	700,000	補 委	厚生労働省
肺動脈性肺高血圧症早期診断マーカーの同定	土肥 由裕	循環器内科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
心外膜下脂肪組織の多面的病的意義の解明 －画像診断と組織学的解析による検討－	北川 知郎	循環器内科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
メタボリック症候群を基盤とする非虚血性慢性心不全の病態解明と疾患概念の確立	木原 康樹	循環器内科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
トレハロースと微小重力下で培養した幹細胞による脊髄神経の保護と再生	高橋 信也	心臓血管外科	3,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
胸部動脈瘤ステントグラフト術後の遅延性対麻痺予測法と治療法の開発	高崎 泰一	心臓血管外科外科	2,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
体外循環装置操作の臨床経験を定量化する新しい仮想患者シミュレーションモデルの開発	黒崎 達也	心臓血管外科	250,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
術中判断を可能にする心房細動外科治療時の電気生理診断法の確立と低侵襲術式の開発	今井 克彦	心臓血管外科	500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
微小重力培養した骨髄間葉系幹細胞による胸部大動脈瘤術後対麻痺の再生治療	末田 泰二郎	心臓血管外科	8,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
微小重力培養骨髄間葉系幹細胞と磁性粒子を用いた重症虚血肢再生治療	末田 泰二郎	心臓血管外科	2,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
慢性肝疾患における各種臨床情報と遺伝情報の統合整備および新規ビッグデータ解析により導出された予測モデル等の医学的妥当性の検証と応用	越智 秀典	消化器・代謝内科	35,958,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
セマフォリン3A遺伝子変異と関連する特発性心室細動発症の分子病態メカニズムの解明	越智 秀典	消化器・代謝内科	2,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
DAA耐性型HCVに対する治療法の開発	今村 道雄	消化器・代謝内科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
多機能幹細胞を用いた自然免疫再構築による肝炎治療法の開発と臨床応用	今村 道雄	消化器・代謝内科	2,000,000	補 委	厚生労働省
次世代シークエンス技術を駆使したウイルスゲノム解析によるC型肝炎の病態解明と臨床応用	今村 道雄	消化器・代謝内科	2,000,000	補 委	厚生労働省
HBV cccDNAの制御と排除を目指す新規免疫治療薬の開発	今村 道雄	消化器・代謝内科	3,500,000	補 委	厚生労働省
Liquid Biopsy のゲノムシークエンス解析による癌の変異プロファイル	川上 由育	消化器・代謝内科	500,000	補 委	厚生労働省
科学的根拠に基づくウイルス性肝炎診療ガイドラインの構築に関する研究	川上 由育	消化器・代謝内科	2,000,000	補 委	厚生労働省
肝炎に関する全国規模のデータベースを用いた肝炎治療の評価及び肝炎医療の水準の向上に資する研究	川上 由育	消化器・代謝内科	2,000,000	補 委	厚生労働省
慢性ウイルス性肝炎の病態把握（重症度・治療介入時期・治療効果判定・予後予測）のための非侵襲的病態診断アルゴリズムの確立	相方 浩	消化器・代謝内科	666,000	補 委	厚生労働省
がん診療連携拠点病院機能強化事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	40,219,000	補 委	厚生労働省

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科+総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ドクターヘリ導入促進事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	211,865,000	補 委	広島県
ヒト肝細胞キメラマウスを用いた薬剤耐性、臓器不全等治療困難症例に対する病態解析と根治的治療法の開発に関する研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	71,500,000	補 委	厚生労働省
感染症対策特別推進事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	16,785,000	補 委	厚生労働省
感染症予防事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	4,556,000	補 委	感染症予防事業費補助金
産科医等確保支援事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	1,021,000	補 委	広島県
治験等症例集積機能向上パイロット事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	200,000	補 委	広島県
心不全地域連携サポートチーム体制の構築事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	4,929,000	補 委	広島県
新人看護職員研修事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	750,000	補 委	新人看護職員研修事業費補助金
専門医認定支援事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	1,634,000	補 委	広島県
保健衛生施設等施設整備費国庫補助金(小児がん拠点病院)	茶山 一彰	消化器・代謝内科	22,500,000	補 委	広島県
防災訓練等参加支援事業	茶山 一彰	消化器・代謝内科	92,000	補 委	広島県
マウス肝線維化を抑制する新規インテグリン抗体作用機序解明と治療応用に向けた研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	5,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
OTC欠損症のモデル動物作製とその応用	茶山 一彰	消化器・代謝内科	2,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
革新的な動物モデルや培養技術の開発を通じたHBV排除への創薬研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	162,000,000	補 委	厚生労働省
難病特別対策推進事業	茶山一彰	消化器・代謝内科	1,007,000	補 委	厚生労働省
がん化学予防薬の実用化をめざした大規模臨床研究	田中 信治	消化器・代謝内科	5,000,000	補 委	厚生労働省
歯周病原細菌歯性感染による非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)病態増悪機構の解明	兵庫 秀幸	消化器・代謝内科	1,440,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
C型肝炎の抗ウイルス治療法選択を目的とした新規検査系に関する研究	平賀 伸彦	消化器・代謝内科	3,000,000	補 委	厚生労働省
癌・間質相互作用を標的とした胃癌転移に対する新しい治療法の開発	北台 靖彦	消化器・代謝内科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
癌幹細胞のゆらぎを生体内で観察する	北台 靖彦	消化器・代謝内科	50,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
大腸上皮特異的複合遺伝子改変マウスモデルを用いた大腸癌転移関連遺伝子の探索	下村 学	消化器外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児肝がん研究グループによるアジア地域の小児肝がん調査と国際共同研究基盤整備	鬼武 美幸	小児外科	9,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ｹﾞﾉﾐｸｽとｾﾛﾐｸｽを用いた小児腫瘍の分子標的探索－がん幹細胞を標的として－	鬼武 美幸	小児外科	16,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
膵組織から膵幹細胞の分離方法の確立と、膵外分泌機能不全に対する治療方法の開発	近藤 成	消化器外科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
門脈圧亢進症/肝線維化に対するリポソーム化Rhoキナーゼ阻害剤を用いた治療法	黒田 慎太郎	消化器外科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科・総合腫瘍科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
肺腺癌の悪性化進展メカニズムの解明	山北 伊知子	消化器外科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌肝転移に対する新規分子標的治療法の開発	小林 剛	消化器外科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
胆管癌の抗癌剤代謝関連酵素発現と感受性解析による個別化治療の確立	上村 健一郎	消化器外科	500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
造血幹細胞・iPS細胞由来TRAIL陽性NK細胞による肝癌免疫細胞療法の基礎研究	石山 宏平	消化器外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト膵癌における転移と抗癌剤耐性獲得メカニズム：多光子励起蛍光顕微鏡による解析	村上 義昭	消化器外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
胆管癌における神経周囲浸潤と関連分子の発現モデル研究	村上 義昭	消化器外科	2,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
慢性ウイルス性肝炎の病態把握（重症度・治療介入時期・治療効果判定・予後予測）のための非侵襲的病態診断アルゴリズムの確立	大段 秀樹	消化器外科	666,000	補 委	厚生労働省
多機能幹細胞を用いた自然免疫再構築による肝炎治療法の開発と臨床応用	大段 秀樹	消化器外科	29,500,000	補 委	厚生労働省
ヒト化異種糖鎖欠損免疫不全マウスを用いた抗体関連拒絶反応機構の解明	田原 裕之	消化器外科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
肝癌に対する分子標的薬を併用したunlicensed NK細胞療法の開発	田中 友加	消化器外科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
多機能幹細胞を用いた自然免疫再構築による肝炎治療法の開発と臨床応用	田中 友加	消化器外科	2,000,000	補 委	厚生労働省
高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab併用化学療法の意義に関する臨床研究	田邊 和照	消化器外科	2,200,000	補 委	厚生労働省
CD24発現制御による胃癌制癌療法への応用	田邊 和照	消化器外科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小型・超広視野カメラを搭載した内視鏡外科手術用モニタリングシステムの開発	惠木 浩之	消化器外科	4,734,624	補 委	広島県
確率共鳴理論から開発した触覚が向上する内視鏡外科ﾃﾞﾊﾞｲｽの臨床応用	惠木 浩之	消化器外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
人側／装置側の両者の力触覚機能向上による新しい医用力覚呈示システム	惠木 浩之	消化器外科	3,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
力覚呈示機能の搭載による内視鏡外科手術手技力の客観的評価システムの開発	惠木 浩之	消化器外科		補 委	文部科学省科学研究費補助金
遺伝子不安定性の異なるサブクラス分類に有用な新規マウス大腸癌疾患モデルの確立	檜井 孝夫	消化器外科	3,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト化マウスを用いた同種移植における抗ドナー抗体産生制御法の開発	井手 健太郎	移植外科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞による肝臓内免疫細胞の膵島グラフト傷害抑制メカニズムの解明	石山 宏平	移植外科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ステロイド様物質GITRLを介した癌細胞によるNK細胞免疫回避機構の解明と制御	大平 真裕	移植外科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
吸収性胆管ｽﾃﾝﾄによる胆管狭窄予防	田代 裕尊	移植外科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
アルドステロン産生腺腫を基盤にした新規アルドステロン合成機構の解明	沖 健司	内分泌・糖尿病内科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
エイコサペンタエン酸によるGPR120を介したベージュ細胞誘導効果の研究	大野 晴也	内分泌・糖尿病内科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究（JDCS）	米田 真康	内分泌・糖尿病内科	300,000	補 委	厚生労働省

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
米国におけるリウマチコホートの調査による診断・予後予測システムの開発	山崎 聡士	リウマチ・膠原病内科	500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
滑膜線維芽細胞の脂肪分化誘導における上皮間葉移行分子機序の解明	杉山 英二	リウマチ・膠原病内科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
AU-rich element 依存性mRNA制御と関節リウマチ滑膜細胞機能変換	杉山 英二	リウマチ・膠原病内科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Wnt5a陽性乳癌の薬剤耐性獲得機構の解明と制癌療法への応用	梶谷 桂子(滑川桂子)	乳腺外科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
乳癌臨床検体を用いたHER2標的療法効果予測法の開発	重松 英朗	乳腺外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
①難病ネットワークの構築に関する研究②小児難病ネットワークの構築に関する研究	*小林 正夫	小児科	4,400,000	補 委	厚生労働省・広島県・広島市
慢性皮膚粘膜カンジダ症の疾患モデルマウスの作成と治療法の確立	岡田 賢	小児科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
人工ヌクレアーゼによる食細胞異常症由来ヒトiPS細胞の遺伝子修復に関する研究	岡田 賢	小児科	5,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
慢性皮膚粘膜カンジダ症の新規責任遺伝子の同定とSTAT1異常に伴う分子病態の解析	岡田 賢	小児科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
自閉症スペクトラム児の社会性障害と前頭葉機能に関するイメージングジェネティクス	梶梅 あい子(山崎あい子)	小児科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	小林 正夫	小児科	800,000	補 委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の病態解明と新規治療法開発への応用に関する研究	小林 正夫	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省
広島県小児専門医等研修事業	小林 正夫	小児科	1,851,000	補 委	広島県
高IgE症候群の病因・病態解明と新規治療法開発	小林 正夫	小児科	2,000,000	補 委	厚生労働省
iPS細胞とヒト疾患モデルマウスを用いたSTAT1シグナル異常症の病態解析	小林 正夫	小児科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	小林 正夫	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省
先天性骨髄不全症の登録システムの構築と診断ガイドラインの作成に関する研究	小林 正夫	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省
難治性神経芽腫に対するIL2, CSF併用ch14. 18免疫療法の国内臨床開発	小林 正夫	小児科	300,000	補 委	厚生労働省
先天性血小板減少症の責任遺伝子同定と病態解析	小林 良行	小児科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新生児タンデムマススクリーニング対象疾患の診療ガイドライン改訂、診療の質を高めるための研究	但馬 剛	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省
新生児スクリーニングで発見されるMCAD欠損症例の急性発症リスク評価に関する研究	但馬 剛	小児科	800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究－試薬からの希少疾病治療薬開発の試み－	但馬 剛	小児科	500,000	補 委	厚生労働省
免疫遺伝情報に基づく非血縁移植統合データベースの構築と最適なドナー・さい帯血の選択	一戸 辰夫	血液内科	300,000	補 委	厚生労働省
急性および晩発性放射線障害に対する包括的細胞治療法の開発	一戸 辰夫	血液内科	5,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
中国・四国ブロックエイズ医療システム構築に関する調査研究	藤井 輝久	血液内科	15,000,000	補 委	厚生労働省

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻　進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	藤井　輝久	血液内科	6,000,000	補 委	厚生労働省
中国・四国ブロックエイズ歯科医療システム構築に関する調査研究	柴　秀樹	歯科保存診療科	3,000,000	補 委	厚生労働省
生命予後に関わる重篤な食物アレルギーの実態調査・新規治療法の開発および治療指針の策定	秀　道広	皮膚科	550,000	補 委	厚生労働省
アレルギー疾患の全年齢にわたる継続的疫学調査体制の確立とそれによるアレルギーマーチの発症・悪化要因のコホート分析に関する研究	秀　道広	皮膚科	1,100,000	補 委	厚生労働省
汗アレルギーに対する診断法の確立とスキンケアへの応用	信藤　肇	皮膚科		補 委	文部科学省科学研究費補助金
慢性蕁麻疹の病態における血液凝固系駆動機序の検討	森桶　聡	皮膚科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
類洞内皮細胞を利用した食物アレルギーの予防法の開発	田中　暁生	皮膚科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
磁性化骨髄間葉系細胞の磁気ターゲティングによる骨・軟骨再生	越智　光夫	整形外科	27,560,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
自己骨髄間葉系細胞の磁気ターゲティングによる関節軟骨欠損修復	越智　光夫	整形外科	59,800,000	補 委	厚生労働省
脳磁図を用いた運動、感覚障害の客観的評価法の開発	越智　光夫	整形外科	1,450,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新規細胞間コミュニケーション因子であるエクソソームによる組織再生機構の解明	越智　光夫	整形外科	9,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
変形性膝関節症の疼痛はラテラルスラストが要因か？疼痛を予防する新型装具の開発	越智　光夫	整形外科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
膝前十字靭帯再建術後に早期スポーツ復帰を行うための新しい多角的評価体系	越智　光夫	整形外科	2,150,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
鏡視下腫瘍広範切除のための新しい蛍光バイオイメージングの開発	越智　光夫	整形外科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた新たな末梢神経再生促進療法の開発	越智　光夫	整形外科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
関節鏡視下自己骨髄間葉系幹細胞移植による関節軟骨欠損修復－多施設共同、非盲検、ランダム化、並行比較試験	越智　光夫	整形外科	3,500,000	補 委	厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	下瀬　省二	整形外科	650,000	補 委	厚生労働省
放射線誘発性末梢神経障害に対する新規治療開発	四宮　陸雄	整形外科	600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨壊死に対するmicroRNA導入骨髄単核球細胞を用いた血管・骨再生に関する研究	庄司　剛士	整形外科	500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨髄間葉系幹細胞導入（骨穿孔術）による変形性膝関節症治療の確立	石川　正和	整形外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Bach1により制御される関節軟骨保護機構の解明とZFPによる新規治療法の開発	中佐　智幸	整形外科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳科学的根拠のある利き手・非利き手別リハビリテーションプログラムの開発	中西　一義	整形外科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
膝関節回施角度計の開発－膝前十字靭帯損傷による回施不安定性の精密計測－	木村　浩彰	整形外科	200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
有限要素法モデルによる前胸部ケロイドの生体力学解析	宮本　純平	形成外科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
一塩基多型がI型リアノジン受容体の機能に与える影響についての検討	原木　俊明	麻酔科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
悪性高熱症の発症予防に関する実験的研究	濱田 宏	麻酔科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
各種腎臓疾患における無血清培地を用いた間葉系幹細胞の治療効果：臨床応用を目指して	上野 敏憲	腎臓内科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Non-dipper型高血圧の発症における時計遺伝子の役割	正木 崇生	腎臓内科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
iPS細胞バンクを利用した緊急被ばく対応システムの構築	中島 歩	腎臓内科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞を用いた腎線維化の抑制：無血清培地の検討	土井 盛博	腎臓内科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
前立腺癌の神経内分泌分化に関わる新規バイオマーカーの同定と診断・治療への応用	井上 省吾	泌尿器科	800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
メタボリック症候群と前立腺癌に関与するFGFの分子機構解明と新たな治療戦略確立	井上 省吾	泌尿器科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト末梢血CD133陽性細胞移植を用いた新たな勃起不全治療アプローチの開発	井上 省吾	泌尿器科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
プラズマによる細胞/組織の活性化・改質及び再生医療への応用展開	工藤 美樹	産科婦人科	500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
64列検出器CTを用いた海綿骨骨梁構造解析による骨粗鬆症性脊椎骨折のリスク評価	粟井 和夫	放射線診断科		補 委	文部科学省科学研究費補助金
異時相画像データおよび非剛体変形統合法を用いた低線量冠動脈CTの開発	粟井 和夫	放射線診断科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
臨床用CTを用いた有限要素法による骨脆弱性評価に向けた横断的・縦断的研究	粟井 和夫	放射線診断科	1,810,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
大規模学習ニューラルネットワークを用いた低線量CT画像の画質修復	粟井 和夫	放射線診断科	1,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
腎癌に対する腎動脈閉塞下凍結療法の確立	吉松 梨香	放射線診断科	2,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ダイナミック心臓CT画像を用いた冠動脈の血流予備量比の推定	檜垣 徹	放射線診断科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
質の高い放射線治療の普及と均てん化のための基盤研究	永田 靖	放射線治療科	500,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	永田 靖	放射線治療科	400,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム	永田 靖	放射線治療科	12,293,000	補 委	文部科学省
肺・肝臓癌に対する機能的画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	永田 靖	放射線治療科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
放射線性心毒性低減を目指す食道癌への超短時間強度変調放射線治療技術の開発	永田 靖	放射線治療科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の運用と他がん登録との連携	権丈 雅浩	放射線治療科	200,000	補 委	厚生労働省
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	村上 祐司	放射線治療科	600,000	補 委	厚生労働省
小児肝がん国際共同臨床試験に向けた新たな治療戦略のための分子基盤の構築	鬼武 美幸	小児外科	6,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ATRX/DRXX遺伝子変異による神経芽腫のテロメア伸長機序と臨床応用	鬼武 美幸	小児外科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
若年期の放射線、化学療法によるゲノム障害、二次がんリスクと遺伝的影響に関する検討	栗原 將	小児外科	3,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻　進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
デジタルPCR法を応用した非侵襲的小児がん診断法の開発	栗原　將	小児外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
原子力災害時における医療機関等の事業継続や避難に関する研究	岩崎　泰昌	救急科	800,000	補 委	厚生労働省
特発性肺線維症急性増悪の人種差に着眼した病態解明と新規バイオマーカー開発	大下　慎一郎	救急科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
救急医療体制の推進に関する研究	谷川　攻一	救急科	130,000	補 委	厚生労働省
原子力災害時における医療機関等の事業継続や避難に関する研究	谷川　攻一	救急科	6,500,000	補 委	厚生労働省
過疎高齢化が進む地域での住民参加型ﾎﾟﾋﾟｭﾚｰｼｮﾝ・ﾍﾙｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの展開	貞森　拓磨	救急科	1,050,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
原子力災害時における医療機関等の事業継続や避難に関する研究	廣橋　伸之	救急科	800,000	補 委	厚生労働省
小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発	杉山　一彦	がん化学療法科	300,000	補 委	厚生労働省
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第三相臨床研究	杉山　一彦	がん化学療法科	1,000,000	補 委	厚生労働省
新規消毒薬二酸化塩素の抗芽胞作用に関する研究	大毛　宏喜	感染症科・消化器外科	200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯髄細胞が産生するTNF-α 誘導因子の探索	永安　慎太郎	歯科保存診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
trkBシグナルを介した炎症制御メカニズムの解明と歯周炎治療への展開	柴　秀樹	歯科保存診療科	1,450,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
形態付与可能な再生3要素複合体ﾋﾞｰｽﾞの重度破壊歯周組織再生における有用性	柴　秀樹	歯科保存診療科	2,140,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
インテグリン結合RGD配列の近傍切断によるシグナル増強と歯髄組織創傷治癒誘導	鈴木　茂樹	歯科保存診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞集塊clumps-MSCsによる歯周組織再生療法の開発	加治屋　幹人	歯周診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ポリコーム遺伝子発現制御に着目した歯周組織構成細胞の多方向制御メカニズムの解明	岩田　倫幸	歯周診療科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨髄間葉系幹細胞からｾﾒﾝﾄ芽細胞への分化誘導と象牙質面へのｾﾒﾝﾄ質形成誘導	岩田　倫幸	歯周診療科	4,950,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
薬物性歯肉増殖症動物モデルを用いたメカニズムの解明	松田　真司	歯周診療科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ｲﾙｿｸﾞﾗｼﾞﾝﾏﾚｲﾝ酸による歯肉上皮細胞機能の分子制御ﾒｶﾆｽﾞﾑの解明	藤田　剛	歯周診療科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ﾍﾟﾘｵｽﾁﾝに着目した歯周病分子標的予防法の開発に関する基礎的研究	藤田　剛	歯周診療科	2,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
糖尿病患者における歯内疾患悪化メカニズムの解明	内田　雄士	歯周診療科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
関節リウマチ発症における歯周病原細菌由来シトルリン化酵素PADの影響	應原　一久	歯周診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
無血清培養系を用いた口腔扁平上皮癌におけるSP細胞の分子・生物学的特性解析	伊藤　翼	顎・口腔外科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
E-ｶﾄﾞﾍﾘﾝのﾌﾟﾛｾｼﾝｸﾞ抑制による口腔癌の浸潤・転移阻止療法に関する研究	岡本　哲治	顎・口腔外科	4,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌幹細胞ﾆｯﾁにおけるｻｲﾄｶｲﾝﾈｯﾄﾜｰｸの解明とその診断・治療への応用	岡本　哲治	顎・口腔外科	4,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻　進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
NK細胞活性化受容体ﾘｶﾞﾝﾄﾞをﾀｰｹﾞｯﾄとした口腔癌に対する個別化治療の開発	岡本　哲治	顎・口腔外科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌細胞自身が発現するVEGF受容体ｼｸﾞﾅﾙを標的とした新しい治療法の開発研究	岡本　哲治	顎・口腔外科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
HBp17／FGFBP蛋白を標的とした口腔癌の分子標的診断・治療法の開発研究	岡本　哲治	顎・口腔外科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト骨髄由来間葉系幹細胞を用いた安全・安心な細胞治療を行うための基盤整備研究	岡本　哲治	顎・口腔外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
α2－アンチプラスミンのNaked　DNA直接注入法による口腔癌遺伝子治療の開発	岡本　哲治	顎・口腔外科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
無血清・無フィーダ培養系でのヒトiPS樹立と胚様体培養法を用いた顎骨・歯胚誘導	岡本　哲治	顎・口腔外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
単層無血清培養系での鎖骨頭蓋異形成症歯髄由来iPS細胞の樹立及び細胞特性解析	向笠　英恵	顎・口腔外科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ユビキチンリカーゼ阻害剤を用いた口腔癌に対する分子標的治療薬の開発研究	坂上　泰七	顎・口腔外科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
無血清・フィーダーフリー・ウイルスインテグレーションフリー培養系でのiPS細胞の樹立と治療への応用	山崎　佐知子	顎・口腔外科	3,000,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構
海洋生物由来新規生理活性物質の探索とヒトiPS細胞を用いた創薬応用への基礎的研究	山崎　佐知子	顎・口腔外科	1,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
遺伝性顎口腔疾患特異的iPS細胞を用いた無血清培養系における発症機序解明	山崎　佐知子	顎・口腔外科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌における癌幹細胞と腫瘍間質内間葉系幹細胞の細胞間ﾈｯﾄﾜｰｸの機能解析	石田　康隆	顎・口腔外科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌細胞におけるインテグリンβ6の蛋白翻訳語修飾とその機能解析	藤井　隆彦	顎・口腔外科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
無血清胚様体培養系を用いた顎顔面遺伝性疾患由来ヒトiPS細胞の分化能解析	鍋島　巧	顎・口腔外科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌の高度悪性化に関与するサイトカイン誘導性EMTの解析	奥井　岳	口腔顎顔面再建外科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜細胞から誘導されるヘムオキシゲナーゼ-1の機能とカンジダ症における意義	重石　英生	口腔顎顔面再建外科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新規EMT関連遺伝子MTDHが誘導する口腔扁平上皮癌の浸潤機構の解析	重石　英生	口腔顎顔面再建外科	1,450,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨芽細胞-連通多孔体ハイドロキシアパタイト複合体による顎骨再建治療の確立	小野　重弘	口腔顎顔面再建外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
多孔質セラミックスにおける骨形成メカニズムの解明と臨床応用への基礎的研究	多田美里（平岡美里）	口腔顎顔面再建外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト口腔扁平上皮癌幹細胞におけるGSK3βの発現及び機能解析	太田　耕司	口腔顎顔面再建外科	1,450,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に関与する遺伝子の機能解析	中川　貴之	口腔顎顔面再建外科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌の浸潤における細胞間相互作用の解明	島末　洋	口腔顎顔面再建外科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌のEMTを介した局所浸潤機構の解明	東川　晃一郎	口腔顎顔面再建外科	2,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
薬物徐放制御能を有するハイブリッド生体材料の開発	武知　正晃	口腔顎顔面再建外科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜のウイルス認識機構の解明と口腔粘膜炎症性疾患における意義	福井　暁子	口腔顎顔面再建外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
bFGF・ポリリン酸結合型ダブルプロセシング複合体の開発	梶原 志穂	口腔インプラント診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
飴を舐める口腔機能訓練療法の開発	吉川 峰加	口腔インプラント診療科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ﾊﾞｲｵﾌﾟﾛｾｼﾝｸﾞを用いる機能性ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ複合ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの新開発	久保 隆靖	口腔インプラント診療科	3,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
アルツハイマー病と歯の喪失との関連メカニズムの分子基盤	是竹 克紀	口腔インプラント診療科	2,230,139	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯の喪失による学習・記憶能低下の分子生物学的解明	大上 博史	口腔インプラント診療科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
舌ブラシの舌背上細菌数及び口臭の低減効果の検証	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	539,000	補 委	広島県
舌圧測定・トレーニング一体型デバイスの開発	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	1,889,139	補 委	広島県
高付加型ﾎﾟﾘﾘﾝ酸を用いたｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄ周囲炎骨欠損に対する再生療法	呉本 晃一	咬合・義歯診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
無歯顎者に応用する単独インプラント支持オーバーデンチャーの治療指針の作成	森田 晃司	咬合・義歯診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨質イノベーションを達成するポリリン酸のバイオアクティブ効果	森田 晃司	咬合・義歯診療科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
睡眠時・覚醒時ブラキシズムと心理社会的因子およびTMDの共分散構造分析	大倉 知久	咬合・義歯診療科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
二酸化塩素含有義歯洗浄剤の新開発	堀 智治	咬合・義歯診療科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
磁場を利用した骨髄間葉系幹細胞の凍結保存法の確立	加来 真人	矯正歯科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
機能性アメロゲニンペプチドによる歯周組織代謝活性機構の解明と歯根吸収予防への応用	吉見 友希	矯正歯科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
牡蠣殻ナノ粒子とエナメル蛋白を用いたバイオミネラリゼーションによるエナメル質修復	吉見 友希	矯正歯科	1,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
三次元培養細胞への機械的刺激と高分子HAを用いた顎関節症の解明と新規治療法の確立	光吉 智美	矯正歯科	2,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ジグリングによる歯根吸収発現機序の解明とCCFを用いた歯根吸収予測法の探索	松田 弥生	矯正歯科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
睡眠時無呼吸症候群における新しい口腔内装置の包括的臨床展開	上田 宏	矯正歯科	200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
生体類似組織構築のための人工細胞外マトリックスの創製	谷本 幸太郎	矯正歯科	2,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
咬合刺激が歯周組織の血管動態および歯根吸収発現に及ぼす影響の解明	本川 雅英	矯正歯科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
血管誘導能に優れた未分化間葉系幹細胞の骨再生技術の確立と顎裂閉鎖治療への展開	鷲見 圭輔	矯正歯科	700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
レーザーによる歯の移動時の歯周組織誘導能の探索と臨床応用	國松 亮	矯正歯科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
インテグリンの機械的負荷受容メカニズムの解明と、阻害剤を用いたPCR予防法の確立	廣瀬 尚人	矯正歯科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児の口呼吸における関連因子の抽出と治療方法の確立	海原 康孝	小児歯科	50,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
3DSを用いた全身的感染予防プログラムの臨床的評価および作用機序の解明	新里 法子	小児歯科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻 進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児齲蝕の新たな予防法開発へ向けたリスク増悪因子の解明	大原 紫	小児歯科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
齲蝕原因菌が生成する新規タンパク複合体デグラドソームの環境適応に果たす役割	大原 紫	小児歯科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
機能的抗菌作用を有する歯科材料の研究・開発	澤尻 昌彦	歯科放射線科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔顔面部神経障害性疼痛の発症機序の解明とその治療法の確立	吉田 充広	歯科麻酔科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ドパミン受容体サブタイプの選択的リガンドを応用した新しい全身麻酔法の開発	小川 慶隆(清水慶隆)	歯科麻酔科	800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
WHO国際分類改訂に向けたアジアにおける歯原性腫瘍の戦略的大規模調査	小川 郁子	口腔総合診療科	3,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
地域基盤型医療プロフェッショナリズム教育の構築	小川 哲次	口腔総合診療科	150,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
3Dカメラを活用した医療コミュニケーションの記述的研究とその応用	小川 哲次	口腔総合診療科	1,223,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
患者の地域・コミュニティー(異文化)的背景に基づく医療コミュニケーション教育	小川 哲次	口腔総合診療科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜細胞のDNA認識機構の解明と口腔粘膜炎症の調節	西 裕美	口腔総合診療科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
F-spondinによる歯槽骨吸収抑制に関する検討	北川 雅恵	口腔総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
唾液腺腫瘍の生物学的態度に関わる因子の病理学的、分子生物学的解析	北川 雅恵	口腔総合診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Galectin-3を標的とした歯性感染誘導性早期低体重児出産の診断予防法の開発	北川 雅恵	口腔総合診療科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
消化管内視鏡画像解析による客観的指標の構築と診断支援システムへの応用	吉田 成人	内視鏡診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
診察時リアルタイム診断支援のための消化管内視鏡画像診断ハードウェアシステムの開発	吉田 成人	内視鏡診療科	10,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
子宮筋腫に対する凍結療法における画像診断学及び組織学的検討	山上 卓士	放射線診断科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
抗原の消化管透過性から見た食物アレルギー発症機序の解明	松尾 裕彰	薬剤部	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
機能的MRIを用いた膝前十字靭帯損傷患者の大脳固有感覚ネットワーク再構築の研究	平田 和彦	診療支援部	500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
分泌型マイクロRNAによる血管新生を基軸とした運動器損傷の新たな治療戦略	味八木 茂	未来医療センター	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
miRNAを含むエクソソームを用いた骨腫瘍治療への応用	味八木 茂	未来医療センター	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
変形性関節症における新規関節内コミュニケーション因子としての分泌マイクロRNA	味八木 茂	未来医療センター	4,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
運動器損傷に対する血管新生および組織特異的マイクロRNAによる新規治療開発	味八木 茂	未来医療センター	4,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
血管新生抑制作用とオートファジー活性化作用を持つ食品機能成分の老齢疾患予防効果	味八木 茂	未来医療センター	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
光を用いた離断性骨軟骨炎に対する新たな画像診断システムの開発	味八木 茂	未来医療センター	1,220,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
マイクロRNAと磁気ターゲッティングを併用した難治性骨折の治療戦略	味八木 茂	未来医療センター	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計25

劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	田妻　進	総合内科・総合診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
腫瘍の血管新生密度分布計測技術の研究	有廣　光司	病理診断科	8,095,128	補 委	文部科学省科学研究費補助金
人工呼吸器装着患者へのリハビリテーション展開に必要な新たな酸化ストレス指標の確立	對東　俊介	診療支援部	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計2
総計302

（注）1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名		発表者の所属	題名	雑誌名
1	Shibata Y., Tanaka Y., Tomita T., Taogoshi T., Kimura Y., Chikama T. and Kihira K.		眼科，薬剤部	Evaluation of corneal damage caused by iodine preparations using human corneal epithelial cells.	Jpn. J. Ophthalmol. 2014;58(6):522-7
2	Sato I,Sugiyama K,et al		がん化学療法科	Impact of late effects on health-related quality of life in survivors of pediatric brain tumors: motility disturbance of limb(s), seizure, ocular/visual impairment, endocrine abnormality, and higher brain dysfunction.	Cancer Nurs. 2014 Nov-Dec;37(6):E1-E14.
3	Sato I,Sugiyama K, et al		がん化学療法科	Cancer-specific health-related quality of life in children with brain tumors.	Qual Life Res. 2014 May;23(4):1059-68.
4	Takayasu T, Sugiyama K, et al.		がん化学療法科	p16 Gene Transfer Induces Centrosome Amplification and Abnormal Nucleation Associated with Survivin Downregulation in Glioma Cells.	Pathobiology. 2015 Feb 28;82(1):1-8.
5	Shimbo K1, Miyaki S2, Ishitobi H3, Kato Y4, Kubo T5, Shimose S5, Ochi M5.		形成外科	Exosome-formed synthetic microRNA-143 is transferred to osteosarcoma cells and inhibits their migration	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Mar 7;445(2):381-7
6	Yoshihara M, Itamura H, Fukushima N, Itoh M, Furukawa K, Nagatomo D, Kamachi K, Kitamura H, Shindo T, Kubota Y, Sueoka E, Morita S, Ichinohe T, Kimura S		血液内科	Therapeutic management in cardiac lymphoma	Leuk Lymphoma. 2014 May; 55(5):1215-7. EPub 2013 Sept 3
7	Kanda Y, Kanda J, Atsuta Y, Fuji S, Maeda Y, Ichinohe T, Takanashi M, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Mori T, Sao H, Kobayashi N, Iwato K, Sawada A, Mori S		血液内科	HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Changes in the clinical impact of high-risk human leukocyte antigen allele mismatch combinations on the outcome of unrelated bone marrow transplantation	Biol Blood Marrow Transplant. 2014 Apr; 20(4):526-35. EPub 2014 Jan10
8	Takasu M, Tamura T, Kaichi Y, Tanitame K, Akiyama Y, Date S, Sakai A, Kuroda Y, Awai K		血液内科	Magnetic resonance evaluation of multiple myeloma at 3.0 Tesla: how do bone marrow plasma cell percentage and selection of protocols affect lesion conspicuity?	PLoS One. 2014 Jan 28;9(1):e85931
9	Ohno Y, Saeki K, Yasunaga S, Kurogi T, Suzuki-Takedachi K, Shirai M, Mihara K, Yoshida K, Voncken JW, Ohtsubo M, Takihara Y		血液内科	Transcription of the Geminin gene is regulated by a negative-feedback loop	Mol Biol Cell. 2014 Apr; 25(8):1374-1383. EPub 2014 Feb 19
10	Ozaki S, Harada T, Saitoh T, Shimazaki C, Itagaki M, Asaoku H, Kuroda Y, Chou T, Yoshiki Y, Suzuki K, Murakami H, Hayashi K, Mina R, Palumbo A, Shimizu K		血液内科	Japanese Society of Myeloma; European Myeloma Network. Survival of multiple myeloma patients aged 65-70 years in the era of novel agents and autologous stem cell transplantation. A multicenter retrospective collaborative study of the Japanese Society of Myeloma and the European Myeloma Network	Acta Haematol. 2014;132(2):211-9

計10

11	Fuji S, Kanda J, Kato S, Ikegame K, Morishima S, Miyamoto T, Hidaka M, Kubo K, Miyamura K, Ohashi K, Kobayashi H, Maesako Y, Adachi S, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda Y		血液内科	Impact of HLA allele mismatch on the outcome in serologically-matched related hematopoietic SCT	Bone Marrow Transplant. 2014 Sept; 49(9):1187-92. EPub 2014 Jul 7
12	Kato H, Kawase T, Kako S, Mizuta S, Kurokawa M, Mori T, Ohashi K, Iwato K, Miyamura K, Hidaka M, Sakamaki H, Suzuki R, Morishima Y, Tanaka J, Tanaka J		血液内科	Analysis of outcomes following autologous stem cell transplantation in adult patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia during first complete remission	Haematologica. 2014 Nov;99(11): e228-30. Epub 2014 Jul 11
13	Takei Y, Ohnishi N, Kisaka M, Mihara K		血液内科	Determination of abnormally expressed microRNAs in bone marrow smears from patients with follicular lymphomas	SpringerPlus. 2014 Jun; 3:288
14	Mino T, Mihara K, Yoshida T, Takahira Y, Ichinohe T		血液内科	Monthly administration of rituximab is useful for patients with ocular adnexal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma	Blood Cancer J. 2014 Sep 12; 4:e245
15	Okamura I, Imai H, Mori K, Ogura K, Isoda A, Mihara K, Matsumoto M, Saito R, Takahashi T, Ikeda T		血液内科	Rituximab monotherapy as a first-line treatment for pulmonary mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma	Int J Hematol. 2015 Jan; 101(1):46-51
16	Kanda J, Ichinohe T, Fuji S, Maeda Y, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Iwato K, Eto T, Hirohisa Nakamae H, Kobayashi N, Mori T, Mori SI, Morishima Y, Atsuta Y, Kanda Y on behalf of the HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation		血液内科	The impact of HLA mismatch direction on the outcome of unrelated bone marrow transplantation: A retrospective analysis from the JSHCT	Biol Blood Marrow Transplant. 2015 Feb; 21(2):305-11. EPub 2014 Oct 18
17	Morishima Y, Kashiwase K, Matsuo K, Azuma F, Morishima S, Onizuka M, Yabe T, Murata M, Doki N, Eto T, Mori T, Miyamura K, Sao H, Ichinohe T, Saji H, Kato S, Atsuta Y, Kawa K, Kodera Y, Sasazuki T		血液内科	Biological significance of HLA locus matching in unrelated donor bone marrow transplantation	Blood. 2015 Feb; 125(7):1189-97. EPub 2014 Dec 18
18	Iida S, Narita T, Inagaki A, Kobayashi T, Kuroda Y, Fukushima T, Nezu M, Fuchida S, Hirotaka Sakai, Sekiguchi N, Isamu Sugiura I, Maeda Y, Takamatsu H, Tsukamoto N, Maruyama D, Kubota Y, Kojima M, Sunami K, Ono T, Ri M, Tobinai K		血液内科	T(14;16)-positive multiple myeloma shows negativity for CD56 expression and unfavorable outcome even in the era of novel drugs	Blood Cancer Journal 2015 Feb 27;5 :e285
19	Nakasone H, Tian L, Sahaf B, Kawase T, Schoenrock K, Perloff S, Ryan CE, Paul J, Popli R, Wu F, Otani JM, Coller J, Warren EH 3rd, Miklos DB		血液内科	Allogeneic HY antibodies detected 3 months after female to male sex-mismatched HCT predict chronic GVHD and non-relapse mortality	Blood. 2015 May 14; 125(20):3193-201. EPub 2015 Mar 12
20	Yoshida T, Mihara K, Arihiro K, Mino T, Asaoku H, Ichinohe T		血液内科，病理診断科	Concurrent administration of darbepoietin alfa cyclosporine A, and prednisolone is useful for T-cell large granular lymphocyte leukemia associated with myelodysplastic syndrome complicated by Cooms-negative hemolytic anemia	Ann Hematol. 2014 Nov; 93(11):1937-9. EPub 2014 Apr 23

計10

21	Takasu M, Kaichi Y, Tani C, Date S, Akiyama Y, Kuroda Y, Sakai A, Awai K		血液内科，放射線診断科	Iterative Decomposition of Water and Fat with Echo Asymmetry and Least-Squares Estimation (IDEAL) Magnetic Resonance Imaging as a Biomarker for Symptomatic Multiple Myeloma	PLoS One. 2015 Feb 23;10(2): e0116842
22	Shizuo Kayama, Norihumi Shigemoto, Ryuichi Kuwahara, Kenshiro Oshima, Hideki, Hirakawa, Junzo Hisatsune, Thomas Jove, Hisaaki Hishio, Katsutoshi Ymasaki, Yasunao Wada, Takeshi Ueshimo, Tetsuya Miura, Tijiro Sueda, Makoto Onodera, Michiya Yokozaki, Masahira Hattori, Hiroki Ohge, Motoyuki Sugai		検査部	Complete Nucleotide Sequence of the IncN Plasmid Encoding IMP-6 and CTX-M-2 from Emerging Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae in Japan	Antimicrobial Agents and Chemotherapy 2015 Feb;59(2):1356-9. doi: 10.1128/AAC.04759-14. Epub 2014 Dec 8.
23	Shizuo Kayama, Yumiko Kobe, Norihumi Shigemoto, Ryuichi Kuwahara, Tomoko Kakuhama, Kimie Kimura, Junzo Hisatsune, Makoto Onodera, Michiya Yokozaki, Hiroki Ohge, Motoyuki Sugai		検査部	Imipenem-Susceptible, Meropenem-Resistant Klebsiella pneumoniae Producing OXA-181 in Japan	Antimicrobial Agents and Chemotherapy 2015 Feb;59(2):1379-80. doi: 10.1128/AAC.04330-14. Epub 2014 Dec 15.
24	Ota K, Sadamori T, Kusunoki S, Otani T, Tamura T, Une K, Kida Y, Itai J, Iwasaki Y, Hirohashi N, Nakao M, Tanigawa K.		高度救命救急センター	Influence of clinical experience of the Macintosh laryngoscope on performance with the Pentax-AWS Airway Scope®, a rigid video-laryngoscope, by paramedics in Japan.	Journal of Anesthesia: Dec 2014, DOI 10. 1007
25	Itai J, Ohshimo S, Kida Y, Ota K, Iwasaki Y, Hirohashi N, Bonella F, Guzman J, Costabel U, Kohno N, Tanigawa K.		高度救命救急センター，呼吸器内科	A pilot study: a combined therapy using polymyxin-B hemoperfusion and extracorporeal membrane oxygenation for acute exacerbation of interstitial pneumonia.	Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis 31:343-349, 2015.
26	Shigematsu,H.,Okada,M.		呼吸器外科	Three models for predicting the risk of non-sentinel lymph node metastasis in Japanese breast cancer patients.	Breast Cancer 2014 Sep;21(5):571-5.
27	Mimae,T.,Okada,M.		呼吸器外科	Increased ectodomain shedding of lung epithelial cell adhesion molecule 1 as a cause of increased alveolar cell apoptosis in emphysema.	Thorax 2014 Mar;69(3):223-31.
28	Hihara,J.,Okada,M.		呼吸器外科	Esophageal bypass operation prior to definitive chemoradiotherapy in advanced esophageal cancer with tracheobronchial invasion.	Ann Thorac Surg 2014 Jan;97(1):290-5.
29	Miyata,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Lung abscess presenting as tension pyopneumothorax in a gastrointestinal cancer patient.	Ann Thorac Cardiovasc Surg 2014;20 Suppl:478-81.
30	Ibuki,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Emergency escape surgery for a gastro-bronchial fistula with respiratory failure that developed after esophagectomy.	Surg Today 2015 Mar;45(3):369-73.

計10

31	Miyata,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Segmentectomy for clinical stage IA lung adenocarcinoma showing solid dominance on radiology.	Eur J Cardiothorac Surg 2014 Oct;46(4):637-42.
32	Ito,M.,Okada,M.		呼吸器外科	alpha-Parvin, a pseudopodial constituent, promotes cell motility and is associated with lymph node metastasis of lobular breast carcinoma.	Breast Cancer Res Treat 2014 Feb;144(1):59-69.
33	Mimae,T.,Okada,M.		呼吸器外科	Role of lymphatic invasion in the prognosis of patients with clinical node-negative and pathologic node-positive lung adenocarcinoma.	J Thorac Cardiovasc Surg 2014 Jun;147(6):1820-6.
34	Miyata,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Appropriate sublobar resection choice for ground glass opacity-dominant clinical stage IA lung adenocarcinoma: wedge resection or segmentectomy.	Chest 2014 Jan;145(1):66-71.
35	Hamai,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Hemoglobin level influences tumor response and survival after neoadjuvant chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma.	World J Surg 2014 Aug;38(8):2046-51.
36	Miyata,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Sublobar resection for lung adenocarcinoma meeting node-negative criteria on preoperative imaging.	Ann Thorac Surg 2014 May;97(5):1701-7.
37	Okada,M.		呼吸器外科	Segmentectomy versus lobectomy for clinical stage IA lung adenocarcinoma.	Ann Cardiothorac Surg 2014 Mar;3(2):153-9.
38	Miyata,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Role of positron emission tomography/computed tomography finding foe adjuvant chemotherapy indications in stage T1b-2aN0M0 lung adenocarcinoma.	Ann Thorac Surg 2014 Aug;98(2):417-22.
39	Shigematsu,H.,Okada,M.		呼吸器外科	Role of FDG-PET/CT in prediction of underestimation of invasive breast cancer in cases of ductal carcinoma in situ diagnosed at needle biopsy.	Clin Breast Cancer 2014 Oct;14(5):358-64.
40	Ito,M.,Okada,M.		呼吸器外科	Prediction for prognosis of resected pT1a-1bN0M0 adenocarcinoma based on tumor size and histological status: relationship of TNM and IASLC/ATS/ERS classifications.	Lung Cancer 2014 Aug;85(2):270-5.

計10

41	Tsubokawa,N.,Okada,M.		呼吸器外科	Surgical outcomes of non-small-cell lung carcinoma in patients previously treated for gastric cancer.	Eur J Cardiotharac Surg 2015 Apr;47(4):648-52.
42	Mimae,T.,Okada,M.		呼吸器外科	Complete transection of the left main bronchus caused by blunt thoracic trauma in a child treated by bronchoplasty and lung parenchyma preservation.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2014 Jul 4.
43	Okada,M.		呼吸器外科	propensity score-matched analysis of adjuvant chemotherapy for stage I non-small cell lung cancer.	J Thorac Cardiovasc Surg 2014 Oct;148(4):1179-85.
44	Mimae,T.,Okada,M.		呼吸器外科	prognosis of lung cancer patients with a past history of colorectal cancer.	Jpn J Clin Oncol 2014 Nov;44(11):1088-95.
45	Miyata,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Prognostic impact of lymphatic invasion for pathological stage I squamous cell carcinoma of the lung.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2015 Mar;63(3):153-8.
46	Okada,M.		呼吸器外科	Prediction of lymph node status in clinical stage IA squamous cell carcinoma of the lung.	Eur J Cardiotharac Surg 2015 Jun;47(6):1022-6.
47	Mimae,T.,Okada,M.		呼吸器外科	A novel approach to pseudopodia proteomics: excimer laser etching, two-dimensional difference gel electrophoresis, and confocal imaging.	Protoc exch 2014 Mar 4;2014. pii: 2014.007.
48	Shigematsu,H.,Okada,M.		呼吸器外科	The efficacy and safety of preoperative chemotherapy with triweekly abraxane and cyclophosphamide followed by 5-Fluorouracil, epirubicin, and cyclophosphamide therapy for resectable breast cancer:a multicenter clinical trial.	Clin Breast Cancer 2015 Apr;15(2):110-6.
49	Okada,M.		呼吸器外科	Initial results of robot-assisted thoracoscopic surgery in Japan.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2014 Dec;62(12):720-5.
50	Shigematsu,H		呼吸器外科	Clinical Significance of Extracapsular Invasion at Sentinel Lymph Nodes in Breast Cancer Patients with Sentinel Lymph Node Involvement.	Ann Surg 2015 Jul;22(7):2365-71.

計10

51	Okada,M.		呼吸器外科	The Rho GTPase Rnd1 suppresses mammary tumorigenesis and EMT by restraining Ras-MAPK signalling.	Nat Cell Biol 2015 Jan;17(1):81-94.
52	Okada,M.		呼吸器外科	Comparison of malignant grade between pure and partially invasive types of early lung adenocarcinoma.	Ann Thorac Surg 2015 Mar;99(3):956-60.
53	Mimae,T.,Okada,M.		呼吸器外科	What are the radiologic findings predictive of indolent lung adenocarcinoma?	Jpn J Clin Oncol 2015 Apr;45(4):367-72.
54	Tsubokawa,N.,Okada,M.		呼吸器外科	Histologic changes associated with the use of fibrinogen- and thrombin-impregnated collagen in the prevention of pulmonary air leakage.	J Thorac Cardiovasc Surg 2015 Apr;149(4):982-8.
55	Kadoya,T.,Okada,M.		呼吸器外科	Utility of(18)F FDG-PET/CT for predicting prognosis of luminal-type breast cancer.	Breast Cancer Res Treat 2015 Feb;150(1):209-17.
56	Tsubokawa,N.,Okada,M.		呼吸器外科	Negative prognostic influence of micropapillary pattern in stage IA lung adenocarcinoma.	Eur J Cardiothorac Surg 2015 Mar 11. pii: ezv058.
57	Tsubokawa,N		呼吸器外科	Comparison of Postoperative Pain after Different Thoracic Surgery Approaches as Measured by Electrical Stimulation.	Thorac Cardiovasc Surg 2015 Sep;63(6):519-25.
58	Okada,M.		呼吸器外科	Methylated DLX4 Predicts Response to Pathologic Stage I Non-Small Cell Lung Cancer Resection.	Ann Thorac Surg 2015 May;99(5):1746-54.
59	Hamai,Y.,Okada,M.		呼吸器外科	Results of Neoadjuvant Chemoradiotherapy With Docetaxel and 5-Fluorouracil Followed by Esophagectomy to Treat Locally Advanced Esophageal Cancer.	Ann Thorac Surg 2015 Jun;99(6):1887-93.
60	Mimae,T.,Okada,M.		呼吸器外科	Surgical Outcomes of Lung Cancer in Patients with Combined Pulmonary Fibrosis and Emphysema.	Ann Surg Oncol 2015 May 9.

計10

61	Iwamoto,H		呼吸器内科	Differences in plasma and sputum biomarkers between COPD and COPD-asthma overlap	EUROPEAN RESPIRATORY JOURNAL 2014 Feb;43(2):421-9.
62	Hattori,N	他	呼吸器内科	Effects of a 6-Month Nurse-Led Self-Management Program on Comprehensive Pulmonary Rehabilitation for Patients with COPD Receiving Home Oxygen Therapy	REHABILITATION NURSING 2015 Jan-Feb;40(1):40-51.
63	Hattori,N	他	呼吸器内科	Differences in serum SP-D levels between German and Japanese subjects are associated with SFTPD gene polymorphisms	BMC MEDICAL GENETICS 2014 Jan 8;15:4.
64	Hide,M	他	呼吸器内科	Elevated Serum IgE against MGL_1304 in Patients with Atopic Dermatitis and Cholinergic Urticaria	ALLERGOLOGY INTERNATIONAL 2014 Mar;63(1):83-93.
65	Horimasu,Y		呼吸器内科	Solitary Fibrous Tumor with Rapid Progression after 16 Years' Follow Up	INTERNAL MEDICINE 2014;53(6):617-21.
66	Iwamoto,H		呼吸器内科	Soluble receptor for advanced glycation end-products and progression of airway disease	BMC PULMONARY MEDICINE 2014 Apr 24;14:68.
67	Nakashima,T		呼吸器内科	A systematic review and meta-analysis assessing adverse event profile and tolerability of nicergoline	BMJ OPEN 2014 Jul 30;4(7):e005090.
68	Hattori,N	他	呼吸器内科	Effect of increasing respiratory rate on airway resistance and reactance in COPD patients	RESPIROLOGY 2015 Jan;20(1):87-94.
69	Hattori,N	他	呼吸器内科	MUC5B promoter polymorphism in Japanese patients with idiopathic pulmonary fibrosis	RESPIROLOGY 2015 Apr;20(3):439-44.
70	Takumida,M	他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Localization of sirtuins in the mouse inner ear.	Acta Otolaryngol. 2014 Apr;134(4):331-8

計10

71	Katagiri,Y	他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Long-term administration of vasopressin can cause Ménière's disease in mice。	Acta Otolaryngol. 2014 Oct;134(10):990-1004
72	Tashiro H, Kuroda S, Mikuriya Y, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Ischemia-reperfusion injury in patients with fatty liver and the clinical impact of steatotic liver on hepatic surgery.	Surg Today. 44(9):1611-25.
73	Ohdan H.		消化器・移植外科学	Response: Domino liver transplantation as a valuable option.	Transpl Int. (4):e29-30.
74	Torashima M, Tanabe K, Yoshida M, Kawahira H, Inada T, Okabe H, Urushihara T, Kawashima Y, Fukushima N, Nakada K.		消化器・移植外科学	Postgastrectomy Syndrome Assessment Scale (PGSAS)-45 and Changes in Body Weight are Useful Tools for Evaluation of Reconstruction Methods Following Distal Gastrectomy.	Ann Surg Oncol. Suppl 3:S370-378.
75	Yoshikawa T , Tanabe K, Nishikawa K, Ito Y, Matsui T, Kimura Y, Hasegawa S, Aoyama T, Hayashi T, Morita S, Miyashita Y, Tsuburaya A, Sakamoto J.		消化器・移植外科学	Accuracy of CT Staging of Locally Advanced Gastric Cancer after Neoadjuvant Chemotherapy: Cohort Evaluation within a Randomized Phase II Study.	Ann Surg Oncol. Suppl 3:S385-389.
76	Aoyama T, Nishikawa K, Takiguchi N, Tanabe K, Imano M, Fukushima R, Sakamoto J, Oba MS, Morita S, Kono T, Tsuburaya A.		消化器・移植外科学	Double-blind, placebo-controlled, randomized phase II study of TJ-14 (hangeshashinto) for gastric cancer chemotherapy-induced oral mucositis.	Cancer Chemother Pharmacol. 73(5):1047-1054.
77	Akamatsu N, Sugawara Y, Kokudo N, Eguchi S, Fujiwara T, Ohdan H, Nagano H, Taketomi A, Kitagawa Y, Shimada M, Ku Y, Yanaga K, Shirabe K, Ikegami T, Mizokami M, Takeuchi M, Maehara Y.		消化器・移植外科学	Outcomes of living donor liver transplantation for HCV-positive recipients in Japan: results of a nationwide survey.	Transpl Int. 27(8):767-774.
78	Hayashi T, Aoyama T, Tanabe K, Nishikawa K, Ito Y, Ogata T, Cho H, Morita S, Miyashita Y, Tsuburaya A, Sakamoto J, Yoshikawa T.		消化器・移植外科学	Low creatinine clearance is a risk factor for D2 gastrectomy after neoadjuvant chemotherapy.	Ann Surg Oncol. 21(9):3015-3022.
79	Morimoto H, Ishiyama K, Ishifuro M, Ohira M, Ide K, Tanaka Y, Tahara H, Teraoka Y, Yamashita M, Abe T, Hashimoto S, Hirata F, Tanimine N, Saeki Y, Shimizu S, Sakai H, Yano T, Tashiro H, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Clinical efficacy of simultaneous splenectomy in liver transplant recipients with hepatitis C virus。	Transplant Proc. 46(3):770-773.
80	Sakai H, Ishiyama K, Tanaka Y, Ide K, Ohira M, Tahara H, Abe T, Hirata F, Morimoto H, Hashimoto S, Tanimine N, Saeki Y, Shimizu S, Yano T, Kobayashi T, Tashiro H, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Potential benefit of mixed lymphocyte reaction assay-based immune monitoring after living donor liver transplantation for recipients with autoimmune hepatitis.	Transplant Proc. 46(3):785-789.

計10

81	Morimoto H, Ide K, Tanaka Y, Ishiyama K, Ohira M, Tahara H, Teraoka Y, Yamashita M, Abe T, Hashimoto S, Hirata F, Tanimine N, Saeki Y, Shimizu S, Sakai H, Yano T, Tashiro H, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Bile CXC motif chemokine 10 levels correlate with anti-donor cytotoxic T cell responses after liver transplantation.	Transplant Proc.46(3):790-793.
82	Abe T, Onoe T, Tahara H, Tashiro H, Ishiyama K, Ide K, Ohira M, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Risk factors for development of new-onset diabetes mellitus and progressive impairment of glucose metabolism after living-donor liver transplantation.	Transplant Proc. 46(3):865-869.
83	Shimizu S, Onoe T, Ishiyama K, Ide K, Ohira M, Tahara H, Saeki Y, Kobayashi T, Kuroda S, Tashiro H, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Multiple hepatic vein reconstruction using an all-in-one sleeve patch graft technique in living donor liver transplantation: a case report.	Transplant Proc. 46(3):982-985.
84	Kawaguchi K, Egi H, Hattori M, Sawada H, Suzuki T, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Validation of a novel basic virtual reality simulator, the LAP-X, for training basic laparoscopic skills.	Minim Invasive Ther Allied Technol. 23(5):287-293.
85	Tokumoto N, Tanabe K, Misumi T, Fujikuni N, Suzuki T, Ohdan H.		消化器・移植外科学	The Usefulness of Preoperative 18FDG Positron-Emission Tomography and Computed Tomography for Predicting the Malignant Potential of Gastrointestinal Stromal Tumors.	Dig Surg. 31(2):79-86.
86	Takakura Y, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Inflammatory markers as predictors of surgical site infection after elective colorectal surgery: authors' reply.	Langenbecks Arch Surg. 399(6):797-798.
87	Tsuburaya A, Yoshida K, Kobayashi M, Yoshino S, Takahashi M, Takiguchi N, Tanabe K, Takahashi N, Imamura H, Tatsumoto N, Hara A, Nishikawa K, Fukushima R, Nozaki I, Kojima H, Miyashita Y, Oba K, Buyse M, Morita S, Sakamoto J.		消化器・移植外科学	Sequential paclitaxel followed by tegafur and uracil (UFT) or S-1 versus UFT or S-1 monotherapy as adjuvant chemotherapy for T4a/b gastric cancer (SAMIT): a phase 3 factorial randomised controlled trial.	Lancet Oncol. 15(8):886-893.
88	Mikuriya Y, Tashiro H, Kuroda S, Nambu J, Kobayashi T, Amano H, Tanaka Y, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Fatty liver creates a pro-metastatic microenvironment for hepatocellular carcinoma through activation of hepatic stellate cells.	Int J Cancer. 136(4):E3-13.
89	Tanimine N, Tanaka Y, Kobayashi T, Tashiro H, Miki D, Imamura M, Aikata H, Tanaka J, Chayama K, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Quantitative effect of natural killer cell licensing on hepatocellular carcinoma recurrence after curative hepatectomy.	Cancer Immunol Res. 2(12):1142-1147.
90	Fujikuni N, Yamamoto H, Tanabe K, Naito Y, Sakamoto N, Tanaka Y, Yanagihara K, Oue N, Yasui W, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Hypoxia-mediated CD24 expression is correlated with gastric cancer aggressiveness by promoting cell migration and invasion.	Cancer Sci. 105(11):1411-1420.

計10

91	Ohdan H.		消化器・移植外科学	How can we minimize bleeding complications in ABO-incompatible kidney transplant recipients?	Transpl Int. 28(1):22-24.
92	Okimoto S, Kobayashi T, Kuroda S, Tahara H, Ohira M, Ide K, Ishiyama K, Tashiro H, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Pancreaticoduodenectomy with preservation of gastric tube blood flow after esophagectomy: Report of a case.	Int J Surg Case Rep. 5(10):746-749.
93	Tanaka Y, Ohira M, Tashiro H, Imamura M, Chayama K, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Impact of alloimmune T cell responses on hepatitis C virus replication in liver transplant recipients.	Hum Immunol. 75(12):1259-1267.
94	Kuroda S, Tashiro H, Kimura Y, Hirata K, Tsutadu M, Mikuriya Y, Kobayashi T, Amano H, Tanaka Y, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Rho-kinase inhibitor targeting liver prevents ischemic reperfusion injury in steatotic liver without major systemic adverse in rat.	Liver Transpl. 21(1):123-131.
95	Irei T, Onoe T, Das LK, Tanimine N, Ishiyama K, Ide K, Kobayashi T, Tashiro H, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Successful resolution of very severe hepatopulmonary syndrome following adult-to-adult living donor liver transplantation: Report of two cases.	Hepatol Res. 2014 Oct 30.
96	Dang VT, Tanabe K, Tanaka Y, Tokumoto N, Misumi T, Saeki Y, Fujikuni N, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Fasting Enhances TRAIL-Mediated Liver Natural Killer Cell Activity via HSP70 Upregulation.	PLoS One. 30;9(10):e110748.
97	Adachi T, Hinoi T, Hattori M, Egi H, Shimomura M, Saito Y, Sawada H, Miguchi M, Niitsu H, Mukai S, Yano T, Ohdan H.		消化器・移植外科学	The modified Glasgow prognostic score for early mortality in patients with synchronous peritoneal carcinomatosis from colorectal cancer.	Surg Today. 2015 Nov;45(11):1396-403.
98	Yamagami T, Yoshimatsu R, Ishikawa M, Kajiwara K, Aikata H, Tashiro H, Kakizawa H, Toyoda N, Ohdan H, Awai K.		消化器・移植外科学	Transcatheter arterial chemoembolization with an interventional-CT system for recurrent hepatocellular carcinoma after living donor liver transplantation.	Hepatogastroenterology. 61(133):1387-92.
99	Shiraishi Y, Fujimoto A, Furuta M, Tanaka H, Chiba K, Boroevich KA, Abe T, Kawakami Y, Ueno M, Gotoh K, Ariizumi S, Shibuya T, Nakano K, Sasaki A, Maejima K, Kitada R, Hayami S, Shigekawa Y, Marubashi S, Yamada T, Kubo M, Ishikawa O, Aikata H, Arihiro K, Ohdan H, Yamamoto M, Yamaue H, Chayama K, Tsunoda T, Miyano S, Nakagawa H.		消化器・移植外科学	Integrated analysis of whole genome and transcriptome sequencing reveals diverse transcriptomic aberrations driven by somatic genomic changes in liver cancers.	PLoS One. 19;9(12):e114263.
100	Uchida K, Morimoto H, Tashiro H, Ohdan H, Yamamoto M.		消化器・移植外科学	New suture: Tail clinch knot for transabdominal preperitoneal hernia repair.	Asian J Endosc Surg. 8(1):98-99.

#10

101	Fujimoto A, Furuta M, Shiraishi Y, Gotoh K, Kawakami Y, Arihiro K, Nakamura T, Ueno M, Arilzumi S, Hai Nguyen H, Shigemizu D, Abe T, Boroevich KA, Nakano K, Sasaki A, Kitada R, Maejima K, Yamamoto Y, Tanaka H, Shibuya T, Shibata T, Ojima H, Shimada K, Hayami S, Shigekawa Y, Aikata H, Ohdan H, Marubashi S, Yamada T, Kubo M, Hirano S, Ishikawa O, Yamamoto M, Yamaue H, Chayama K, Miyano S, Tsunoda T, Nakagawa H。		消化器・移植外科学	Whole-genome mutational landscape of liver cancers displaying biliary phenotype reveals hepatitis impact and molecular diversity。	Nat Commun。2015 Jan 30;6:6120。
102	Fujita J, Takahashi M, Urushihara T, Tanabe K, Kodera Y, Yumiba T, Matsumoto H, Takagane A, Kunisaki C, Nakada K.		消化器・移植外科学	Assessment of postoperative quality of life following pylorus-preserving gastrectomy and Billroth-I distal gastrectomy in gastric cancer patients: results of the nationwide postgastrectomy syndrome assessment study。	Gastric Cancer. 2015 Jan 31。
103	Baba K, Oshita A, Kohyama M, Inoue S, Kuroo Y, Yamaguchi T, Nakamura H, Sugiyama Y, Tazaki T, Sasaki M, Imamura Y, Daimaru Y, Ohdan H, Nakamitsu A。		消化器・移植外科学	Successful treatment of conversion chemotherapy for initially unresectable synchronous colorectal liver metastasis。	World J Gastroenterol。21(6):1982-1988。
104	Saito Y, Takakura Y, Hinoi T, Egi H, Tashiro H, Ohdan H。		消化器・移植外科学	Body mass index as a predictor of postoperative complications in loop ileostomy closure after rectal resection in Japanese patients。	Hiroshima J Med Sci. 63(4):33-8。
105	Takehara H, Tanabe K, Fujikuni N, Tahara H, Ide K, Tanaka Y, Yasui W, Ohdan H。		消化器・移植外科学	A case of gastric cancer following living donor liver transplantation	Hiroshima J. Med. Sci. 63(1-3): 23-26.
106	Sawada H, Egi H, Hattori M, Suzuki T, Mukai S, Kurita Y, Yasui W, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Stochastic resonance enhanced tactile feedback in laparoscopic surgery.	Surg Endosc. 2015 Mar 5.
107	Mikuriya Y, Tashiro H, Kobayashi T, Kuroda S, Abe T, Hashimoto M, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Clinicopathological features of hepatocellular carcinoma in patients with nonalcoholic fatty liver disease。	Langenbecks Arch Surg。2015 May;400(4):471-6.
108	Sawada H, Egi H, Hattori M, Suzuki T, Shimomura M, Tanabe K, Okajima M, Ohdan H。		消化器・移植外科学	Initial experiences of robotic versus conventional laparoscopic surgery for colorectal cancer, focusing on short-term outcomes: a matched case-control study。	World J Surg Oncol. 2015 Dec;13(1):517.
109	Banshodani M, Kawanishi H, Marubayashi S, Shintaku S, Moriishi M, Shimamoto F, Tsuchiya S, Dohi K, Ohdan H。		消化器・移植外科学	De novo renal cell carcinoma in a kidney allograft 20 years after transplant.	Case Rep Transplant. 2015;2015:679262.
110	Sada H, Shimomura M, Hinoi T, Egi H, Kawaguchi K, Yano T, Niitsu H, Saitou Y, Sawada H, Miguchi M, Adachi T, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Avoiding restorative proctocolectomy for colorectal cancer in patients with ulcerative colitis based on preoperative diagnosis involving p53 immunostaining: report of a case.	World J Surg Oncol. 2015 Mar 26;13(1):123.

計10

111	Tanimine N, Ohdan H.		消化器・移植外科学	Impact of multiplicity of functional KIR-HLA compound genotypes on hepatocellular carcinoma.	Oncoimmunology. 4(1):e983765.
112	Takaki S, Kawakami Y, Miyaki D, Nakahara T, Naeshiro N, Murakami E, Tanaka M, Honda Y, Yokoyama S, Nagaoki Y, Kawaoka T, Hiramatsu A, Tsuge M, Hiraga N, Imamura M, Hyogo H, Aikata H, Takahashi S, Arihiro K, Chayama K.		消化器・代謝内科	Non-invasive liver fibrosis score calculated by combination of virtual touch tissue quantification and serum liver functional tests in chronic hepatitis C patients.	Hepatol Res 2014 Mar;44(3):280-7.
113	Ishigaki T, Sasaki T, Serikawa M, Minami T, Okazaki A, Yukitake M, Ishii Y, Kosaka K, Mori T, Yoshimi S, Chayama K		消化器・代謝内科	A comparative study of 4 Fr versus 6 Fr nasobiliary drainage catheters: A randomized, controlled trial	Journal of Gastroenterology and Hepatology 2014 Mar;29(3):653-9.
114	Nakahara T, Hyogo H, Yoneda M, Sumida Y, Eguchi Y, Fujii H, Ono M, Kawaguchi T, Imajo K, Aikata H, Tanaka S, Kanemasa K, Fujimoto K, Anzai K, Saibara T, Sata M, Nakajima A, Itoh Y, Chayama K, Okanoue T; Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver Disease.		消化器・代謝内科	Type 2 diabetes mellitus is associated with the fibrosis severity in patients with nonalcoholic fatty liver disease in a large retrospective cohort of Japanese patients.	J Gastroenterol 2014 Nov;49(11):1477-84.
115	Fujino H, Imamura M, Nagaoki Y, Kawakami Y, Abe H, Hayes CN, Kan H, Fukuhara T, Kobayashi T, Masaki K, Ono A, Nakahara T, Honda Y, Naeshiro N, Urabe A, Yokoyama S, Miyaki D, Murakami E, Kawaoka T, Hiraga N, Tsuge M, Hiramatsu A, Hyogo H, Aikata H, Takahashi S, Miki D, Ochi H, Ohishi W, Chayama K; Hiroshima Liver Study Group.		消化器・代謝内科	Predictive value of the IFNL4 polymorphism on outcome of telaprevir, peginterferon, and ribavirin therapy for older patients with genotype 1b chronic hepatitis C.	J Gastroenterol 2014 Dec;49(12):1548-56.
116	Kawaoka T, Takahashi S, Tatsukawa Y, Hiramatsu A, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Ishiyama K, Ide K, Tashiro H, Ohdan H, Chayama K.		消化器・代謝内科	Two patients treated with pegylated interferon/ribavirin/telaprevir triple therapy for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation.	Hepatol Res 2014 Nov;44(12):1259-64.
117	Murakami E, Imamura M, Hayes CN, Abe H, Hiraga N, Honda Y, Ono A, Kosaka K, Kawaoka T, Tsuge M, Aikata H, Takahashi S, Miki D, Ochi H, Matsui H, Kanai A, Inaba T, McPhee F, Chayama K.		消化器・代謝内科	Ultradeep sequencing study of chronic hepatitis C virus genotype 1 infection in patients treated with daclatasvir, peginterferon, and ribavirin.	Antimicrob Agents Chemother 2014;58(4):2105-12.
118	Kawaoka T, Aikata H, Kan H, Fujino H, Fukuhara T, Kobayashi T, Naeshiro N, Miyaki D, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Hyogo H, Chayama K.		消化器・代謝内科	Clinical outcome and prognostic factors of patients with hepatocellular carcinoma and extrahepatic metastasis treated with sorafenib.	Hepatol Res 2014 Dec;44(13):1320-8.
119	Kan H, Kimura Y, Hyogo H, Fukuhara T, Fujino H, Naeshiro N, Honda Y, Kawaoka T, Tsuge M, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Arihiro K, Chayama K.		消化器・代謝内科	Non-invasive assessment of liver steatosis in non-alcoholic fatty liver disease.	Hepatol Res 2014 Dec;44(14):E420-7.
120	Ochi H, Miki D, Hayes CN, Abe H, Hayashida Y, Kubo M, Chayama K.		消化器・代謝内科	IFNL4/IL-28B haplotype structure and its impact on susceptibility to hepatitis C virus and treatment response in the Japanese population.	J Gen Virol 2014 Jun;95(Pt 6):1297-306.

計10

121	Nagaoki Y, Imamura M, Kawakami Y, Kan H, Fujino H, Fukuhara T, Kobayashi T, Ono A, Nakahara T, Naeshiro N, Urabe A, Yokoyama S, Miyaki D, Murakami E, Kawaoka T, Tsuge M, Hiramatsu A, Aikata H, Takahashi S, Hayes CN, Ochi H, Chayama K; Hiroshima Liver Study Group。		消化器・代謝内科	Interferon lambda 4 polymorphism affects on outcome of telaprevir, pegylated interferon and ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C。	Hepatol Res 2014 Dec;44(14):E447-54.
122	Kohno T, Tsuge M, Murakami E, Hiraga N, Abe H, Miki D, Imamura M, Ochi H, Hayes CN, Chayama K。		消化器・代謝内科	Human microRNA hsa-miR-1231 suppresses hepatitis B virus replication by targeting core mRNA。	J Viral Hepat 2014;21(9):e89-97。
123	Fukuhara T, Hyogo H, Ochi H, Fujino H, Kan H, Naeshiro N, Honda Y, Miyaki D, Kawaoka T, Tsuge M, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Chayama K。		消化器・代謝内科	Efficacy and safety of sitagliptin for the treatment of nonalcoholic fatty liver disease with type 2 diabetes mellitus。	Hepatogastroenterology 2014 Mar-Apr;61(130):323-8。
124	Minami T, Sasaki T, Serikawa M, Ishigaki T, Murakami Y, Chayama K		消化器・代謝内科	Antibiotic prophylaxis for endoscopic retrograde chlangiopancreatography increases the detection rate of drug -resistant bacteria in bile	J Hepatobiliary Pancreat Sci 2014 Sep;21(9):712-8.
125	Minami T, Sasaki T, Serikawa M, Kamigaki M, Yukutake M1, Ishigaki T, Ishii Y, Mouri T, Yoshimi S, Shimizu A, Tsuboi T, Kurihara K, Tatsukawa Y, Miyaki E, Chayama K		消化器・代謝内科	Occupational Radiation Exposure during Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography and Usefulness of Radiation Protective Curtains	Gastroenterology Research and Practice 2014;2014:926876.
126	Ishii Y, Sasaki T, Serikawa M, Kobayashi K, Kamigaki M, Minami T, Okazaki A, Yukitake M, Ishigaki T, Kosaka K, Mori T, Yoshimi S, Chayama K		消化器・代謝内科	Characteristic Features of Cholangiocarcinoma Complicating Primary Sclerosing Cholangitis	Hepato-Gastroenterology 2014 May;61(131):567-73.
127	Honda Y, Kawakami Y, Kan H, Fujino H, Fukuhara T, Naeshiro N, Miyaki D, Kawaoka T, Hiramatsu A, Tsuge M, Imamura M, Hyogo H, Aikata H, Chayama K.		消化器・代謝内科	A second attack of cholestasis associated with erythropoietic protoporphyria was successfully treated by plasma exchange and blood transfusion.	Clin J Gastroenterol 2014 Aug;7(4):333-7.
128	Kumada H, Sato K, Takehara T, Nakamuta M, Ishigami M, Chayama K, Toyota J, Suzuki F, Nakayasu Y, Ochi M, Yamada I, Okanoue T		消化器・代謝内科，整形外科	Efficacy of telaprevir-based therapy for difficult-to-treat patients with genotype 2 chronic hepatitis C in Japan.	Hepatol Res 2015 Jul;45(7):745-54.
129	Naeshiro N, Kakizawa H, Aikata H, Kan H, Fujino H, Fukuhara T, Kobayashi T, Honda Y, Miyaki D, Kawaoka T, Tsuge M, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Hyogo H, Ishikawa M, Awai K, Chayama K.		消化器・代謝内科，放射線診断科	Percutaneous transvenous embolization for portosystemic shunts associated with encephalopathy: Long-term outcomes in 14 patients.	Hepatol Res 2014 Jul;44(7):740-9.
130	Naeshiro N, Aikata H, Kakizawa H, Hyogo H, Kan H, Fujino H, Kobayashi T,Fukuhara T, Honda Y, Ohno A, Miyaki D, Kawaoka T, Tsuge M, Hiraga N, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S, Awai K, Chayama K.		消化器・代謝内科，放射線診断科	Long-term outcome of patients with gastric varices treated by balloon-occluded retrograde transvenous obliteration.	J Gastroenterol Hepatol 2014 May;29(5):1035-42。

計10

131	Yukitake M, Sasaki T, Serikawa M, Minami T, Okazaki A, Ishigaki T, Ishii Y, Kosaka K, Mori T, Yoshimi S, Shimizu A, Tsuboi T, Tanitame K, Chayama K		消化器・代謝内科，放射線診断科	Timing of radiological improvement after steroid therapy in patients with autoimmune pancreatitis	Scandinavian Journal of Gastroenterology 2014 Jun;49(6):727-33.
132	Honda Y, Kimura T, Aikata H, Nakahara T, Naeshiro N, Tanaka M, Miyaki D, Nagaoki Y, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Ishikawa M, Kakizawa H, Kenjo M, Awai K, Nagata Y, Chayama K.		消化器・代謝内科，放射線診断科	Pilot study of stereotactic body radiation therapy combined with transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma.	Hepatogastroenterology 2014 Jan-Feb;61(129):31-6.
133	Morishima T, Watanabe K, Niwa A, Hirai H, Saida S, Tanaka T, Kato I, Umeda K, Hiramatsu H, Saito MK, Matsubara K, Adachi S, Kobayashi M, Nakahata T, Heike T.		小児科	Genetic correction of HAX1 in induced pluripotent stem cells from a patient with severe congenital neutropenia improves defective granulopoiesis.	Haematologica. 2014;99(1):19-27.
134	Fujii Y, Ishikawa N, Kobayashi Y, Kobayashi M, Kato M.		小児科	Compound heterozygosity in GPR56 with bilateral frontoparietal polymicrogyria.	Brain Dev. 2014;36(6):528-31
135	Shiba N, Funato M, Ohki K, Park MJ, Mizushima Y, Adachi S, Kobayashi M, Kinoshita A, Sotomatsu M, Arakawa H, Tawa A, Horibe K, Tsukimoto I, Hayashi Y.		小児科	Mutations of the GATA2 and CEBPA genes in paediatric acute myeloid leukaemia.	Br J Haematol. 2014;164(1):142-5.
136	Ishikawa N, Kobayashi Y, Fujii Y, Tajima G, Kobayashi M.		小児科	Ictal electroencephalography and electromyography features in symptomatic infantile epileptic encephalopathy with late-onset spasms.	Neuropediatrics. 2014;45(1):36-41.
137	Kobayashi Y, Ishikawa N, Fujii Y, Nakamura K, Kobayashi M.		小児科	A case of trisomy 18 with exacerbation of seizures triggered by administration of valproic acid.	Am J Med Genet A. 2014;164(1):285-6.
138	Mekki N, Ben-Mustapha I, Liu L, Boussofara L, Okada S, Cypowyj S, Gharbi N, Saidi W, Denguezli M, Casanova JL, Puel A, Barbouche MR.		小児科	IL-17 T cells' defective differentiation in vitro despite normal range ex vivo in chronic mucocutaneous candidiasis due to STAT1 mutation.	J Invest Dermatol. 2014;134(4):1155-7.
139	Mizoguchi Y, Tsumura M, Okada S, Hirata O, Minegishi S, Imai K, Hyakuna N, Muramatsu H, Kojima S, Ozaki Y, Imai T, Takeda S, Okazaki T, Ito T, Yasunaga S, Takihara Y, Bryant VL, Kong XF, Cypowyj S, Boisson-Dupuis S, Puel A, Casanova JL, Morio T, Kobayashi M.		小児科	Simple diagnosis of STAT1 gain-of-function alleles in patients with chronic mucocutaneous candidiasis.	J Leukoc Biol. 2014;95(4):667-76.
140	Yasumura J, Wago M, Okada S, Nishikomori R, Takei S, Kobayashi M.		小児科	A 2-year-old Japanese girl with TNF receptor-associated periodic syndrome: A case report of the youngest diagnosed proband in Japan.	Mod Rheumatol. 2014 Jun 20:1-4.

計10

141	Ishikawa N, Kobayashi Y, Fujii Y, Samukawa M, Kusunoki S, Kobayashi M.		小児科	A pediatric case of peripheral polyneuropathy with IgM anti-GM1 antibody associated with a group a beta-hemolytic Streptococcus infection.	Pediatr Neurol. 2014 Sep;51(3):441-3.
142	Sueda T		心臓血管外科	「What is essential for the elimination of persistent or chronic atrial fibrillation ?」	Surg Today 44:211-21, 2014
143	Uchida N, Takasaki T, Takahashi S, Sueda T.		心臓血管外科	「Sutureless surgical techniques for arch aneurysm repair in a patient with Behcet's disease.」	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2014;20 Suppl:859-61.
144	Takahashi S, Isaka M, Hamaishi M, Imai K, Orihashi K, Sueda T.		心臓血管外科	「Trehalose protects against spinal cord ischemia in rabbits.」	J Vasc Surg. 2014 Aug;60(2):490-6.
145	Sudo T, Murakami Y, Uemura K, Hashimoto Y, Kondo N, Nakagawa N, Sueda T.		心臓血管外科	「Short- and long-term results of lateral pancreaticojejunostomy for chronic pancreatitis: a retrospective Japanese single-center study.」	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014 Jun;21(6):426-32.
146	Fujiwara M, Nakano Y, Imai K, Sueda T, Kihara Y		心臓血管外科	Prediction of atrial fibrillation after off-pump coronary artery bypass grafting using preoperative total atrial conduction time determined on tissue doppler imaging.	Circ J 2014. 78(2):345-352
147	Takahashi S, Orihashi K, Okada K, Imai K, Takasaki T, Uchida N, Sueda T.		心臓血管外科	「Transaortic stent grafting of a Kommerell diverticulum arising from a right-sided aortic arch.」	Ann Vasc Surg. 2014 May;28(4):1037.e15-9.
148	Uemura K, Murakami Y, Sudo T, Hashimoto Y, Kondo N, Nakagawa N, Sasaki H, Ohge H, Sueda T.		心臓血管外科	「Indicators for proper management of surgical drains following pancreaticoduodenectomy.」	J Surg Oncol. 2014 Jun;109(7):702-7
149	Takahashi S, Kuroda M, Orihashi K, Takasaki T, Imai K, Uchida N, Sueda T.		心臓血管外科	「Real-time graft flow assessment using epigraftic ultrasonography during coronary artery bypass grafting.」	Eur J Cardiothorac Surg. 2014 Oct;46(4):706-12.
150	Kayama S, Shigemoto N, Shimizu W, Kuwahara R, Ikeda M, Ikebe K, Maeda K, Hisatsune J, Ohge H, Sugai M.		心臓血管外科	「Tripoli metallo-beta-lactamase-1 (TMB-1)-producing Acinetobacter spp. with decreased resistance to imipenem in Japan.」	Antimicrob Agents Chemother 2014;58(4):2477-8

計10

151	Uegami S, Ikawa K, Ohge H, Nakashima A, Shigemoto N, Morikawa N, Murakami M, Sueda T.		心臓血管外科	「Pharmacokinetics and pharmacodynamic target attainment of intravenous pazufloxacin in the bile of patients undergoing biliary pancreatic surgery.」	Journal of Chemotherapy 2014 Oct;26(5):287-92
152	Tokumasu D, Sakuma T, Hayashi Y, Hosoi S, Hiyama E, Yamamoto T.		心臓血管外科	「FAST-ID system for enrichment of cells with TALEN-induced mutations and large deletions.」	Genes Cells 2014; 19(5): 419-31
153	Orihashi K, Tashiro M, Kondo N, Kihara K, Yamamoto M, Warilshi S, Fukumoto T, Nishimori H, Sueda T.		心臓血管外科	「Intraoperative migration of open stent graft detected by transesophageal echocardiography:Report of two cases.」	Ann Vasc Dis 2014; 7:75-78
154	Takahashi S, Orihashi K, Imai K, Mizukami T, Takasaki T, Sueda T.		心臓血管外科	「Transintercostal-evoked spinal cord potential in thoracic aortic surgery.」	Ann Vasc Surg. 2014 Oct;28(7):1775-81.
155	Takahashi S, Uchida N, Sueda T.		心臓血管外科	「Hybrid debranching endovascular aortic repair with coronary artery bypass.」	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2014 Oct;22(8):990.
156	Taguchi T, Maeba S, Sueda T.		心臓血管外科	「Prevention of pacemaker-associated contact dermatitis by polytetrafluoriethylene sheet and conduit coating of the pacemaker system」	Journal of Artificial Organs. 2014 Sep; 17(3): 285-7
157	Katayama K, Uchida N, Katayama A, Takahashi S, Takasaki T, Kurosaki T, Imai K, Sueda T.		心臓血管外科	「Multiple factors predict the risk of spinal cord injury after the frozen elephant trunk technique for extended thoracic aortic disease.」	Eur J Cardiothorac Surg. 2015 Apr;47(4):616-20. doi: 10.1093/ejcts/ezu243. Epub 2014 Jun 18.
158	Katayama K, Uchida N, Takasaki T, Sueda T.		心臓血管外科	「Prestenotic and poststenotic multiple aneurysms with adult coarctation.」	J Vasc Surg. 2014 Jul;60(1):234.
159	Sueda T, Takahashi S, Katayama K, Imai K.		心臓血管外科	「Successful treatment of an infected thoracic endovascular stent graft.」	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Jul 4. [Epub ahead of print]
160	Sudo T, Murakami Y, Uemura K, Hashimoto Y, Kondo N, Nakagawa N, Ohge H, Sueda T.		心臓血管外科	「Perioperative antibiotics covering bile contamination prevent abdominal infectious complications after pancreatoduodenectomy in patients with preoperative biliary drainage.」	World J Surg. 2014 Nov;38(11):2952-9.

計10

161	Takahashi S, Fujiwara M, Watadani K, Taguchi T, Katayama K, Takasaki T, Kurosaki T, Imai K, Sueda T.		心臓血管外科	「Preoperative tissue Doppler imaging-derived atrial conduction time can predict postoperative atrial fibrillation in patients undergoing aortic valve replacement for aortic valve stenosis.」	Circ J. 2014;78(9):2173-81.
162	Sasaki H, Murakami Y, Uemura K, Sudo T, Hashimoto Y, Kondo N, Sueda T.		心臓血管外科	「Concurrent analysis of human equilibrative nucleoside transporter 1 and ribonucleotide reductase subunit 1 expression increases predictive value for prognosis in cholangiocarcinoma patients treated with adjuvant gemcitabine-based chemotherapy」	British Journal of Cancer, 2014 Sep 23;111(7):1275-84
163	Takahashi S, Katayama K, Takasaki T, Sueda T.		心臓血管外科	「Endovascular repair for retrograde type A aortic dissection with malperfusion.」	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2014 Sep 2. pii
164	Taguchi T, Katayama K, Sueda T.		心臓血管外科	「Periaortic inflammation after endovascular graft」	Asian Cardiovasc Thorac Surg: September 3, 2014 2014 in print
165	Takahashi S, Katayama K, Tatsugawa T, Sueda T.		心臓血管外科	「A successful hybrid repair for vertebral arteriovenous fistula with extracranial vertebral artery aneurysm.」	Ann Vasc Surg. 2015 Jan;29(1):126.e5-8.
166	Taguchi T, Watanabe M, Watadani K, Katayama K, Takahashi S, Takasaki T, Kurosaki T, Imai K, Sueda T.		心臓血管外科	「A case of Heyde syndrome: resolution following aortic valve replacement.」	Heart Surg Forum. 2014 Oct 1;17(5):E258-60.
167	Takahashi S, Takasaki T, Tadehara F, Taguchi T, Katayama K, Kurosaki T, Imai K, Sueda T.		心臓血管外科	「Modified septal myectomy using a curved knife for left ventricular septal hypertrophy.」	Heart Surg Forum. 2014 Oct 1;17(5):E269-70
168	Kurihara S, Hiyama E, Onitake Y, Yamaoka E, Hiyama K.		心臓血管外科	「Clinical features of ATRX or DAXX mutated neuroblastoma」	J Pediatr Surg 2014; 49(12): 1835-1838
169	Hiyama E.		心臓血管外科	「Pediatric Hepatoblastoma: diagnosis and treatment.」	Translational Pediatrics in press
170	Imai K.		心臓血管外科	「Pocket creation in the prepectoral subfascial position for the implantation of a cardiac implantable electrical device. 」	Journal of Arrhythmia 2014.30:92-94

計10

171	Tazuma S, Igarashi Y, Inui K, Ohara H, Tsuyuguchi T, Ryozawa S;		総合内科・総合診療科	Clinical efficacy of intravenous doripenem in patients with acute biliary tract infection: a multicenter, randomized, controlled trial with imipenem/cilastatin as comparator	J Gastroenterol 2015; 50(2): 221-229
172	Yokobayashi K, Matsushima M, Watanabe T, Fujinuma Y, Tazuma S.		総合内科・総合診療科	Prospective cohort study of fever incidence and risk in elderly persons living at home.	BMJ Open 2014; 4(7): e004998
173	Kishikawa N, Kanno K, Sugiyama A, Yokobayashi K, Mizooka M, Tazuma S.		総合内科・総合診療科	Clinical evaluation of ezetimibe on bile lithogenicity in humans: Use of transnasal endoscopy for bile sampling.	Hepatol Res. 2015 ;45(6):693-697
174	Nakajima M, Mizooka M, Tazuma S.		総合内科・総合診療科	Black hairy tongue treated with oral antibiotics: a case report	J Am Geriatr Soc 2014; 63(2): 412-413
175	Higashiyama M, Oka S, Tanaka S, Sanomura Y, Yoshida S, Hiyama T, Arihiro K, Shimamoto F, Chayama K.		内視鏡診療科	Outcome of endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasm in relationship to endoscopic classification of submucosal fibrosis	Gastric Cancer 16, 3, 404-410, 2013.
176	Takata S, Tanaka S, Nakayama N, Terasaki M, Nakadoi K, Kanao H, Oka S, Yoshida S, Chayama K.		内視鏡診療科	Characteristic magnifying narrow-band imaging features of colorectal tumors in each growth type	Int J Colorectal Dis 28, 4, 459-468, 2013.
177	Aoyama D, Oka S, Aikata H, Nakano M, Noda I, Naeshiro N, Yoshida S, Tanaka S, Chayama K.		内視鏡診療科	Small bowel abnormalities in patients with compensated liver cirrhosis	Dig Dis Sci 58, 5, 1390-1396, 2013.
178	Miyaki R, Yoshida S, Tanaka S, Kominami Y, Sanomura Y, Matsuo T, Oka S, Raytchev B, Tamaki T, Koide T, Kaneda K, Yoshihara M, Chayama K.		内視鏡診療科	Quantitative identification of mucosal gastric cancer under magnifying endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement	J Gastroenterol Hepatol 28, 5, 841-847, 2013.
179	Oka S, Tanaka S, Nakadoi K, Kanao H, Chayama K.		内視鏡診療科	Risk analysis of submucosal invasive rectal carcinomas for lymph node metastasis to expand indication criteria for endoscopic resection	Dig Endosc 25, Suppl.2, 21-25, 2013.
180	Ozawa S, Tanaka S, Nakayama N, Nishiyama S, Terasaki M, Nakadoi K, Kanao H, Oka S, Yoshida S, Chayama K.		内視鏡診療科	Risk factors for vertical incomplete resection in endoscopic submucosal dissection as total excisional biopsy for submucosal invasive colorectal carcinoma	Int J Colorectal Dis 28, 9, 1247-1256, 2013.

計10

181	Miwata T, Hiyama T, Oka S, Tanaka S, Shimamoto F, Arihiro K, Chayama K.		内視鏡診療科	Clinicopathologic features of hyperplastic/serrated polyposis syndrome in Japan	J Gastroenterol Hepatol 28, 11, 1693-1698, 2013.
182	Numata N, Oka S, Tanaka S, Higashiyama M, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K, Chayama K.		内視鏡診療科	Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in patients with chronic kidney disease	J Gastroenterol Hepatol 28, 10, 1632-1637, 2013.
183	Watari I, Oka S, Tanaka S, Aoyama D, Imagawa H, Shishido T, Yoshida S, Chayama K.		内視鏡診療科	Effectiveness of polaprezinc for low-dose aspirin-induced small-bowel mucosal injuries as evaluated by capsule endoscopy: a pilot randomized controlled study	BMC Gastroenterol 13, 108, 1-7, 2013.
184	Nakano M, Oka S, Tanaka S, Aoyama D, Watari I, Hayashi R, Kawase R, Nagai K, Sanomura Y, Yoshida S, Ueno Y, Chayama K.		内視鏡診療科	Clinical usefulness of classification by transabdominal ultrasonography for detection of small-bowel stricture	Scand J Gastroenterol 48, 9, 1041-1047, 2013.
185	Hayashi N, Tanaka S, David G. Hewett, Tonya R.Kaltenbach, Sano Y, Thierry Ponchon, Brian P. Sanuders, Douglas K. Rex , Roy M. SoetiKno.		内視鏡診療科	Endoscopic prediction of deep submucosal invasive carcinoma: validation of the Narrow-Band Imagine International Colorectal Endoscopic (NICE) classification	Gastrointest Endosc 78, 4, 625-632, 2013.
186	Aoyama D, Oka S, Aikata H, Nakano M, Noda I, Naeshiro N, Yoshida S, Tanaka S, Chayama K.		内視鏡診療科	Is small-bowel capsule endoscopy effective for diagnosis of esophagogastric lesions related to portal hypertension?	J Gastroenterol Hepatol 29, 3, 511-516, 2014.
187	Oka S, Tanaka S, Higashiyama M, Numata N, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K, Chayama K.		内視鏡診療科	Clinical validity of the expanded criteria for endoscopic resection of undifferentiated-type early gastric cancer based on long-term outcomes	Surg Endosc 28, , 639-647, 2014.
188	Sanomura Y, Oka S, Tanaka S, Numata N, Higashiyama M, Kanao H, Yoshida S, Ueno Y, Chayama K.		内視鏡診療科	Continued use of low-dose aspirin does not increase the risk of bleeding during or after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer	Gastric Cancer 17, 3, 489-496, 2014.
189	Hayashi N, Tanaka S, Nishiyama S, Terasaki M, Nakadoi K, Oka S, Yoshihara M, Chayama K.		内視鏡診療科	Predictors of incomplete resection and perforation associated with endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors	Gastrointest Endosc 79, 3, 427-435, 2014.
190	Boda T, Ito M, Yoshihara M, Matsumoto Y, Matsuo T, Oka S, Tanaka S, Chayama K.		内視鏡診療科	Advanced method for evaluation of gastric cancer risk by serum markers: determination of true low-risk subjects for gastric neoplasm	Helicobacter 19, 1, 1-8, 2014.

計10

191	Watari I, Oka S, Tanaka S, Nakano M, Aoyama D, Yoshida S, Chayama K.		内視鏡診療科	Is Occult Obscure Gastrointestinal Bleeding a Definite Indication for Capsule Endoscopy?A Retrospective Analysis of Diagnostic Yield in Patients with Occult versus Overt Bleeding	Gastroenterol Res Pract, 1-7, 2013.
192	Onoyama M, Kitadai Y, Tanaka Y, Yuge R, Shinagawa K, Tanaka S, Yasui W, Chayama K.		内視鏡診療科	Combining molecular targeted drugs to inhibit both cancer cells and activated stromal cells in gastric cancer	Neoplasia 15, 12, 1391-1399, 2013.
193	Nishiyama S, Oka S, Tanaka S, Hayashi N, Hayashi R, Nagai K, Ueno Y, Shimamoto F, Arihiro K, Chayama K.		内視鏡診療科	Is It Possible to Discriminate Between Neoplastic and Nonneoplastic Lesions in Ulcerative Colitis by Magnifying Colonoscopy?	Inflamm Bowel Dis 20, 3, 508-513, 2014.
194	Ikawa A, Oka S, Tanaka S, Nakano M, Aoyama D, Noda I, Aikata H, Arihiro K, Chayama K.		内視鏡診療科	Small bowel metastasis of hepatocelluar carcinoma detected by capsule endoscopy	Case Rep Gastroenterol 7, 3, 492-497, 2013.
195	Asayama N, Kojima Y, Aoki T, Maeyashiki C, Yokoi C, Yanase M, Suda R, Yano H, Nakamura H, Igari T.		内視鏡診療科	Acinar Cell Carcinoma of the Pancreas with Colon Involvement	Case Reports in Medicine, 1-4, 2014.
196	Boda T, Ito M, Oka S, Matsumoto Y, Numata N, Sanomura Y, Matsuo T, Tanaka S, Yoshihara M, Arihiro K, Chayama K.		内視鏡診療科，病理診断科	Characteristics of Metachronous Gastric Tumors after Endoscopic Submucosal Dissection for Gastric Intraepithelial Neoplasms	Gastroenterology Research and Practice, 1-6, 2014.
197	Kono,N	他	内分泌・糖尿病内科	Relationship between Serum Cholesterol Efflux Capacity and Glucose Intolerance in Japanese-Americans	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS 2014;21(10):1087-97.
198	Kono,N	他	内分泌・糖尿病内科	Low high-density lipoprotein cholesterol level is a significant risk factor for development of type 2 diabetes: Data from the Hawaii-Los Angeles-Hiroshima study	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION 2014 Sep;5(5):501-6. doi: 10.1111/jdi.12170. Epub 2013 Dec 1.
199	Miyamura S, Yamaguchi S, Tominaga A, Kinoshita Y, Takeda M, Usui S, Morishige M, Sugiyama K, Kurisu K		脳神経外科，がん化学療法科	A case of petrous apex cholesterol granuloma successfully treated with endoscopic endonasal surgery	Hiroshima J Med Sci. 2014 Dec;63(4):39-42
200	Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Arita K, Sugiyama K, Kurisu K		脳神経外科，がん化学療法科	Impact of subclinical haemorrhage on the pituitary gland in patients with pituitary adenomas.	Clin Endocrinol (Oxf). 2014 May;80(5):720-5

計10

201	Miyamoto K, Inoue S, Kobayashi K, Kajiwara M, Teishima J, Matsubara A.		泌尿器科	Rat cavernous nerve reconstruction with CD133+ cells derived from human bone marrow.	J Sex Med. 2014 May;11(5):1148-58
202	Goriki A, Hatanaka F, Myung J, Kim JK, Yoritaka T, Tanoue S, Abe T, Kiyonari H, Fujimoto K, Kato Y, Todo T, Matsubara A, Forger D, Takumi T.		泌尿器科	A novel protein, CHRONO, functions as a core component of the mammalian circadian clock.	PLoS Biol. 2014 Apr 15;12(4):e1001839.
203	Kajiwara M, Inoue S, Kobayashi K, Ohara S, Teishima J, Matsubara A.		泌尿器科	Therapeutic efficacy of narrow band imaging-assisted transurethral electrocoagulation for ulcer-type interstitial cystitis/painful bladder syndrome.	Int J Urol. 2014 Apr;21 Suppl 1:57-60.
204	Shoji K, Teishima J, Hayashi T, Ohara S, Mckeehan WL, Matsubara A.		泌尿器科	Restoration of fibroblast growth factor receptor 2IIIb enhances the chemosensitivity of human prostate cancer cells.	Oncol Rep. 2014 Jul;32(1):65-70.
205	Teishima J, Maruyama S, Mochizuki H, Oka K, Ikeda K, Goto K, Nagamatsu H, Hieda K, Shoji K, Matsubara A.		泌尿器科	Prostate cancer detection by prostate-specific antigen-based screening in the Japanese Hiroshima area shows early stage, low-grade, and low rate of cancer-specific death compared with clinical detection.	Can Urol Assoc J. 2014 May;8(5-6):E327-32.
206	Shinmei S, Sentani K, Hayashi T, Sakamoto N, Goto K, Zarni Oo H, Naito Y, Teishima J, Matsubara A, Oue N, Kuniyasu H, Yasui W.		泌尿器科	Identification of PRL1 as a novel diagnostic and therapeutic target for castration-resistant prostate cancer by the Escherichia coli ampicillin secretion trap (CAST) method.	Urol Oncol. 2014 Aug;32(6):769-78.
207	Teishima J, Hieda K, Inoue S, Goto K, Ikeda K, Ohara S, Kobayashi K, Kajiwara M, Matsubara A.		泌尿器科	Prognostic significance of C-reactive protein in patients with intermediate-risk metastatic renal cell carcinoma treated with molecular targeted therapy.	Oncol Lett. 2014 Aug;8(2):881-885. Epub 2014 Jun 2.
208	Teishima J, Hieda K, Inoue S, Goto K, Ikeda K, Ohara S, Kobayashi K, Kajiwara M, Matsubara A.		泌尿器科	Comparison of initial experiences of robot-assisted radical cystectomy with those of laparoscopic for bladder cancer.	Innovations (Phila). 2014 Jul-Aug;9(4):322-6.
209	Goto K, Oue N, Hayashi T, Shinmei S, Sakamoto N, Sentani K, Teishima J, Matsubara A, Yasui W.		泌尿器科	Oligophrenin-1 is associated with cell adhesion and migration in prostate cancer.	Pathobiology. 2014;81(4):190-8.
210	Inoue S, Ikeda K, Kajiwara M, Teishima J, Matsubara A.		泌尿器科	Laparoendoscopic single-site adrenalectomy sans transumbilical approach: initial experience in Japan.	Urol J. 2014 Sep 6;11(4):1772-6.

計10

211	Inoue S, Kajiwara M, Teishima J, Matsubara A.		泌尿器科	Population perception of surgical approach in minimally invasive surgery.	Can Urol Assoc J. 2015 Jan-Feb;9(1-2):E1-4. doi: 10.5489/cuaj.2116.
212	Iwamoto H, Matsuhisa K, Saito A, Kanemoto S, Asada R, Hino K, Takai T, Cui M, Cui X, Kaneko M, Arihiro K, Sugiyama K, Kurisu K, Matsubara A, Imaizumi K.		泌尿器科	Promotion of Cancer Cell Proliferation by Cleaved and Secreted Luminal Domains of ER Stress Transducer BBF2H7.	PLoS One. 2015 May 8;10(5):e0125982. doi: 10.1371/journal.pone.0125982. eCollection 2015.
213	Kanaoka R, Kushiyama A, Senó Y, Nakatsu Y, Matsunaga Y, Fukushima T, Tsuchiya Y, Sakoda H, Fujishiro M, Yamamotoya T, Kamata H, Matsubara A, Asano T.		泌尿器科	Pin1 Inhibitor Juglone Exerts Anti-Oncogenic Effects on LNCaP and DU145 Cells despite the Patterns of Gene Regulation by Pin1 Differing between These Cell Lines.	PLoS One. 2015 Jun 3;10(6):e0127467. doi: 10.1371/journal.pone.0127467. eCollection 2015.
214	Oiwa H, Mihara K, Kan T, Tanaka M, Shindo H, Kumagai K, Sugiyama E		皮膚科, 血液内科, リウマチ・膠原病科	Grade 3 lymphomatoid granulomatosis in a patient receiving methotrexate therapy for rheumatoid arthritis	Intern Med. 2014; 53(16):1873-5. Epub 2014 Aug 15
215	Nakadoi K, Oka S, Tanaka S, Hayashi N, Terasaki M, Arihiro K, Shimamoto F, Chayama K		病理診断科, 内視鏡診療科	Condition of muscularis mucosae is a risk factor for lymph node metastasis in T1 colorectal carcinoma	Surg Endosc 2014 Apr;28(4):1269-76.
216	Numata N, Oka S, Tanaka S, Kagemoto K, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K, Shimamoto F, Chayama K		病理診断科, 内視鏡診療科	Risk factors and management of positive horizontal margin in early gastric cancer resected by en bloc endoscopic submucosal dissection	Gastric Cancer 2015 Apr;18(2):332-8.
217	Takeda I, Takahashi T, Ochi K, Kurashige T, Shinozaki Y, Nakamori M, Arihiro K, Maruyama H, Matsumoto M		病理診断科, 脳神経内科	Fiber type-specific expression of low-density lipoprotein receptor-related protein 6 in human skeletal muscles	Pathobiology 2014;81(2):94-9.
218	Yamagami T, Yoshimatsu R, Kajiwara K, Ishikawa M, Matsumoto T, Kakizawa H, Toyoda N, Hasebe T, Awai K.		放射線診断科	Effectiveness of combined use of imprint cytological and histological examination in CT-guided tissue-core biopsy.	Eur Radiol. 2014 May;24(5):1127-34.
219	Tatsugami F, Higaki H, Tanigushi A, Kigushi M, Tsushima S, Date S, Awai K		放射線診断科	Measurement of Electron Density and Effective Atomic Number by Dual-Energy Scan Using a 320-Detector Computed Tomography Scanner with Raw Data-Based Analysis: A Phantom Study	J Comput Assist Tomogr 2014 Nov-Dec;38(6):824-7.
220	Yoshimatsu R, Yamagami T, Miura H, Okuda K		放射線診断科	Percutaneous transhepatic sclerotherapy with embolization of the drainage vein for a gastric varix	Acta Radiol Short Rep 2014 Aug 4;3(7):2047981614530285.

計10

221	Awai K, Higaki T, Tatsugami F		放射線診断科	Clinically essential requirement for brain CT with iterative reconstruction	Br J Radiol 2014 Dec;87(1044):20140474.
222	Tani C, Funamu Y, Fujioka C, Nakamura Y, Komoto D, Aoyama H,Awai K		放射線診断科	Radiation dose reduction at MDCT with iterative reconstruction for the prenatal diagnosis of skeletal dysplasia: Preliminary study using normal fetal specimens	AJR 2014 Dec;203(6):1249-56.
223	Takanori Masuda, Yoshinori Funama, Naoyuki Imada, Tomoyasu Satoh, Takuji Yamagami, Fuminari Tatsugami, Kazuo Awai		放射線診断科	Prediction of aortic enhancement on coronary CTA images using a test-bolus of diluted contrast material	Academic Radiology, in press 2014 Dec;21(12):1542-6.
224	Yamagami T, Yoshimatsu R, Kajiwara K, Onitake Y, Hiyama E, Awai K		放射線診断科	Balloon-occluded retrograde transvenous obliteration successfully performed for a large gastric varix in combination with temporary occlusion of the splenic artery in a child	Acta Radiol Open 2015 Mar 3;4(3):2047981614555141.
225	Yamamoto H, Awai K, Kuribayashi S, Kihara Y		放射線診断科，循環器内科	Rationale and design of the PREDICT (Plaque Registration and Evaluation Detected In Computed Tomography) registry	J Cardiovasc Comput Tomogr 2014 Mar-Apr;8(2):90-6.
226	Takasu M, Tani C, Kaichi Y, Sakoda Y, Kiguchi M, Date S, Kuroda Y, Sakai, Awai K		放射線診断科，血液内科	A longitudinal computed tomography study of lenalidomide and bortezomib treatment for multiple myeloma: trabecular microarchitecture and biomechanics assessed using multidetector computed tomography.	Clin Lymphoma Myeloma Leuk. 2014 Dec;14(6):485-92
227	Nagata Y		放射線治療科	Recent advances in radiation oncology.	Int J Clin Oncol. 2014 Aug;19(4):563.
228	Nishibuchi I, Suzuki H, Kinomura A, Nagata Y, et al		放射線治療科	Reorganization of Damaged Chromatin by the Exchange of Histone Variant H2A.Z-2	Int J Radiat Oncol Biol Phys 2014 Jul 15;89(4):736-44.
229	Ikuno Nishibuchi, Tomoki Kimura, Takeo Nakashima, Yusuke Ochi, Ippei Takahashi, Yoshiko Doi, Masahiro Kenjo, Yuko Kaneyasu, Yuji Murakami, Koichi Wadasaki, Yasushi Nagata.		放射線治療科	Time-adjusted internal target volume: a novel approach focusing on heterogeneity of tumor motion based on 4-dimensional computed tomography imaging for radiation therapy planning of lung cancer.	Int.J. Radiat. Oncol. Biol. Phys 2014 Aug 1;89(5):1129-37.
230	T.Kimura, Y. Doi, T.Nakashima, N.Imano, T.Katuta, S.Takahashi, M.Kenjo, S.Ozawa, Y.Murakami, Y.Nagata.		放射線治療科	Clinical experience of volumetric modulated arc therapy for malignant pleural mesothelioma after extrapleural pneumonectomy	Journal of Radiation Research 2015 Mar;56(2):315-24.

計10

231	Yuji Murakami, Ippei Takahashi, Ikuno Nishibuchi, Yoshiko Doi,Tomoyuki Okabe, Masahiro Kenjo, Tomoki Kimura, Yasushi Nagata.		放射線治療科	Long-term results of definitive concurrent chemoradiotherapy for patients with esophageal submucosal cancer (T1bN0M0)	Int J Clin Oncol 2015 Oct;20(5):897-904.
232	Hirotsugu Miyoshi, et al.		麻酔科	Asystole following skull clamp to Chiari malformation	Journal of Anesthesia 2015; 29(2): 317
233	Ayako Umeda, et al.		麻酔科	Abdominal aortic injury during vertebroplasty.	Spine 2015; 40(7):E439-41
234	Saeki N, Mochizuki S, Fujii T, Kawamoto M.		麻酔科, 輸血部	Postsurgical coagulopathy in a hemophilia A patient with inhibitors: efficacy of recombinant factor VIIa	Journal of Anesthesia 2014; 28(4):621-4.
235	Oiwa H, Yamasaki S, Endo K, Nojima T, Kumagai K, Sugiyama E.		リウマチ・膠原病科	Experience with seven Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis treated with remission-induction therapy with intravenous cyclophosphamide according to the CYCLOPS protocol.	Intern Med. 2014;53(20):2291-6.
236	Tashiro N, Takahashi S, Takasaki T, Katayama K, Taguchi T, Watanabe M, Kurosaki T, Imai K, Kimura H, Sueda T.		リハビリテーション科, 心臓血管外科	Efficacy of cardiopulmonary rehabilitation with adaptive servo-ventilation in patients undergoing off-pump coronary artery bypass grafting.	Circ J. 25;79(6):1290-8, 2015.
237	Rimayanti U,Kiuchi Y, Yamane K, Latief MA, Mochizuki H, Hirata J, Akita T, Tanaka J		眼科	Inner retinal layer comparisons of eyes with exudative age-related macular degeneration and eyes with age-related macular degeneration and glaucoma	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 2014 Apr;252(4):563-70.
238	Rimayanti U,Latief MA, Arintawati P, Akita T, Tanaka J, Kiuchi Y		眼科	Width of abnormal ganglion cell complex area determined using optical coherence tomography to predict glaucoma	Jpn J Ophthalmol 2014 Jan;58(1):47-55.
239	Yanagi M,Misumi M, Kawasaki R, Takahashi I, Itakura K, Fujiwara S, Akahoshi M, Nerlishi K, Wong TY, Kiuchi Y		眼科	Is the association between smoking and the retinal venular diameter reversible following smoking cessation?	Invest Ophthalmol Vis Sci 2014 Jan 21;55(1):405-11.
240	Ko JA,Mizuno Y, Ohki C, Chikama T, Sonoda KH, Kiuchi Y		眼科	Neuropeptides released from trigeminal neurons promote the stratification of human corneal epithelial cells	Invest Ophthalmol Vis Sci 2014 Jan 7;55(1):125-33.

計10

241	Rimayanti U,Kiuchi Y, Uemura S, Takenaka J, Mochizuki H, Kaneko M		眼科	Ocular surface displacement with and without contact lenses during non-contact tonometry	PLoS One 2014 Apr 29;9(4):e96066.
242	Okimoto S,Nomura K		眼科	Clinical manifestations and treatment of retinoblastoma in Kobe children's hospital for 16 years	J Pediatr Ophthalmol Strabismus 2014 Jul 1;51(4):222-9.
243	Nakakura S,Yamamoto M, Terao E, Nagasawa T, Tabuchi H, Kiuchi Y		眼科	The whole macular choroidal thickness in subjects with primary open angle glaucoma	PLoS One 2014 Oct 28;9(10):e110265.
244	Nakakura S,Yamamoto M, Terao E, Nagatomi N, Matsuo N, Fujisawa Y, Fujio Y, Tabuchi H, Kiuchi Y		眼科	Prostaglandin-associated periorbitopathy in latanoprost users	Clin Ophthalmol 2014 Dec 30;9:51-6.
245	谷川 攻一; 廣橋 伸之; 服部 登; 河野 修興; 堀益 靖; 大下 慎一郎;		呼吸器内科, 高度救命救急センター	Baseline KL-6 predicts increased risk for acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis.	Respir Med 108:1031-1039, 2014.
246	Shiraki Nobuaki, Nakashima Ayumu, Doi Shigehiro, Carrero Juan Jesus, Sugiya Naoko, Ueno Toshinori, Stenvinkel Peter, Kohno Nobuoki, Masaki Takao.		呼吸器内科,腎臓内科	Low serum testosterone is associated with atherosclerosis in postmenopausal women undergoing hemodialysis	CLINICAL AND EXPERIMENTAL NEPHROLOGY 2014 Jun;18(3):499-506.
247	Toshiki Doi, Shigehiro Doi, Ayumu Nakashima, Toshinori Ueno, Yukio Yokoyama, Nobuoki Kohno, Takao Masaki		呼吸器内科, 腎臓内科	Mizoribine Ameliorates Renal Injury and Hypertension along with the Attenuation of Renal Caspase-1 Expression in Aldosterone-Salt-Treated Rats.	PLoS One 2014 Apr 2;9(4):e93513.
248	Shuma Hirashio, Ayumu Nakashima, Shigehiro Doi S, Kumiko Anno, Eriko Aoki, Akira Shimamoto, Noniaki Yorioka, Nobuoki Kohno, Takao Masaki, Hidetoshi Tahara.		呼吸器内科, 腎臓内科	Telomeric g-tail length and hospitalization for cardiovascular events in hemodialysis patients.	Clin J Am Soc Nephrol, 2014 Dec 5;9(12):2117-22.
249	Haruhisa Konishi		産科婦人科	SUVmax of FDG-PET/CT is a prognostic factor in ovarian clear cell adenocarcinoma	International Journal of gynecological Cancer 014 Sep;24(7):1190-4.
250	Takeno,Y	他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Comparison of nasal nitric oxide levels between the inferior turbinate surface and the middle meatus in patients with symptomatic allergic rhinitis.	Allergol Int. 2014 Sep;63(3):475-83

計10

251	Sairaku A, Yoshida Y, Nakano Y, Kihara Y		循環器内科	Periprocedural coagulability in patients undergoing ablation of atrial fibrillation: lessons from a periablation anticoagulation strategy of a brief withdrawal of warfarin without heparin bridging	Journal of thrombosis and thrombolysis 2014 May;37(4):393-9.
252	Sairaku A, Yoshida Y, Hirayama H, Nakano Y, Ando M, Kihara Y		循環器内科	Procedural sedation with dexmedetomidine during ablation of atrial fibrillation: a randomized controlled trial	Europace 2014 Jul;16(7):994-9.
253	Higashi Y, Maruhashi T, Noma K, Kihara Y		循環器内科	Oxidative stress and endothelial dysfunction: clinical evidence and therapeutic implications	Trends Cardiovasc Med 2014 May;24(4):165-9.
254	Kajikawa M, Noma K, Maruhashi T, Mikami S, Iwamoto Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Nakashima A, Goto C, Liao JK, Higashi Y		循環器内科	Rho-Associated Kinase Activity Is a Predictor of Cardiovascular Outcomes	Hypertension 2014 Apr;63(4):856-64.
255	Tokuyama T, Nakano Y, Awazu A, Uchimura-Makita Y, Fujiwra M, Watanabe Y, Sairaku A, Kajihara K, Motoda C, Oda N, Kihara Y		循環器内科	Deterioration of the circadian variation of heart rate variability in Brugada syndrome may contribute to the pathogenesis of ventricular fibrillation	Journal of Cardiology 2014 Aug;64(2):133-8.
256	Kajikawa M, Nakashima A, Maruhashi T, Iwamoto Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Goto C, Taguchi A, Noma K, Higashi Y		循環器内科	Poor oral health, that is, decreased frequency of tooth brushing, is associated with endothelial dysfunction	Circulation Journal 2014;78(4):950-4.
257	Kurisu S, Kihara Y		循環器内科	Role of electrocardiography in the diagnosis and management of takotsubo cardiomyopathy	Circulation Journal 2014;78(4):835-6.
258	Iwamoto Y, Okamoto M, Hashimoto M, Fukuda Y, Uchimura Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Iwasaki T, Kinoshita H, Ueda H, Kihara Y		循環器内科	Clinical outcomes and causes of death in Japanese patients with long-term inferior vena cava filter implants and deep vein thrombosis	Journal of Cardiology 2014 Oct;64(4):308-11.
259	Sairaku A, Yoshida Y, Hirayama H, Kihara Y		循環器内科	Conversion from persistent to paroxysmal atrial fibrillation after pulmonary vein isolation is a good sign	International Journal of Cardiology 2014 May 1;173(2):322-3.
260	Uchimura-Makita Y, Nakano Y, Tokuyama T, Fujiwra M, Watanabe Y, Sairaku A, Kawazoe H, Matsumura H, Oda N, Ikenaga H, Kajihara K, Motoda C, Oda N, Verrier R, Kihara Y		循環器内科	Time-Domain T-Wave Alternans is Strongly Associated with a History of Ventricular Fibrillation in Patients with Brugada Syndrome	Journal of cardiovascular electrophysiology 2014 Sep;25(9):1021-7.

計10

261	Sairaku A, Nakano Y, Oda N, Uchimura Y, Tokuyama T, Kawazoe H, Fujiwara M, Watanabe Y, Matsumura H, Kihara Y		循環器内科	Incomplete Cure of Tachycardia-Induced Cardiomyopathy Secondary to Rapid Atrial Fibrillation by Heart Rate Control Without Sinus Conversion	Journal of cardiovascular electrophysiology 2014 Oct;25(10):1037-43.
262	Utsunomiya H, Yamamoto H, Kunita E, Hidaka T, Kihara Y		循環器内科	Insulin resistance and subclinical abnormalities of global and regional left ventricular function in patients with aortic valve sclerosis	Cardiovascular diabetology 2014 Apr 27;13:86.
263	Kajikawa M, Maruhashi T, Iwamoto Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Nakashima A, Goto C, Noma K, Higashi Y		循環器内科	Borderline ankle-brachial index value of 0.91-0.99 is associated with endothelial dysfunction	Circulation Journal 2014;78(7):1740-5.
264	Maruhashi T, Nakashima A, Matsumoto T, Oda N, Iwamoto Y, Iwamoto A, Kajikawa M, Kihara Y, Chayama K, Goto C, Noma K, Higashi Y		循環器内科	Relationship between nitroglycerine-induced vasodilation and clinical severity of peripheral artery disease	Atherosclerosis 2014 Jul;235(1):65-70.
265	Iwasaki T, Kurisu S, Abe N, Tamura M, Watanabe N, Ikenaga H, Shimonaga T, Higaki T, Ishibashi K, Mitsuba N, Dohi Y, Kihara Y		循環器内科	Validation of automated quantification of myocardial perfusion single-photon emission computed tomography using Heart Score View in patients with known or suspected coronary artery disease	International heart journal 2014;55(4):350-6.
266	Kurisu S, Kihara Y		循環器内科	Clinical management of takotsubo cardiomyopathy	Circulation Journal 2014;78(7):1559-66.
267	Sairaku A, Nakano Y, Kihara Y		循環器内科	Does dabigatran interfere with intraablation heparinization?	Thrombosis research 2014 Sep;134(3):742-3.
268	Teragawa H, Nishioka K, Fujii Y, Idei N, Hata T, Kurushima S, Shokawa T, Kihara Y		循環器内科	Worsening of coronary spasm during the perioperative period: A case report	World J Cardiol 2014 Jul 26;6(7):685-8.
269	Amioka M, Shiode N, Kawase T, Kagawa Y, Yamane K, Takahashi L, Okubo Y, Tamekiyo H, Otsuka M, Okimoto T, Masaoka Y, Hayashi Y, Itakura K, Kato M, Dote K, Kihara Y; HERO (Hiroshima Heart Study Group) Investigators		循環器内科	Causes of very late stent thrombosis investigated using optical coherence tomography	Internal Medicine 2014;53(18):2031-9.
270	Yamamoto H, Kitagawa T, Kihara Y		循環器内科	Clinical Implications of the Coronary Artery Calcium Score in Japanese Patients	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 2014;21(11):1101-8.

計10

271	Maruhashi T, Noma K, Iwamoto Y, Iwamoto A, Oda N, Kajikawa M, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Nakashima A, Goto C, Liao JK, Higashi Y		循環器内科	Critical Role of Exogenous Nitric Oxide in ROCK Activity in Vascular Smooth Muscle Cells	PLoS One 014 Oct 3;9(10):e109017.
272	Uga S, Hidaka T, Takasaki T, Kihara Y		循環器内科	A case of residual inferior sinus venosus defect after ineffective surgical closure	BMJ Case Rep 2014 Oct 3;2014. pii: bcr2014205377.
273	Sairaku A, Yoshida Y, Hirayama H, Nakano Y, Kihara Y		循環器内科	Impact of Pulmonary Vein Isolation on Fractionated Atrial Potentials and Ganglionated Plexi in Patients With Persistent Atrial Fibrillation	International heart journal 2014;55(6):494-8.
274	Kajikawa M, Nakashima A, Fujimura N, Maruhashi T, Iwamoto Y, Iwamoto A, Matsumoto T, Oda N, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Goto C, Aibara Y, Noma K, Takeuchi M, Matsui T, Yamagishi SI, Higashi Y		循環器内科	Ratio of Serum Levels of AGEs to Soluble Form of RAGE Is A Predictor of Endothelial Function	Diabetes Care 2015 Jan;38(1):119-25.
275	Higaki T, Kurisu S, Watanabe N, Ikenaga H, Shimonaga T, Iwasaki T, Mitsuba N, Ishibashi K, Dohi Y, Fukuda Y, Kihara Y		循環器内科	Influence of dual antiplatelet therapy on mean platelet volume in patients with coronary artery disease undergoing percutaneous coronary intervention	Heart and vessels 2014 Nov 9.
276	Sairaku A, Nakano Y, Kihara Y		循環器内科	Increased urine output by ipragliflozin in a non-diabetic patient with a diuretic-resistant heart failure	Int J Cardiol 2015 Feb 1;180:42-3.
277	Watanabe Y, Nakano Y, Hidaka T, Oda N, Kajihara K, Tokuyama T, Uchimura Y, Sairaku A, Motoda C, Fujiwara M, Kawazoe H, Matsumura H, Kihara Y		循環器内科	Mechanical and Substrate Abnormalities of Left Atrium Assessed by Three-Dimensional Speckle-Tracking Echocardiography and Electroanatomical Mapping System in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation	Heart rhythm : the official journal of the Heart Rhythm Society 2015 Mar;12(3):490-7.
278	Matsumoto T, Oki K, Kajikawa M, Nakashima A, Maruhashi T, Iwamoto Y, Iwamoto A, Oda N, Hidaka T, Kihara Y, Kohno N, Chayama K, Goto C, Aibara Y, Noma K, Liao JK, Higashi Y		循環器内科	Effect of Aldosterone-Producing Adenoma on Endothelial Function and Rho-Associated Kinase Activity in Patients With Primary Aldosteronism	Hypertension 2015 Apr;65(4):841-8.
279	Utsunomiya H, Hidaka T, Masada K, Shimonaga T, Higaki T, Iwasaki T, Mitsuba N, Ishibashi K, Kurisu S, Kihara Y		循環器内科	Value of Resting Echocardiographic Findings and Dobutamine Stress Echocardiography for Diagnosing Myocardial Ischemia in Patients with Suspected Angina Pectoris	Echocardiography 2015 Jun;32(6):993-1002.
280	Tsushima H, Yamamoto H, Kitagawa T, Urabe Y, Tatsugami F, Awai K, Kihara Y		循環器内科	Association of Epicardial and Abdominal Visceral Adipose Tissue With Coronary Atherosclerosis in Patients With a Coronary Artery Calcium Score of Zero	Circulation Journal 2015;79(5):1084-91.

計10

281	Maruhashi T, Noma K, Fujimura N, Kajikawa M, Matsumoto T, Hidaka T, Nakashima A, Kihara Y, Liao JK, Higashi Y		循環器内科	Exogenous nitric oxide inhibits Rho-associated kinase activity in patients with angina pectoris: a randomized controlled trial	Hypertension Research 2015 Jul;38(7):485-90.
282	Kurisu S, Kihara Y		循環器内科	Diagnosis and management of takotsubo cardiomyopathy	Internal Medicine 2015;54(1):1-2.
283	Ikenaga H, Kurisu S, Watanabe N, Shimonaga T, Higaki T , Iwasaki T, Utsunomiya H, Mitsuba N, Ishibashi K, Dohi Y , Imai K, Sueda T, Kihara Y.		循環器内科, 心臓血管外科	「Effects of the topographical extent of coronary artery ectasia on coronary blood flow in patients with aortic aneurysms.」	Heart Vessels 2014. (03 July e-Pub).
284	Kunita E, Yamamoto H, Kitagawa T, Ohashi N, Oka T, Utsunomiya H, Urabe Y, Tsushima H, Awai K, Budoff MJ, Kihara Y.		循環器内科, 放射線診断科	Prognostic value of coronary artery calcium and epicardial adipose tissue assessed by non-contrast cardiac computed tomography	Atherosclerosis. 2014 Apr;233(2):447-53.
285	Fuminari Tatsugami, Toru Higaki, Yuko Nakamura, Takuji Yamagami, Shuji Date, Chikako Fujioka, Masao Kiguchi, Kazuo Awai		循環器内科, 放射線診断科	A new technique for noise reduction at coronary CT angiography with multi-phase data-averaging and non-rigid image registration	European Radiology 2015 Jan;25(1):41-8.
286	Tatsugami F, Higaki T, Fukumoto W, Kaichi Y, Fujioka C, Kiguchi M, Yamamoto H, Kihara Y, Awai K		循環器内科, 放射線診断科	Radiation dose reduction for coronary artery calcium scoring at 320-detector CT with adaptive iterative dose reduction 3D	The international journal of cardiovascular imaging 2015 Jun;31(5):1045-52.
287	Ishida M, Ishida T, Tashiro S, Uchida H, Sakai C, Hironobe N, Miura K, Hashimoto Y, Arihiro K, Chayama K, Kihara Y, Yoshizumi M		循環器内科, 病理診断科	Smoking cessation reverses DNA double-strand breaks in human mononuclear cells	PLoS One 2014 Aug 5;9(8):e103993.
288	Kitagawa T, Yamamoto H, Urabe Y, Tsushima H, Utsunomiya H, Tatsugami F, Awai K, Kihara Y		循環器内科, 放射線診断科	Age- and sex-related differences in coronary plaque high-risk features in patients with acute coronary syndrome assessed by computed tomography angiography	International Journal of Cardiology 2014 Jul 1;174(3):744-7.
289	Joichi Y, Chijimatsu I, Yarita K, Kamei K, Miki M, Onodera M, Harada M, Yokozaki M, Kobayashi M, Ohge H.		小児科, 心臓血管外科, 検査部	Detection Of Mucor velutinosus in a Blood Culture After Autologous Peripheral Blood Stem Cell Transplantation: A Pediatric Case Report	Medical Mycology Journal 2014;55(2):E43-8
290	Nakano R, Ohira M, Ide K, Ishiyama K, Kobayashi T, Tahara H, Tashiro H, Kuroda Y, Ichinohe T, Arihiro K, Chayama K, Ohdan H		消化器・移植外科学, 血液内科	Treatment of hepatic amyloid light-chain amyloidosis with bortezomib and dexamethasone in a liver transplant patient	Hepatol Res. EPub 2014 Dec 18

計10

291	Yamada K, Doi S, Nakashima A, Kawaoka K, Ueno T, Doi T, Yokoyama Y, Arihiro K, Kohno N, Masaki T		腎臓内科，病理診断科	Expression of age-related factors during the development of renal damage in patients with IgA nephropathy	Clin Exp Nephrol 2015 Oct;19(5):830-7.
292	Adachi N, Ochi M, Deie M, Nakamae A, Kamei G, Uchio Y, Iwasa J		整形外科	Implantation of tissue-engineered cartilage-like tissue for the treatment for full-thickness cartilage defects of the knee.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 Jun;22(6):1241-8.
293	Nishimori M, Deie M, Adachi N, Nakamae A, Ishiguro M, Ochi M.		整形外科	Simulated anterior cruciate ligament reconstruction using preoperative three-dimensional computed tomography.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 May;22(5):1175-81.
294	Oshima S, Kamei N, Nakasa T, Yasunaga Y, Ochi M		整形外科	Enhancement of muscle repair using human mesenchymal stem cells with a magnetic targeting system in a subchronic muscle injury model.	J Orthop Sci. 2014 May;19(3):478-88.
295	Eguchi A, Ochi M, Adachi N, Deie M, Nakamae A, Usman MA.		整形外科	Mechanical properties of suspensory fixation devices for anterior cruciate ligament reconstruction: comparison of the fixed-length loop device versus the adjustable-length loop device.	Knee. 2014 Jun;21(3):743-8.
296	Nakashima Y, Sunagawa T, Shinomiya R, Ochi M		整形外科	High-resolution ultrasonographic evaluation of "hourglass-like fascicular constriction" in peripheral nerves: a preliminary report.	Ultrasound Med Biol. 2014 Jul;40(7):1718-21.
297	Deie M, Nakasa T, Kamei G, Nakamae A, Ochi M		整形外科	High flexion knee arthroplasty: the relationship between rotational angles and flexion angle after total knee arthroplasty.	Curr Rev Musculoskelet Med. 2014 Jun;7(2):103-7.
298	Eguchi A, Adachi N, Nakamae A, Usman MA, Deie M, Ochi M		整形外科	Proprioceptive function after isolated single-bundle posterior cruciate ligament reconstruction with remnant preservation for chronic posterior cruciate ligament injuries.	Orthop Traumatol Surg Res. 2014 May;100(3):303-8.
299	Shoji T, Yasunaga Y, Yamasaki T, Nakamae A, Mori R, Hamanishi M, Ochi M		整形外科	Transtrochanteric rotational osteotomy combined with intra-articular procedures for pigmented villonodular synovitis of the hip.	J Orthop Sci. 2015 Sep;20(5):943-50.
300	Ujigo S, Kamei N, Hadoush H, Fujioka Y, Miyaki S, Nakasa T, Tanaka N, Nakanishi K, Eguchi A, Sunagawa T, Ochi M		整形外科	Administration of microRNA-210 promotes spinal cord regeneration in mice.	Spine (Phila Pa 1976).

計10

301	Ochi M, Fujiwara T, Mizuki R, Kawakami N		整形外科	Association of socioeconomic status in childhood with major depression and generalized anxiety disorder: results from the World Mental Health Japan survey 2002-2006.	BMC Public Health. 2014 Apr 14;14:359.
302	Ochi M, Nakasa T, Kamei G, Usman MA, El Mahmoud H		整形外科	Regenerative medicine in orthopedics using cells, scaffold, and microRNA.	J Orthop Sci. 2014 Jul;19(4):521-8.
303	Nakanishi K, Tanaka N, Kamei N, Ohta R, Fujioka Y, Hiramatsu T, Ujigo S, Ochi M		整形外科	Electrophysiological evidence of functional improvement in the corticospinal tract after laminoplasty in patients with cervical compressive myelopathy: clinical article.	J Neurosurg Spine. 2014 Aug;21(2):210-6.
304	Nakanishi K, Inoue K, Hadoush H, Sunagawa T, Ochi M		整形外科	Dipole orientation of receptive fields in the somatosensory cortex after stimulation of the posterior tibial nerve in humans.	J Clin Neurophysiol. 2014 Jun;31(3):236-40.
305	Hachisuka S, Kamei N, Ujigo S, Miyaki S, Yasunaga Y, Ochi M		整形外科	Circulating microRNAs as biomarkers for evaluating the severity of acute spinal cord injury.	Spinal Cord. 2014 Aug;52(8):596-600.
306	Shoji T, Yasunaga Y, Yamasaki T, Mori R, Hamanishi M, Shimose S, Ochi M		整形外科	T2 Mapping Magnetic Resonance Imaging Encourages an Arthroscopic Approach for Osteoid Osteoma in the Acetabulum.	Arthrosc Tech. 2014 Apr 3;3(2):e251-4.
307	Adachi N, Deie M, Nakamae A, Okuhara A, Kamei G, Ochi M		整形外科	Functional and radiographic outcomes of unstable juvenile osteochondritis dissecans of the knee treated with lesion fixation using bioabsorbable pins.	J Pediatr Orthop. 2015 Jan;35(1):82-8.
308	Orita N, Deie M, Shimada N, Iwaki D, Asaeda M, Hirata K, Ochi M		整形外科	Posterior tibial displacement in the PCL-deficient knee is reduced compared to the normal knee during gait.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 Jul 20.
309	Shoji T, Yasunaga Y, Yamasaki T, Izumi S, Hachisuka S, Ochi M		整形外科	Low femoral antetorsion and total hip arthroplasty: a risk factor.	Int Orthop. 2015 Jan;39(1):7-12.
310	Kato T, Miyaki S, Ishitobi H, Nakamura Y, Nakasa T, Lotz MK, Ochi M		整形外科	Exosomes from IL-1β stimulated synovial fibroblasts induce osteoarthritic changes in articular chondrocytes.	Arthritis Res Ther. 2014 Aug 4;16(4):R163.

計10

311	Shimose S, Kubo T, Fujimori J, Furuta T, Ochi M		整形外科	A novel assessment method of serum alkaline phosphatase for the diagnosis of osteosarcoma in children and adolescents.	J Orthop Sci. 2014 Nov;19(6):997-1003.
312	Deie M, Hoso T, Shimada N, Iwaki D, Nakamae A, Adachi N, Ochi M		整形外科	Differences between opening versus closing high tibial osteotomy on clinical outcomes and gait analysis.	Knee. 2014 Dec;21(6):1046-51.
313	Nakasa T, Adachi N, Kato T, Ochi M		整形外科	Correlation between subchondral bone plate thickness and cartilage degeneration in osteoarthritis of the ankle.	Foot Ankle Int. 2014 Dec;35(12):1341-9.
314	Ochi M, Kawachi T, Toita E, Hashimoto I, Yuminoki K, Onoue S, Hashimoto N		整形外科	Development of nanocrystal formulation of meloxicam with improved dissolution and pharmacokinetic behaviors.	Int J Pharm. 2014 Oct 20;474(1-2):151-6.
315	Tanaka N, Nakanishi K, Kamei N, Yamamoto R, Nakamae T, Izumi B, Ohta R, Fujioka Y, Ochi M		整形外科	Clinical results of microsurgical bilateral decompression via unilateral approach for lumbar canal stenosis with multiple-level involvement.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2015 Jul;25 Suppl 1:S191-8.
316	Kubo T, Shimose S, Fujimori J, Furuta T, Arihiro K, Ochi M		整形外科	Does expression of glucose transporter protein-1 relate to prognosis and angiogenesis in osteosarcoma?	Clin Orthop Relat Res. 2015 Jan;473(1):305-10.
317	Nakamae A, Ochi M, Deie M, Adachi N, Shibuya H, Ohkawa S, Hirata K.		整形外科	Clinical outcomes of second-look arthroscopic evaluation after anterior cruciate ligament augmentation: comparison with single- and double-bundle reconstruction.	Bone Joint J. 2014 Oct;96-B(10):1325-32.
318	Kamei G, Ochi M, Usman MA, Mahmoud EH		整形外科	A new technique to avoid articular cartilage injury in anterior cruciate ligament reconstruction through far antero-medial portal.	Orthop Traumatol Surg Res. 2014 Nov;100(7):827-30.
319	Adachi N, Ochi M, Takazawa K, Ishifuro M, Deie M, Nakamae A, Kamei G		整形外科	Morphologic evaluation of remnant anterior cruciate ligament bundles after injury with three-dimensional computed tomography.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2014 Oct 7.
320	Nakanishi K, Tanaka N, Kamei N, Hiramatsu T, Ujigo S, Sumiyoshi N, Rikita T, Takazawa A, Ochi M		整形外科	Resection of spinous processes can cause spinal cord injury in patient with ossification of the posterior longitudinal ligament in the thoracic spine.	Spinal Cord. 2014 Nov;52 Suppl 3:S19-21.

#10

321	Shimizu R, Kamei N, Adachi N, Hamanishi M, Kamei G, Mahmoud EE, Nakano T, Iwata T, Yamato M, Okano T, Ochi M		整形外科	Repair mechanism of osteochondral defect promoted by bioengineered chondrocyte sheet.	Tissue Eng Part A. 2015 Mar;21(5-6):1131-41.
322	Kawanishi Y, Nakasa T, Shoji T, Hamanishi M, Shimizu R, Kamei N, Usman MA, Ochi M		整形外科	Intra-articular injection of synthetic microRNA-210 accelerates avascular meniscal healing in rat medial meniscal injured model.	Arthritis Res Ther. 2014 Nov 28;16(6):488.
323	Adachi N, Fukuhara K, Nakasa T, Shibuya H, Okuhara A, Kato T, Ochi M		整形外科	Conservative treatment of severe clubfoot using a novel functional dynamic splint.	J Pediatr Orthop B. 2015 Jan;24(1):11-7.
324	Usman MA, Kamei G, Adachi N, Deie M, Nakamae A, Ochi M		整形外科	Revision single-bundle anterior cruciate ligament reconstruction with over-the-top route procedure.	Orthop Traumatol Surg Res. 2015 Feb;101(1):71-5.
325	Nakamura Y, Yokoya S, Mochizuki Y, Harada Y, Kikugawa K, Ochi M		整形外科	Monitoring of progression of nonsurgically treated rotator cuff tears by magnetic resonance imaging.	J Orthop Sci. 2015 Mar;20(2):314-20.
326	Ma Y, Deie M, Iwaki D, Asaeda M, Fujita N, Adachi N, Ochi M		整形外科	Balance ability and proprioception after single-bundle, single-bundle augmentation, and double-bundle ACL reconstruction.	ScientificWorldJournal. 2014;2014:342012.
327	Nakasa T, Adachi N, Kato T, Ochi M		整形外科	Distraction arthroplasty with arthroscopic microfracture in a patient with rheumatoid arthritis of the ankle joint.	J Foot Ankle Surg. 2015 Mar-Apr;54(2):280-4.
328	Deie M, Adachi N, Nakamae A, Takazawa K, Ochi M		整形外科	Evaluation of single-bundle versus double-bundle PCL reconstructions with more than 10-year follow-up.	ScientificWorldJournal. 2015;2015:751465.
329	Ochi M, Kawai Y, Tanaka Y, Toyoda H		整形外科	Characterization of nicardipine hydrochloride-induced cell injury in human vascular endothelial cells.	J Toxicol Sci. 2015 Feb;40(1):71-6.
330	Usman MA, Nakasa T, Shoji T, Kato T, Kawanishi Y, Hamanishi M, Kamei N, Ochi M		整形外科	The effect of administration of double stranded MicroRNA-210 on acceleration of Achilles tendon healing in a rat model.	J Orthop Sci. 2015 May;20(3):538-46.

計10

331	Yamasaki T, Yasunaga Y, Shoji T, Izumi S, Hachisuka S, Ochi M		整形外科	Inclusion and Exclusion Criteria in the Diagnosis of Femoroacetabular Impingement。	Arthroscopy. 2015 Jul;31(7):1403-10。
332	Kubo T, Shimose S, Fujimori J, Furuta T, Ochi M		整形外科	Prognostic value of SS18-SSX fusion type in synovial sarcoma; systematic review and meta-analysis.	Springerplus. 2015 Jul 25;4:375。
333	Okuhara YI, Shinomiya R, Peng F, Kamei N, Kurashige T, Yokota K, Ochi M。		整形外科, 形成外科	Direct effect of radiation on the peripheral nerve in a rat model.	J Plast Surg Hand Surg. 2014 Aug;48(4):276-80
334	Mikami Y, Fukuhara K, Kawae T, Kimura H, Ochi M。		整形外科, リハビリテーション科	The effect of anti-gravity treadmill training for prosthetic rehabilitation of a case with below-knee amputation。	Prosthet Orthot Int. 2014.
335	Yoshimura,S., Okamoto,Y., Onoda,K., Matsunaga,M., Okada,G., Kunisato,Y., Yoshino,A., Ueda,K., Suzuki,S., Yamawaki,S.		精神科	Cognitive behavioral therapy for depression changes medical prefrontal and ventral anterior cingulate cortex activity associated with self-referential processing.	Social Cognitive and Affective Neuroscience 9: 487-493, 2014.
336	Toki,S., Okamoto,Y., Onoda,K., Matsumoto,T., Yoshimura,S., Kunisato,Y. Okada,G., Shishida,K., Kobayakawa,M., Fukumoto,T., Machino,A., Inagaki,M., Yamawaki,S.		精神科	Hippocampal activation during associative encoding of word pairs its relation to symptomatic improvement in depression: a functional and volumetric MRI study.	Journal of Affective Disorders 152-154: 462-467, 2014.
337	Yoshino,A., Okamoto,Y., Kunisato,Y., Yoshimura,S., Jinnin R., Hayashi,Y., Kobayakawa,M., Doi,M., Oshita,K., Nakamura,R., Tanaka,K., Yamashita,H., Kawamoto,M., Yamawaki,S.		精神科	Distinctive spontaneous regional neural activity in patients with somatoform pain disorder: a preliminary resting-state fMRI study.	Psychiatry Research: Neuroimaging 221: 246-248, 2014.
338	Hayashi,A., Okamoto,Y., Yoshimura,S., Yoshino,A., Toki,S., Yamashita,H., Matsuda,F., Yamawaki,S.		精神科	Visual imagery while reading concrete and abstract Japanese kanji words: an fMRI study。	Neuroscience Research 79: 61-66, 2014.
339	Okada,S. Morinobu,S., Fuchikami,M., Segawa,M., Yokomaku,K., Kataoka,T., Okamoto,Y., Yamawaki,S.		精神科	The potential of SLC6A4 gene methylation analysis for the diagnosis and treatment of major depression.	Journal of Psychiatric Research 53: 47-53, 2014.
340	Yoshimura,Y., Okamoto,Y., Onoda,K., Okada,G., Toki,S., Yoshino,A., Yamashita,H., Yamawaki,S.		精神科	Psychosocial functioning is correlated with activation int the anterior cingulate cortex and left lateral prefrontal cortex during a verbal fluency task in euthymic bipolar disorder: a preliminary fMRI study.	Psychiatry and Clinical Neurosciences 68: 188-196, 2014.

計10

341	Yoshimura,S., Okamoto,Y., Yoshino,A., Kobayakawa,M., Machino,A., Yamawaki,S.		精神科	Neural basis of anticipatory anxiety reappraisals.	PLoS ONE 9: e102836, 2014(eCollection).
342	Machino,A., Kunisato,Y., Matsumoto,T., Yoshimura,S., Ueda,K., Yamawaki,Y., Okada,G., Okamoto,Y., Yamawaki,S.		精神科	Possible involvement of rumination in gray matter abnormalities in persistent symptoms of major depression: An exploratory magnetic resonance imaging voxel-based morphometry study.	Journal of Affective Disorders 168: 229-235, 2014.
343	Takagaki,K., Okamoto,Y., Jinnin,R., Mori,A., Nishiyama,Y., Yamamura,T., Takebayashi,Y., Ogata,A., Okamoto,Y., Miyake,Y., Shimoda,H., Kawakami,N., Yamawaki,S.		精神科	Behavioral characteristics of subthreshold depression.	Journal of Affective Disorders 168: 472-475, 2014.
344	Toki,S., Hashimoto,E., Masuda,M., Machino,A., Yamawaki,S.		精神科	A case of chronic anorexia nervosa with child-bearning by in vitro fertilization necessitating comprehensive team support.	Journal of the Royal Society of Medicine Open 5: 2054270441560039, 2014(eCollection).
345	Fuchikami,M., Yamamoto,S., Morinobu,S., Okada,S., Yamawaki,Y., Yamawaki,S.		精神科	The potential use of histone deacetylase inhibitors in the treatment of depression.	Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry ,2015(in press).
346	Murakami,T., Hama,S., Yamashita,H., Onoda,K., Hibino,S., Sato,H., Ogasa,S., Yamawaki,S., Kurisu,K.		精神科, 脳神経外科	Neuroanatomic pathway associated with attentional deficits after stroke.	Brain Research 28: 25-32, 2014.
347	Hiramatsu,T., Nakanishi,K., Yoshimura,S., Yoshino,A., Adachi,N., Okamoto,Y., Yamawaki,S., Ochi,M.		精神科, 整形外科	The dorsolateral prefrontal network is involved in pain perception in knee osteoarthritis patients.	Neuroscience Letters 581: 109-114, 2014.
348	大野 晴也; 米田 真康; 大久保 博史;		内分泌・糖尿病内科	Mosapride citrate improves nonalcoholic steatohepatitis with increased fecal lactic acid bacteria and plasma glucagon-like peptide-1 level in a rodent model	AMERICAN JOURNAL OF PHYSIOLOGY-GASTROINTESTINAL AND LIVER PHYSIOLOGY 2015 Jan 15;308(2):G151-8.
349	河野 修興; 米田 真康; 沖 健司;		内分泌・糖尿病内科	Japanese Lifestyle during Childhood Prevents the Future Development of Obesity among Japanese-Americans	PLOS ONE 2015 Mar 25;10(3):e0120804.
350	Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Arita K, Sakoguchi T, Sugiyama K, Kurisu K		脳神経外科	Pituitary adenomas in childhood and adolescence with a focus on intratumoral hemorrhage.	Pituitary. 2014 Feb;17(1):1-6

計10

351	Yamasaki F, Watanabe Y, Nosaka R, Kenjo M, Nakamura K, Takayasu T, Saito T, Tominaga A, Sugiyama K, Kurisu K		脳神経外科	Anti-emetic effect of granisetron in patients undergoing cranial and craniospinal radiotherapy	No Shinkei Geka. 2014 Jan;42(1):27-34.
352	Mitsuhara T, Yamaguchi S, Takeda M, Kurisu K		脳神経外科	Gowers' intrasyringeal hemorrhage associated with Chiari type I malformation in Noonan syndrome	Surg Neurol Int. 2014 Jan 20;5:6.
353	Kinoshita Y, Tominaga A, Usui S, Kurisu K		脳神経外科	A craniopharyngioma with spontaneous involution of a gadolinium-enhanced region on magnetic resonance imaging.	Surg Neurol Int. 2014 Aug
354	Sakamoto S, Kiura Y, Okazaki T, Shinagawa K, Ichinose N, Shibukawa M, Orita Y,Shimonaga K, Kajihara Y, Kurisu K		脳神経外科	Usefulness of dual protection combined with blood aspiration for distal embolic protection during carotid artery stenting	Acta Neurochir (Wien). 2015 Mar;157(3):371-7
355	Imada Y, Yuki K, Migita K, Sadatomo T, Kuwabara M, Yamada T, Kurisu K		脳神経外科	Japanese pedigree of familial cerebral cavernous malformations--a case report	Hiroshima J Med Sci. 2014 Dec;63(4):43-8
356	Sakamoto S, Kiura Y, Okazaki T, Ichinose N, Kurisu K		脳神経外科	Endovascular Stenting under Cardiac and Cerebral Protection for Subclavian Steal after Coronary Artery Bypass Grafting Due to Right Subclavian Artery Origin Stenosis	J Cerebrovasc Endovasc Neurosurg. 2015 Mar;17(1):27-31
357	Takayasu T, Hama S, Yamasaki F, Saito T, Watanabe Y, Nosaka R, Sugiyama K,Kurisu K		脳神経外科	p16 Gene Transfer Induces Centrosome Amplification and Abnormal Nucleation Associated with Survivin Downregulation in Glioma Cells	Pathobiology.2015 Feb 28;82(1):1-8
358	Sakamoto S, Kiura Y, Okazaki T, Shinagawa K, Ichinose N, Shibukawa M, Orita Y, Shimonaga K, Kajihara Y, Kurisu K.		脳神経外科	Usefulness of dual protection combined with blood aspiration for distal embolic protection during carotid artery stenting	Acta Neurochir (Wien). 2015 Mar;157(3):371-7
359	T. Nishikawa, T. Takahashi, M. Nakamori, Y. Yamazaki, T. Kurashige, Y. Nagano, Y. Nishida, Y. Izumi and M. Matsumoto		脳神経内科	Phosphatidylinositol-4,5-bisphosphate is enriched in granulovacuolar degeneration bodies and neurofibrillary tangles	Neuropathol Appl Neurobiol 2014 Jun;40(4):489-501.
360	T. Kono, H. Naka, E. Nomura, N. Hosomi, S. Aoki, E. Imamura, Y. Sueda, T. Nezu, T. Mukai, T. Ohshita, T. Ohtsuki, S. Wakabayashi and M. Matsumoto		脳神経内科	The association between hyperintense vessel sign and final ischemic lesion differ in its location	J Stroke Cerebrovasc Dis 2014 Jul;23(6):1337-43.

計10

361	M. Matsumoto, M. Hori, N. Tanahashi, S. Momomura, S. Uchiyama, S. Goto, T. Izumi, Y. Koretsune, M. Kajikawa, M. Kato, H. Ueda, K. Iekushi, S. Yamanaka, M. Tajiri and J. R. A. S. Investigators		脳神経内科	Rivaroxaban versus warfarin in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation in relation to hypertension: a subgroup analysis of the J-ROCKET AF trial	Hypertens Res 2014 May;37(5):457-62.
362	H. Fujii, Y. Nagano, N. Hosomi and M. Matsumoto		脳神経内科	Dural arteriovenous fistula presenting with progressive dementia and parkinsonism	BMJ Case Rep 2014 Jun 2;2014. pii: bcr2014203921.
363	H. Fujii, T. Ohtsuki, I. Takeda, N. Hosomi and M. Matsumoto		脳神経内科	Isolated unilateral hypoglossal nerve paralysis caused by internal carotid artery dissection	J Stroke Cerebrovasc Dis 2014 Sep;23(8):e405-6.
364	E. Nomura, T. Ohshita, E. Imamura, S. Wakabayashi, H. Kajikawa and M. Matsumoto		脳神経内科	Can early effective anticoagulation prevent new lesions on magnetic resonance imaging in acute cardioembolic stroke?	J Stroke Cerebrovasc Dis 2014 Sep;23(8):2099-104.
365	E. Nomura, A. Suzuki, I. Inoue, J. Nakagawara, K. Takahashi, T. Takahashi, Y. Manabe, C. Yokota, K. Okada, T. Nishihara, Y. Yamamoto, K. Noda, S. Takahashi, S. Ibayashi, M. Takagi, K. Kitagawa, N. Tanahashi, M. Kuriyama, K. Hirata, N. Hosomi, K. Minematsu, S. Kobayashi, M. Matsumoto and J. S.-L. Investigators		脳神経内科	Subsequent vascular events after ischemic stroke: the Japan Statin Treatment Against Recurrent Stroke-Longitudinal	J Stroke Cerebrovasc Dis 2015 Feb;24(2):473-9.
366	T. Sugimoto, N. Hosomi, T. Nezu, T. Takahashi, S. Aoki, I. Takeda, T. Mukai, K. Ochi, T. Kitamura, T. Ohtsuki and M. Matsumoto		脳神経内科	CD34+/CD144+ circulating endothelial cells as an indicator of carotid atherosclerosis	J Stroke Cerebrovasc Dis 2015 Mar;24(3):583-90.
367	Teishima J, Hattori M, Inoue S, Ikeda K, Hieda K, Ohara S, Egi H, Ohdan H, Matsubara A.		泌尿器科, 消化器・移植外科学	Retention of robot-assisted surgical skills in urological surgeons acquired using Mimic dV-Trainer.	Can Urol Assoc J. 8(7-8):E493-497.
368	Hiragun T, Yanase Y, Okabe T, Hiragun M, Kawai M, Hide M.		皮膚科	Establishment of a mast cell line, NCL-2, without Kit mutation, derived from NC mouse bone marrow.	FEBS Open Bio 2014 Apr 2;4:342-6.
369	Iwamoto K, Morioke S, Yanase Y, Uchida K, Hide M		皮膚科	Tissue factor expression on the surface of monocytes from a patient with hereditary angioedema	J Dermatol 2014 Oct;41(10):929-32.

計9
合計369

（注）1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る）。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	有・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・　手順書の主な内容 組織，会議，予備審査部会，迅速審査，委員会事務局，記録の保存	
③　倫理審査委員会の開催状況	年　10　回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・　規定の主な内容 本学の職員等が臨床研究に係る産学官連携活動等を行う場合における利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めている。具体的には、臨床研究利益相反管理委員会や相談室の設置、アドバイザーの配置、臨床研究を実施しようとする職員等による自己申告、同委員会による調査、審査及びその他必要な手続きなどを定めている。	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年　12　回

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年　2　回
・研修の主な内容 「臨床研究に関する倫理指針」に該当する自主臨床試験の範疇、本学における審査の流れ、臨床試験開始後の注意点、多施設共同研究を行う際の注意点、新たな倫理、規制について	

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

（「1 研修の内容」，「3 研修統括者」については，各診療科ごとに作成：別紙のとおり）

2　研修の実績

研修医の人数	124　人

（注）前年度の研修医の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

外来研修としては、統合失調症、気分障害、不安障害、身体化障害、ストレス関連障害、症状性または器質性精神障害、睡眠障害、人格障害などの疾患において、一般的精神医学的な診察、診断と治療の方向性を決定する能力を養うため、予診や代理診察を行い上級医とともに診療に当たる。

病棟研修として、上記疾患における一般的な精神科診断、治療や、身体疾患を合併した精神疾患の治療を、入院患者を上級医とともに担当し学ぶ。週 1 回の症例カンファレンスや、月 1 回の症例検討会、月 3～7 回程度の精神科当直を行う。

コンサルテーション・リエゾン領域の研修として、がんや全身疾患などにともなって出現する精神症状の診断、治療について学ぶ。

その他に、週 1 回研修医向けの講義を行っている。また、月 1 回程度の各種勉強会や、年 2 回の精神科学会を開催している。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
山脇　成人	精神科	教授	36　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

・血液疾患、固形腫瘍を代表とする小児慢性疾患の入院患者を担当し、日々の治療・検査を通じて、小児科診療に必要な知識・手技を習得する。また、子どもの病棟生活に関わり、発育・発達について学習する。
・造血細胞移植の症例が多数あり、造血細胞移植に伴う合併症、感染症を経験して治療を行う。
・周産母子センターにおいて、病的新生児の蘇生、呼吸管理、循環管理などの初期対応を学習する。
・専門外来（血液、代謝、内分泌、神経、新生児、心臓、腎臓、リウマチ、精神など）の見学・参加を通じて、小児医療全般について学習する。
・救急外来（当院、広島市立舟入市民病院）の見学・参加を通じて、小児急性疾患、救急疾患の初期対応について学習する。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
小林　正夫	小児科	教授	37　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

臨床研修を修了した医師に対しては、整形外科の各専門分野に関する専門的知識や手技の向上を目指し、外来診察の指導・手術手技の指導、学会への参加などの研修を行っている。
各関節外科，脊椎外科，腫瘍，リウマチ外科など整形外科の種々の分野における高度医療に関する研修を行っている。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
越智光夫	整形外科	教授	38　年	
安達伸生	整形外科	准教授	27　年	
久保忠彦	整形外科	講師	26　年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

広島大学脳神経外科では、疾患単位の診療グルーピングと技術や手技単位のグルーピングを構成して、研修医は専門医研修の最初の１年を研修施設で研修する。悪性脳腫瘍グループ（以下、Gと略す）、良性脳腫瘍G、血管障害G（血管内治療を含む）、てんかん外科G、脊椎外科・頭蓋底外科Gと大きく５Gにわけられ、研修医は３ヶ月を１単位として初めの各グループを回る。残り３ヶ月を後者の２Gをまわり、まんべんなく研修できる。また、小児神経外科に関しては、脳腫瘍は脳腫瘍Gの時に、水頭症は良性脳腫瘍Gの時に、二分脊椎は症例があるごとに脊椎外科Gと共に診療して経験する。従って、研修施設にいる最初の１年目に研修病院や関連病院では経験が困難な、機能・てんかん外科、少神経外科、脊椎・脊椎外科を一通り研修できる。深部脳刺激に関しては、広島市内にある関連病院にて症例がある時に、手術に参加させて頂き研修している。この様にして、あらゆる領域を研修施設、関連施設を中心に経験できる。

診療内容に関しては、高度医療機器を用いての診断や治療を共に実践できる。３TMRIや320列CT、フラットパネルdual projection DSA, Hybrid ORなど指導医と共に使用してその高度は内容の把握に努める。実際、MRI診断は週4日、特殊検査のCTは週2日、診断と血管内治療を行うDSAは週4日、更に脳磁図週2日、SPECTは週１日、と脳神経外科自ら行っているので、それぞれの診断、治療の助手として参加して研修している。

手術機器としては、３種類の機能や性能の異なる手術用顕微鏡（ライカ、オリンパス、ツアイス）、ICGによる血流検査、5ALAによる悪性脳腫瘍の描出、各種電気生理学的モニター（SEP, MEP, ABR, facial nerve, EOM, lower cranial nerve,脊髄レベルも含めて）は医療工学士と共に検査や判断を研修できる。また、BrainLabのナビゲーションシステムも必要に応じて使用し、手術の精度を上げている。

手術数としては、この数年全体で年間430-450件。脳腫瘍150-190件、脳血管障害100-120件（血管内治療を含む）、てんかん・機能神経外科30-35件、脊髄脊椎外科30-35件、頭部外傷10-15件、小児神経外科5-10件、等である。

以上、研修施設としての広島大学病院脳神経外科の内容を詳述した。３に述べる各subspecialty領域の研修統括者がその領域の責任者として指導している。

「広島大学脳神経外科専門医養成プログラム」全体としては、昨年述べた施設・病院と内容である。プログラム全体として、年間経験症例数は2000例を超えている。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
栗栖　薫	脳神経外科	科長・教授	34　年	脳神経外科専門医、救急医学会専門医 全体統括
富永　篤	同上	准教授	27　年	同上、神経内視鏡技術認定医
飯田幸治	同上	講師・診療准教授	26　年	同上、てんかん診療専門医
岐浦禎展	同上	講師	22　年	同上、脳神経血管内治療指導医・専門医
山崎文之	同上	助教・学部内講師	22　年	同上、癌治療学会認定医
山口　智	同上	診療講師	21　年	同上、脊椎外科学会

				指導医・専門医
坂本繁幸	同上	助教	18 年	同上、脳神経血管内治療指導医・専門医
岡崎貴仁	同上	助教	17 年	同上、脳神経血管内治療専門医
武田正明	同上	助教	17 年	同上、脊椎外科学会専門医
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

皮膚科で取り扱う疾患は、アレルギー・膠原病・感染症などの内科系皮膚疾患から熱傷・皮膚悪性腫瘍などの外科系皮膚疾患まで多岐にわたる。また、皮膚症状が全身性疾患の部分症状として出現することも少なくない。

これらの皮膚疾患全般の診断と治療の方法を知り、原発疹、続発疹の名称を用いて口頭および記述により皮膚所見を表現し、一般的な皮膚疾患について検査および治療計画を立案と実施、または適切に専門医へ紹介する技能と態度を修得する。

具体的な手技としては糸状菌検査，皮膚縫合、軟膏外用療法、アレルギー検査等を経験し知識を身につける。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
秀　道広	皮膚科	教授	30年	皮膚科専門医、アレルギー指導医
平郡　隆明	皮膚科	准教授	20年	皮膚科専門医、アレルギー専門医
河合　幹雄	皮膚科	助教	20年	皮膚科専門医、皮膚悪性腫瘍指導専門医、熱傷専門医、がん治療認定医、認定褥瘡医師
田中　暁生	皮膚科	助教	15年	皮膚科専門医
田中　麻衣子	皮膚科	助教	14年	皮膚科専門医 International Board in dermatopathology
髙萩　俊輔	皮膚科	助教	13年	皮膚科専門医
岩本　和真	皮膚科	助教	11年	皮膚科専門医
森桶　聡	皮膚科	助教	10年	皮膚科専門医

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

概要：本プログラムは、２年間の卒後臨床研修を終了して泌尿器科医をめざす医師を対象としており、広島大学およびその教育関連施設における計４年間の専門医教育の具体的内容を定めたものである。本プログラムの最終年度には、日本泌尿器科学会が認定する泌尿器科専門医の資格が得られるようにプログラムを運営する。
コース全体像：【泌尿器科専門医研修の開始宣言→原則として広島大学病院で泌尿器科基本手技研修を開始→広島大学関連施設にて前期研修（1～2年間）→広島大学関連施設にて後期研修（1～2年間）】（合計4年間の研修期間）→日本泌尿器科学会専門医取得（最短で卒業後6年目）

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特記事項
松原　昭郎	泌尿器科	教授	30年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

産婦人科の進歩に応じ，広い知識，練磨された技能，高い倫理性を備えた産婦人科医を養成する。

１）産科学，婦人科学について，診断，治療の技術，管理方法を修練する。

２）大学病院，関連研修病院をローテイトし，周産期の診断と管理，分娩・産科手術の実際を修練し，女性の生理，婦人科疾患の病態について幅広い知識を習得する。

３）希望者（初期研修でローテイトしていない者は）はNICUをローテイトし，NICUにおける未熟児を含む新生児管理についての知識と技術を習得する。

４）広島県からの委託研究「産婦人科専門医育成プログラム」を実施しており，卒後５年目終了時点で，産婦人科専門医の受験資格が得られるよう構成されている。

５）日本専門医機構による新専門医制度に備え、日本産科婦人科学会に新たに認定された「産婦人科指導医」による指導体制を整えている。学会の示す指導施設のうち、総合型指導施設である基幹病院としての条件を満たしており、「広島大学産婦人科　専攻医プログラム」を整備、改正しながらこれに沿った指導を行っている。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
工藤　美樹	産婦人科	教授	31　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第４）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

初期の４ヶ月では、患者への適切な対応、基本的な診察、必要検査の施行、診療録への正確な記載など基本的なことを指導医から実地に指導を受け修得し、中期の４ヶ月では、各種プログラムに必要な症例の経験やレーザー治療を含めた基本手術手技の習得や手術助手の経験をつむ。後期の４ヶ月では、基本的な疾患の手術を指導医のもと実際に経験し目標を達成する。特に担当する手術患者については手術室で指導医の管理のもと、局所消毒の習得や手術介助を行い、局所麻酔法や眼科手術における基本的術式の理解と研修を行った。
以上より1年の研修終了後には一通りの疾患に対する基本知識と考え方を身につけることができた。さらに、抄読会や症例検討会で症例報告などを行い、各種講習会、学会発表に主体的に参加させ指導医のもとさらに掘り下げた教育を行い疾患に対するより理解を深め、眼科専門医として必要な知識と技能を習得できた。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
木内　良明	眼科	教授	32　年	
近間　泰一朗	眼科	准教授	23　年	
山根　健	眼科	講師	19　年	
吉川　知子	眼科	講師	15　年	
奥道　秀明	眼科	特任助教	15　年	
戸田　良太郎	眼科	助教	13　年	
竹中　丈二	眼科	助教	13　年	

（注）１　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）２　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）３　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

第一期：大学病院における研修（1年：卒後3年目）
耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学研究室に入局後、1年間で耳鼻咽喉科一般の必要最低限の基礎的なトレーニングを終了し、併せて上気道の管理・確保も可能となるようトレーニングする。耳鼻咽喉科・頭頸部外科医として必要な臨床研修を行う。
第二期：研修協力病院における研修（2年：卒後4から5年目）
研修協力病院（関連病院の中の）において、共通プログラムに基づき耳鼻咽喉科・頭頸部外科の研修を継続する。
第三期：大学病院における研修（2年：卒後6から8年目）
原則として、研修協力病院より大学に戻り、耳鼻咽喉科・頭頸部外科病棟、外来において、今まで習得した知識、技術を精錬するとともに、初期研修医、学生の指導にあたる。卒後6年の研修終了後には日本耳鼻咽喉科学会専門医受験資格を得る。また、この時期から各専門研究グループに入り、その専門知識の習得と研究を行い、大学院生は学位論文に対応する研究論文を作成する。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
平川　勝洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授・診療科長	37　年	
井門　謙太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	講師	23　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

(1)単純 X 線写真・CT・MRI・核医学検査等の読影を行い、指導医のもとに画像診断報告書の作成を行う。この過程で、画像解剖・代表的な所見・鑑別診断法について習得する。

(2)研修中に経験した重要な症例について、指導医のもとでスライドにまとめ、放射線診断科の定例カンファレンスで発表する。この過程で各症例に関する知識をより深めるとともに、プレゼンテーションおよびディスカッション能力を習得する。

(3) 様々なIVR手技に助手として参加し、検査後に指導医のもとで報告書を作成する。また、IVR入院患者につき指導医のもとに患者管理の基礎を修得する。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
粟井　和夫	放射線診断科	教授	29　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

当院では各臓器に発生する様々な悪性腫瘍を幅広く網羅している。個々の症例に対する治療戦略の構築は診察を踏まえた診療科内および診療科横断的カンファレンスを通して行っている。臨床研修を終了した医師は放射線治療科に専属し、初診時の診察から放射線治療計画立案、治療期間中の診療、治療終了後の効果判定と有害事象評価に携わることで臨床経験を積む。外部照射の治療計画は年間100例以上を経験する。小線源治療においては術者としてチームに加わり技術を習得する。院内で開催される月２０回を超えるカンファレンスや勉強会に出席し、プレゼンテーションと発言を通して知識の充実を図る。また専門的研修を開始して１年ほどの経験を経た時点で関連領域である画像診断に関する研修を行う。これらの研修を踏まえて専門的研修開始後３年を経過した時点で放射線科専門医、５年を経過した時点で放射線治療専門医の資格を取得することを目標としている。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
永田　靖	放射線治療科	教授	33　年	
村上　祐司	放射線治療科	講師	20　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

安全で質の高い周術期医療を提供し国民の健康と福祉の増進に寄与することができる麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する．

具体的には下記の４つの資質を修得する．
１）十分な麻酔科領域，および麻酔科関連領域の専門知識と技量
２）刻々と変わる臨床現場における，適切な臨床的判断能力，問題解決能力
３）医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
４）常に進歩する医療・医学を則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
河本　昌志	麻酔科	教授	36 年	(公社)日本麻酔科学会認定麻酔科指導医 麻酔科標榜医
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

（注）１　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）２　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）３　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

１．コースの概要
本コースでは軽症から重症、内科系疾病から外傷など外因性疾患、そして小児から高齢者まで、幅広い急性期疾病に対応できる救急総合医の養成を目指す。

具体的習得目標
１）救急初期診療における全身評価及び救命救急処置ができる。
２）重症患者に対する集中治療ができる。
３）一般救急外来患者への医療対応ができる。
４）在宅や院外などの救急現場における急性期診療ができる。
５）リーダとして救急医療チームの指揮・指導ができる。
６）災害時の医療対応ができる。
広島大学病院高度救命救急センターは重症外傷や熱傷など外因性疾患、種々の重症内因性疾患、そして敗血症や臓器不全など多彩な疾病に対するCritical Care Medicineにおいて豊富な臨床経験を得ることのできる全国有数の施設です。ただし、広島大学病院の救急研修では初期・二次救急疾患、小児救急疾患等における臨床経験が不十分となるため、広島大学病院以外の救急医療施設と後期研修アライアンスを組んでいます。

２．構成病院群一覧（救急科後期研修協力医療機関）と特色
（１）　広島市立広島市民病院；西日本有数のER研修施設、救命救急センター
（２）　県立広島病院；豊富な外傷救急、救命救急センター
（３）　中国労災病院；島しょ部を含めた地方型総合救急医療
（４）　国立病院機構呉医療センター；重症を中心とした救命医療、救命救急センター
（５）　呉共済病院；BLS,ACLSなどシミュレーション教育
（６）　広島市立安佐市民病院；中山間地での多彩な救急医療
（７）　JA尾道総合病院；地域密着型救急医療
（８）　JA広島総合病院；地域密着型救急医療、地域救命救急センター

＊ 本コースでは、各使節の特長を活かした横断的研修により救急医療の“オールラウンドプレーヤー”に必要な臨床技能を磨くことができます。
＊ この他、研修者の希望に応じて県内・県外研修をアレンジ可能です。

３．研修期間
（１）　1年単位での研修が可能です。なお、3年（条件により最低1年）の研修により日本救急医学会救急科専門医取得が可能となります。
（２）　後期研修修了後の進路は希望に応じて対応可能です。

４．取得できる専門医、認定医について
１）基本領域学会専門医
救急科専門医、救急科指導医
２）多領域横断的関連学会専門医、新規加盟学会専門医
集中治療専門医（日本集中治療医学会）
熱傷専門医（日本熱傷学会）
クリニカル・トキシコロジスト（日本中毒学会）
脳卒中専門医（日本脳卒中学会）
呼吸療法専門医（日本呼吸療法医学会）
感染症専門医（日本感染症学会）
ICD：インフェクションコントロールドクター（ICD制度協議会）など

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
志馬　伸朗	救急科 高度救命救急センター 集中治療部	教授 診療科長 センター長 部長	26　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

呼吸器外科・消化器外科・乳腺外科の基礎研究と臨床研究。
肺がん、食道がん、乳がんに対する外科手術。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
岡田　守人	呼吸器外科	教授	27　年	
宮田　義浩	呼吸器外科	准教授	26　年	
檜原　淳	消化器外科	講師	25　年	
角舎　学行	乳腺外科	講師	23　年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

心臓血管外科：外科サブスペシャリティーの一つである心臓血管外科専門医取得を基本目標として研修する．当院は心臓血管外科専門医認定機構が定める心臓血管外科専門医育成のためのカリキュラム上認定修練施設となっており，同機構の修練カリキュラム基本概念（同機構ホームページ参照）に沿った研修を行っている．

消化器外科：まずは外科専門医を取得し、さらに難易度の高い消化器外科領域の手術を経験し、消化器外科専門医取得に必要な手術件数を経験することを目標とする。当院では消化器外科学会が定める修練施設となっており、専門医取得に必要な手術症例を経験することは十分可能である。

小児外科：外科専門医を取得した後，さらに専門的な知識の獲得と手術手技の修練を行い，小児外科専門医の獲得を目標とする．特に大学病院という特性から小児悪性腫瘍など一般的には頻度の少ない症例の経験が可能である．小児外科専門医獲得のため，手術へ執刀医も含む立場での参加，また小児外科学会を始めとした国内のみならず海外学会への参加・発表も積極的に支援する．また，希望時には国内・海外留学の支援も行う．

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
末田　泰二郎	心臓血管外科	教授	38　年	日本外科学会指導医、心臓血管外科専門医　修練指導医
檜山　英三	小児外科	教授	34　年	日本小児外科学会指導医、日本外科学会指導医、日本人類遺伝学会（臨床遺伝指導医）、抗菌薬臨床試験指導医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医
村上　義昭	消化器外科	准教授	33　年	日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

臨床研修を終了した医師が消化器外科領域（上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科）および移植外科領域（肝移植、腎移植、膵移植）を専門的にトレーニングが受けられるよう、各専門領域をある一定期間ローテーションしつつ手術や周術期管理を中心により専門的に研修を行い、専門医資格の取得などを目指す。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特記事項
大段　秀樹	移植外科・消化器外科	教授	27 年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

（歯科保存診療科）
当診療科では主に大学院生が対象となる。
診療内容の難易度を考慮の上、担当を決定している。
また、診療上の疑問点、問題点については、“研修統括者”のみならず各上級歯科医師が相談に乗るほか、必要に応じて症例検討会を行っている。

（歯周診療科）
歯周病治療に対する以下の専門的な研修を行う。
①歯周病の病因が理解できる。
②歯周病治療に対して必要な検査を行い、正しい診断ができる。
③一般的な歯周病について、個々の歯周病の特徴について、治療法および治療計画について、予後について、患者に対してわかりやすく説明できる。
④歯周病と全身疾患に関して理解し、患者に対してわかりやすく説明することができる。
⑤歯周基本治療、歯周外科治療、メインテナンスを実践することができる。

（口腔インプラント診療科）
１．インプラント義歯による補綴治療
２．高齢者・有病者の全部床及び部分床義歯治療
３．顎関節症の保存的治療
４．入院患者への往診口腔ケア、義歯治療
５．摂食・嚥下リハビリテーション

（咬合・義歯診療科）
１．インプラント義歯を含む審美歯科治療
２．高齢者・有病者への歯冠補綴治療、欠損補綴治療
３．顎関節症の保存・咬合治療
４．入院患者への往診口腔ケア、義歯治療

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
荒川　真	歯科（歯科保存診療科）	助教	17 年	
栗原　英見	歯科（歯周診療科）	教授	35 年	
津賀　一弘	歯科（口腔インプラント診療科）	教授	30 年	
久保　隆靖	歯科（口腔インプラント診療科）	講師	28年	
阿部　泰彦	歯科（口腔インプラント診療科）	准教授	26年	
日浅　恭	歯科（口腔インプラント診療科）	講師	22年	

是竹　克紀	歯科（口腔インプラント診療科）	助教	18年	
吉川　峰加	歯科（口腔インプラント診療科）	准教授	15年	
大上　博史	歯科（口腔インプラント診療科）	助教	6年	
岡﨑　洋平	歯科（口腔インプラント診療科）	助教	6年	
岡田　信輔	歯科（口腔インプラント診療科）	助教	5年	
安部倉　仁	歯科（咬合・義歯診療科）	講師	33年	
呉本　晃一	歯科（咬合・義歯診療科）	助教	24年	
土井　一矢	歯科（咬合・義歯診療科）	助教	13年	
森田　晃司	歯科（咬合・義歯診療科）	助教	10年	
柄　博紀	歯科（咬合・義歯診療科）	助教	8年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

矯正歯科に関わる専門研修を行っている。矯正歯科に必要な検査、診断、治療計画の作成法について、講義および症例検討会を開催するとともに、矯正装置作製およびタイポドント実習を行うことにより、必要な専門知識と技術の修得を図っている。診療室における臨床研修では、指導医の管理、指導の下、治療を行う。

研修プログラムを管理し、研修を統括している方の記載をお願い致します。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特記事項
谷本　幸太郎	矯正歯科	教授	23　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

研修の内容

本大学病院小児歯科は，小児歯科を標榜し，日本小児歯科学会認定小児歯科専門医を養成するための研修医療施設として認められている。5年間の研修期間に小児歯科専門医としての診断力と高度な治療技術を修得するとともに，小児歯科学に関する臨床研究にも従事し，以下の項目を含むresearch mindを併せ持つ優秀な小児歯科専門医を養成している。

研修内容

①乳歯列期，混合歯列期，永久歯列期の長期の成長過程にわたる口腔管理の実践

②小児口腔疾患の診査診断技術の向上による高度診断力の修得

③小児の口腔軟組織小手術，埋伏過剰歯の摘出術等の治療技術の修得

④多職種連携と地域貢献の実践

⑤海外児童歯科医療支援活動の実践

研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特記事項
香西克之	小児歯科	教授	34　年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

（顎・口腔外科）
口腔外科領域の認定歯科医・専門歯科医・指導歯科医（臨床インストラクター）となるための基本的な臨床能力（態度、技能、知識など）や臨床教育技法を習得する。
特に、
1、 医の倫理についての考え方、患者心理に関する知識を身につける。
2、 口腔外科領域および関連領域の疾患に対する適切な診察・診断能力をみにつける。
3、 口腔外科領域の疾患の適切な処置および手術手技を身につける。
4、 患者の全身管理に必要な総合的医学知識を身につける。

（口腔顎顔面再建外科）
・外来診療（診察、小手術など）の指導
・入院患者に対する手術や術後周術期の管理
・カルテ記載方法
・保険点数と算定法

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
小泉　浩一	歯科口腔外科（顎・口腔外科）	助教	19　年	
武知　正晃	歯科口腔外科（口腔顎顔面再建外科）	准教授	21　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第４）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

１　研修の内容

脳神経領域の臨床医に必要とされる幅広い診療技能を習得するために、脳卒中、神経疾患、老年科疾患を正しく診断し、適切な治療を行うための知識、診療手技、検査手技、治療手技を身につけるとともに、患者および家族、メディカルスタッフから信頼される人間性を身につける。その基盤となるプライマリケアおよび一般内科の基本的な診療技能を身につける。

原則として、卒後３年目から４年間を後期研修期間とし、大学病院および構成病院で研修を行う。ただし、中途での大学院入学や国内外の留学についても柔軟に対応する。

研修中の具体的な目標としては、一般身体的診察や神経内科的診察、一般内科的治療や神経内科的治療、超音波検査と診断（頚動脈エコー検査、神経超音波検査、心エコー検査など）、電気生理学的検査と診断（脳波、筋電図、神経伝導検査など）、画像検査と読影（ＭＲＩ、ＳＰＥＣＴ、ＣＴなど）、髄液検査と診断、自律神経機能検査と評価、神経免疫検査と評価、血管撮影と読影等に習熟し、日本内科学会認定医および日本神経学会専門医を取得することを目標とする。

３　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
松本昌泰	脳神経内科	教授	40　年	
丸山博文	脳神経内科	准教授	26　年	
越智一秀	脳神経内科	診療講師	20　年	
上野弘貴	脳神経内科	診療講師	15　年	
青木志郎	脳神経内科	助教	13　年	
竹田育子	脳神経内科	助教	11　年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

（注）１　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）２　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）３　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

研修する医師が、呼吸器内科疾患（びまん性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患や気管支喘息を含む気道疾患、呼吸器感染症、呼吸器悪性腫瘍など）の診断と治療方法を習得することを目標としている。この目標の達成のため、日本呼吸器学会が定める呼吸器専門医資格を有する医師を指導医として研修する医師に割り当て、日々指導を受けることができる体制を構築している。また、研修する医師が気管支内視鏡検査技術を習得することができるように、指導医により検査手技の指導が行われる体制も構築している。研修する医師が、最新の臨床診断方法や治療方法の知識を獲得するため、最新論文の抄読会に参加する機会も設けている。

研修統括者（それに准ずる指導医）は、病棟回診や症例検討会において、研修する医師に対して各疾患の診断と治療方法の指導を行っている。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
河野　修興	呼吸器内科	教授	37　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

研修期間：2年間～4年間、卒後4年目以降(教室所属2年目以降)は、個々の希望に沿う進路を模索。

循環器疾患は内科診療の要であり、今後の罹患者数の増加を見込めば、一つの内科診療単位にとらわれない広い領域をカバーする分野であると思われます。冠インターベンションだけではなく、集中治療、リハビリテーションから高血圧・軽症糖尿病・脂質管理まで様々な英知が統合されて始めて、循環器疾患の管理は可能となります。したがって循環器内科とはいえ、その内容は内科学全般に他なりませんし、そうした智恵が求められています。

取得可能な専門医、認定医
1. 日本内科学会認定内科医2. 日本内科学会認定総合内科専門医3. 日本循環器学会認定循環器専門医4. 日本心血管インターベンション学会認定医・指導医5. 日本超音波医学会専門医・指導医6. 心臓リハビリテーション指導士7. 日本高血圧学会専門医

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
木原　康樹	循環器内科	教授	36　年	統括、心不全等
山本　秀也	循環器内科	准教授	27　年	虚血性心疾患、画像診断等
中野　由紀子	循環器内科	講師	24　年	不整脈等
栗栖　智	循環器内科	助教	23　年	虚血性心疾患等
福田　幸弘	循環器内科	助教	23　年	虚血性心疾患等、弁膜症
日高　貴之	循環器内科	助教	16　年	弁膜症、心エコー等
土肥　由裕	循環器内科	助教	16　年	肺高血圧等
北川　知郎	循環器内科	助教	15　年	画像診断、虚血性心疾患、心筋疾患等
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

初期研修修了者を対象として、広島県内主要関連病院にて3年間程度専門診療研修を実施している。
その後、大学に帰学し、1年間の臨床研修後ののちに大学院へ進学することを基本コースとしている。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特記事項
茶山　一彰	消化器内科（消化器・代謝内科）	教授	34　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

内分泌内科：下垂体、甲状腺・副甲状腺、副腎などの内分泌疾患を診断するため、各種ホルモン負荷試験など内分泌機能検査を実施し、その評価方法を研修する。
糖尿病内科：1型および2型糖尿病の診断、合併症検査、治療法を研修する。頻度の少ない稀な糖尿病、妊娠糖尿病などの症例の血糖管理を経験することもある。また、糖尿病療養指導を行うチーム医療のリーダーとしての役割も研修する。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
米田　真康	内分泌・糖尿病内科	講師	17 年	糖尿病
沖　健司	内分泌・糖尿病内科	助教（医療安全管理部）	16 年	内分泌

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

1年目は大学病院または関連病院で多くのリウマチ・膠原病疾患の診療に携わり，診察，診断，治療の基本的な知識，技能を身につけます。2，3年目は研修医の希望により，大学病院あるいは関連病院での研修を選択することができます。4年目以後には大学院入学，国内のリウマチ専門病院での臨床研修あるいは大学病院でのさらなる専門研修を行い，リウマチ専門医の取得を一応の目標といたします。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
杉山　英二	リウマチ科（リウマチ・膠原病科）	教授	35　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

血液内科後期研修では、プロフェッショナルの“血液内科臨床医”に要求される血液疾患の診断法と治療法、さまざまな合併症の管理を高いレベルで実践するための幅広い知識と技術を習得するとともに、未知の病態解明や新規の診断･治療法の開発を目指すための “医学研究者”としての視点を習得することを目標とし、具体的には下記の内容の研修を行う.

1. 血液疾患の多彩な診断方法を習得する.
2. 各血液疾患の診断や治療に関わる専門的な知識を習得する.
3. 分子標的治療薬を含む抗腫瘍薬を用いた化学療法に精通する.
4. 造血幹細胞移植療法の適応を決定し、実施できる.
5. 免疫不全に伴う難治性の感染症をコントロールできる.
6. 血液疾患に随伴する合併症の治療に必要な全身管理法を習得する.
7. 患者さんのQOLに配慮し、重層的なチーム医療を実践する.
8. 治験や国際的な臨床研究の遂行に協力する.
9. 身近なクリニカルクエスチョンを臨床研究に発展させ、学会や論文で発表する.
10. 臨床での疑問を独創性あふれる基礎研究に結びつける.

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
一戸　辰夫	血液内科	教授	26　年	
大島　久美	血液内科	講師	16　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

専門医研修として、広島大学病院腎臓内科・透析内科において、指導医のもと患者を受け持ち、腎臓病（糸球体疾患、尿細管間質疾患、急性・慢性腎不全の治療・管理）をはじめ、高血圧・膠原病・糖尿病に伴う腎症、電解質異常、輸液管理、血液浄化療法（血液透析・アフェレシス）、腹膜透析に関する診断・治療を修得するよう努めます。入院患者の新患発表、腎病理・透析カンファレンスを行い、腎疾患を含めた一般内科の基本的知識を学びます。早期に内科専門医、腎臓専門医、透析専門医取得を目指します。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
正木　崇生	腎臓内科・透析内科	教授	23　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

感染症学：感染症学会感染症専門医取得を基本目標として研修する．当院は日本感染症学会専門医制度認定研修施設であり，感染症専門医育成のためのカリキュラムにそった研修を行っている．

消化器外科学：外科専門医取得後のサブスペシャリティーとして消化器外科専門医，大腸肛門病専門医の育成を行っている．当院は消化器外科学会および大腸肛門病学会の修練認定施設であり，専門医取得に必要な勝利得の経験が可能である．

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
大毛　宏喜	感染症内科	教授	24　年	日本感染症学会指導医，日本外科学会指導医，日本消化器外科学会指導医，日本大腸肛門病学会指導医

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

がんの診療における各種診断法、化学療法による治療、化学療法の副作用対策などについてより深い知識を習得することを目標としている。さらに、がん薬物療法専門医を目指すうえで必要な基本手技や知識を習熟するための研修を行う。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
杉山　一彦	腫瘍内科（がん化学療法科）	教授	31年	
妹尾　直	腫瘍内科（がん化学療法科）	病院助教	16年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

全臓器の外科病理、臨床病理的な手法と考え方を習得することが可能です。殊に新規に開発される様々な分子標的治療薬の効果予測因子を検索するためのコンパニオン診断の知識や検索をin houseで行い、評価方法も学ぶことが出来る。具体的にはFISH法を用いてのHER2やALK1遺伝子の検索やK-RASやEGFRのmutationの検索を実習できる。更に多数症例の病理解剖を研修できる。全国的に病理解剖は減少傾向にあるが、本学の年間病理解剖数は約60-70例で、全国の旧国立大学病院の中で３位であり、極めて多彩な症例の経験ができることは大きな長所である。細胞診についても様々な症例を研修することが可能である。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特記事項
有廣　光司	病理診断科	教授	28　年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第５）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　（２）現状
管理責任者氏名	病院長　平川　勝洋
管理担当者氏名	病院総務Ｇリーダー　新本　陽一郎，病院医事Ｇリーダー　名越　恵

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			総務グループ 病歴管理センター	カルテは，１患者１カルテで病歴管理センターで保管管理し，エックス線写真は，各診療科で保存管理している。 なお，診療録を病院外に持ち出すことは禁止している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		総務グループ	
	高度の医療の提供の実績		医事グループ	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		医事グループ	
	高度の医療の研修の実績		総務グループ	
	閲覧実績		総務グループ	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医事グループ	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		医事グループ 薬剤部	
	第一条の十一第一項第九号及び第九条の二十第一項に掲げる体制の確保状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	各診療科	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者支援センター	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ＭＥ機器管理室	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ＭＥ機器管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ＭＥ機器管理室	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ＭＥ機器管理室	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　　(2) 現状	
閲覧責任者氏名	病院運営支援部長　三分一　恒男	
閲覧担当者氏名	総務グループリーダー　新本　陽一郎	
閲覧の求めに応じる場所	総務グループ事務室	
閲覧の手続の概要 閲覧希望者の求めに応じて，総務グループ事務室で行っている。		

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

（様式第６）

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・　指針の主な内容： １．院内感染対策に関する基本的な考え方 ２．院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 （１）感染症対策委員会 （２）感染管理室（ICT），リンクナース及び感染対策実践者 ３．院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針 ４．感染症発生状況の報告に関する基本方針 ５．院内感染発生時の対応に関する基本方針 （１）通常時の対応 （２）緊急時（重大な院内感染等の発生）の対応 ６．患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ７．病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年４９回
・　活動の主な内容： ○医科・歯科共通 １）「感染症対策委員会」は，月１回開催し，院内の感染防止のための調査，研究，対策に関する事項の統括審議を行い，また，小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項の審議を行う。（年12回） ２）「感染管理室会議」は月１回開催し，院内感染情報等の収集，調査，分析を行い，院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供に関する審議を行う。（年12回）（臨時1回） ○医科領域 １）「感染症対策小委員会（医科領域）」は，月１回開催し，医科領域に関し，院内の感染防止のための対策，感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また，感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し，周知徹底するようフィードバックする。（年12回） ○歯科領域 １）「感染症対策小委員会（歯科領域）」は，月１回開催し，歯科領域に関し，院内の感染防止のための対策，感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また，感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し，周知徹底するようフィードバックする。（年12回）	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年１０回
・　研修の主な内容：別紙②のとおり	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・　病院における発生状況の報告等の整備　（(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： 感染対策の実務を行うＩＣＴ活動を実施し，情報の収集と対策について，現場へフィードバックをする	

（様式第 6）

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊒・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回

・「安全なミキシングについて」　全職員対象に、薬剤部の製剤室にて見学実習・研修会
・「院内薬剤インシデントについて」　全職員対象　医療安全管理職員研修会
・「薬剤部の業務内容と医薬品安全対策について」　研修医オリエンテーション
・「医薬品の医療安全（薬のここに気をつけよう）」新規・中途採用看護師対象研修

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・ 手順書の作成　（ ㊒・無 ）
・ 業務の主な内容：
1年に1回、各業務の部門責任者及び業務担当責任者が手順書の業務内容に該当する項目が守られているか確認して見直しを図っている。また、薬品管理に関しては、担当者が看護師と協力してマニュアルに基づいて管理を行うとともに、医薬品安全管理責任者（必要に応じて担当者）が必要時実施状況の確認が必要と思われる部門に出向いて確認をしている。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備　（ ㊒・無 ）
・ その他の改善のための方策の主な内容：

① 院内リスクマネージャー（RM）会議（毎月）において、薬剤部業務及び病棟業務にて収集した副作用の障害を未然に防いだ事例や医薬品の適正使用及び疑義照会に関する内容を整理して報告。また、インシデント事例の分析と対策についてプレゼンを実施。さらに、これらの中から注目すべき内容を取り上げて、「薬剤部ニュース」として、処方例および簡潔な薬学的根拠に関する説明を行い、病院情報システムによって広報。

② 薬剤部リスクマネージャー（RM）の下に薬剤部内各部署にRMアシスタント（RMA）を配置し、薬剤に関するインシデント事例や調剤・製剤、病棟、化学療法など各部署におけるリスクを担当者から吸い上げて、検討（定例会議 1回/月）し改善を図る。必要に応じて順次手順書や薬剤部マニュアルなどを改訂。

③ 病棟担当者による病棟の現場に即した講義を実施　計19回開催
対象：現場の医師、看護師、リハビリスタッフなど
講義内容：抗凝固薬・抗血栓薬、手術医薬品の種類について、6東でよく使用する薬、アブストラルの適正使用について、アセトアミノフェン等の鎮静剤の使い方、医療用麻薬について、抗菌薬を正しく有効に使うために、食べ物と薬剤との相互作用、ALK阻害剤などの内服分子標的薬について、抗癌剤治療及び副作用マネージメント、鎮痛・鎮静剤の基礎知識、ラミクタールの注意喚起勉強会、循環器系薬剤と抗血栓薬の基礎知識、透析で除去されやすい薬剤、抗ガン剤について、PK/PDに基づく抗菌薬の適正使用、鎮痛・鎮静剤、薬物中毒症例等

（様式第6）

規則第１条の１１第１項各号及び第９条の２３第１項第１号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無

・ 指針の主な内容：

【医療安全管理のための指針】
１．医療安全管理に関する基本的な考え方
２．用語の説明
　１）医療上の事故等（インシデント）
　２）ヒヤリ・ハット（ゼロレベルインシデント）
　３）医療過誤（法律用語）
　４）合併症
３．医療安全管理に関する推進方法
　１）医療安全管理体制の構築
　２）医療事故・インシデントなどの報告制度の確立
　３）職員に対する医療安全教育・研修の実施
　４）事故発生時の対応方法の確立
　５）医療事故の公表と報告
　　①医療機関への報告・公表
　　②公表する範囲
　　③プライバシーの尊重
　　④当事者に対する配慮
　　⑤警察への報告
　　⑥社会への公表
４．医療安全管理に関する指針の閲覧について
５．患者相談窓口について

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年９５回

・ 活動の主な内容：

○医科・歯科共通
　１）「医療事故防止等対策委員会」は，月１回開催し，本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で，「患者影響レベル判定小委員会」及び「医療事故防止等対策小委員会」を統括し，医療の安全管理，医療事故の防止，医療訴訟に関する事項を審議する。
　また，「医療事故防止等対策委員会」は，「患者影響レベル判定小委員会」，「医療事故防止等対策小委員会」及び「医療安全管理室会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。（年12回）
　２）「医療安全管理室会議」は，毎週１回開催し，医療事故防止及び安全性の確保に必要な企画・立案及び評価を行うとともに，医療現場において機能的に対処・指導を行い，病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。（年54回）

○医科領域
　１）「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」は，インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療事故の定義に照らして，患者影響レベル3b以上の事象については医療事故か医療事故でないかを判定し，病院長に報告する。（年17回）

○歯科領域
　１）「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」は，月１回開催し，歯科領域のインシデントレポートに基づき，患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。医療過誤がある事例については病院長へ報告する。（年12回）

③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年１８回

・　研修の主な内容：別紙①のとおり

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・　医療機関内における事故報告等の整備　（ 有・無 ）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

○医科・歯科共通
1）インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネジャー会議をとおして伝達している。
2）病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し，医療事故防止等対策委員会で審議のうえ，病院運営会議で報告し，改善策の周知徹底を図る。
3）院内安全巡視等を行うことで，改善状況を評価する。
4）発生した重要なインシデントについては，現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し，医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は，必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い，要因を特定し，対策を立案し，医療事故防止等委員会へ報告するとともに，リスクマネジャー会議へフィードバックする。
5）月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し，情報の共有化を図る。

⑤　専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（　３名）・無
⑥　専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（　２名）・無
⑦　医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無

・　所属職員：　専任（５）名　兼任（２２）名　（医療安全管理室18名，感染管理室10名）
＊重複 1名

・　活動の主な内容：

1）リスクマネジメント業務の総括
2）医療事故等に関連する情報の収集，調査，分析
3）医療事故に関するカルテ等の記載内容の点検及び指導
4）患者及び家族への説明等について，医療事故発生時の対応状況の確認及び指導
5）医療事故等の原因究明の実施確認及び指導
6）医療事故防止にかかる教育・研修及びその環境整備
7）医療の質向上
8）病院内の各種マニュアルの管理
9）院内感染防止に関連する情報の収集，調査，分析及び指導
10）院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供
11）院内感染症のコンサルテーション
12）院内感染サーベイランス
13）院内感染情報のデータベース化
14）病院における定期的な巡視

⑧　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

（様式第 6）

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年5回　程度
・ 研修の主な内容： 注入ポンプ使用に関する説明会 心電図・除細動器使用に関する説明会 人工呼吸器安全使用に関する説明会 補助循環装置の安全管理に関する研修会	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定　（(有)・無　） ・ 保守点検の主な内容： 特定保守管理機器に関しては取扱説明書に準じて定期的かつ必要事項を点検している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備　（(有) 無　） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎月、医療安全管理部から医療機器に関連するインシデント報告をもらい、必要に応じて対策をＳＰＤ運営会議に報告し検討する。そしてＳＰＤ運営会議で対策を検討した結果を院内へ通達する。	

別紙①

平成26年度　医療安全管理職員研修会

医療安全管理部主催

3/31現在

	月	テ　ー　マ	主催	講　　師	対 象	日 時・場 所	参加者数
－	4	病院新規採用者対象研修プログラム 「医療安全管理体制について-医療事故防止の取り組み-」 「医療安全管理体制について-感染防止対策-」	安全 感染	沖　健司　専任リスクマネジャー 大毛　宏喜　感染管理室室長	病院新規採用者 新採用研修医	4月1日(月) 医学部第5講義室	242
1	4	「造影剤の副作用対策およびMR室への金属持ち込みの危険性について」	安全	放射線診断科　粟井和夫　教授	全職員 (新規採用者必須)	4月28日(月)17:45～18:30 医学部第4・5講義室 (DVD視聴研修含)	644
2	5	「病理検体の正しい取り扱い」 「正しく検査を行うために―検体採取から提出まで―」	安全 感染	病理診断科　有廣光司　教授 診療支援部　津川和子　検体検査部門長	全職員 (新規採用者必須)	5月15日(木)17:45～18:30 医学部第5講義室 (DVD視聴研修含)	723
3	6	「医療関連感染サーベイランスの最新の考え方 -抗菌薬感受性等も含めて-」	感染	神戸大学医学部附属病院 感染制御部長　荒川創一　教授	全職員	6月9日(月)17:45～18:45 医学部第4・5講義室 (DVD視聴研修含)	578
4	7	「軽症くも膜下出血の見落とし防止」	安全	脳神経外科　粟栖薫　教授	全職員 (新規採用医必須)	7月7日(月)17:45～18:30 医学部第4・5講義室	340
5	7	「迅速な救急対応・RRSの導入について」	安全	救急科　谷川攻一　教授 高度救命救急センター　太田浩平　病院助教 ICUリスクマネジャーアシスタント　歌津直美　看護師	全職員	7月31日(木)17:45～18:30 医学部第4・5講義室	646
6	8	「医療安全管理・感染管理の基本」	安全 感染	専任リスクマネジャー　松永真里 専任感染対策担当者　森美菜子	全職員	8月6日(水)13:30～14:15 8月11日(月)15:30～16:15 医学部第4・5講義室	420
7	8	「医療訴訟の今日的動向－歯科診療領域の事例の検討－」	安全	寺西康一郎法律事務所 寺西康一郎　弁護士	全職員	8月26日(火)17:45～18:45 医学部第4・5講義室	446
8	9	「医療チームを支えるノンテクニカルスキル」	安全	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部　中島和江　部長	全職員	9月3日(水)18:00～19:00 医学部第4・5講義室	390
9	9	「培養検査の上手な活用法」 「正しい培養検体の提出方法」	感染	感染症科　大毛宏喜　教授 検査部　木場由美子　臨床検査技師	全職員	9月30日(火)17:45～18:30 医学部第4・5講義室	674
－	随時	DVD視聴「ノロウイルス感染対策　基礎と実践」	感染		全職員	DVD視聴レポート提出	32
10	随時	手指衛生	感染	リンクナース	全職員	随時	390
－	随時	中途採用者研修	安全 感染	沖　健司　専任リスクマネジャー 大毛　宏喜　感染管理室室長	中途採用者	5月27日，5月30日17:30～18:15 診療棟5Fカンファレンス 8/1～　e-ラーニング/DVD研修	285
11	11	資料配付 「インフルエンザの基礎知識」	感染	感染管理室	全職員	平成26年10月28日～11月14日 資料配付確認問題提出	2,624
12	11	エボラ出血熱について	感染	大毛　宏喜　感染管理室室長	全職員	平成26年11月28日(金)18:00～18:30 医学部　第4・5講義室 DVD視聴研修含(随時)	642
13	12	「院内薬剤インシデント事例」と「薬剤と交通事故について」	安全	薬剤部リスクマネジャー　佐藤智人	全職員	平成26年12月9日(火)17:45～18:30 医学部　第4・5講義室 DVD視聴研修含(随時)	492
14	1	「ご用心！流行性角結膜炎　～院内で発症したらどうなるの？」	感染	眼科/感染対策実践者　戸田　良太郎　助教 10階東病棟　三原　真由美　副看護師長	全職員	平成27年1月21日(水)17:45～18:30 医学部　第4・5講義室 DVD視聴研修含(随時)	506
15	2	「『トラブルに発展する　患者と医療者(職員)の認識のズレ』 －医療相談室の事例から－」	安全	患者支援センター　菅田　智子　主任看護師長 岡　水鶴　相談員 瀬尾　あゆみ　相談員	全職員	平成27年2月10日(火)17:45～18:30 医学部　第4・5講義室 DVD視聴研修含(随時)	382
16	3	「医療安全管理部・各部門年間活動報告」①	安全 感染	医療安全管理部　各部門	全職員	平成27年3月9日(月)17:30～18:30 医学部　第4・5講義室 DVD視聴研修含(随時)	353
		「医療安全管理部・各部門年間活動報告」②		医療安全管理部　各部門	全職員	平成27年3月17日(火)17:45～18:30 医学部　第4・5講義室 DVD視聴研修含(随時)	205

医療安全管理部共催

	月	テ　ー　マ	主催	講　　師	対 象	日 時・場 所	参加者数
17	5	「ガラスバッジの適正使用並びに放射線の人体に及ぼす影響に関する研修」	―	放射線部長　永田　靖　教授 放射線取扱主任者　權丈　雅浩　助教	放射線診療業務従事者 (対象者以外も受講可)	5月1日(木)17:30～18:30 医学部第4講義室	68
18	10	医療訴訟ガイダンス	―	(広島地方裁判所)中尾隆宏裁判官，奥田恵美裁判官 (弁護士会)前川秀雅弁護士，成廣貴子弁護士 (広島大学)津村龍助教，岡田嵩副看護師長	全職員	10月2日(木)18:00～20:00 医学部第5講義室	104